

亀山中学校給食配膳室等整備工事

設 計 図

2025年03月



株式
会社 **アスカ** 総合設計

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1

補強コンクリートブロック造

2

コンクリートブロック帳壁及び塀

3

ALCパネル

4

押出成形セメント板(ECP)

5

窯業系サイディングボード

ブロックの種類

(8.2.2.5)

断面形状及び圧縮強さによる区分

正味厚さ
(mm)

寸法(mm)
呼び長さ高さ

化粧の有無

適用箇所

備考

※空洞ブロック-16

・型枠状ブロック-20

透水性・普通

・防水各部の配筋

※図示

・

ブロックの種類

(8.3.2.3)

断面形状及び圧縮強さによる区分

正味厚さ
(mm)

寸法(mm)
呼び長さ高さ

化粧の有無

(表8.3.1)以外の適用箇所

備考

・空洞ブロック-08

・空洞ブロック-16

透水性・普通

・防水各部の配筋

※図示

・

(8.4.2~5)

パネルの区分

単位荷重
(N/m²)

厚さ
(mm)

長さ
(mm)

耐火性能

表面加工

構法の種別

○外壁用パネル

○20

○有(1)時間

○平・意匠

○A種・B種

・間仕切壁用パネル

・100・125

・有(1)時間

・平・意匠

・C種・D種

・屋根用パネル

・100

有(0.5)時間

・床用パネル

・100

有()時間

平

F種

外壁パネルの構法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法)

・適用しない

パネル幅の最小限度(mm)

※300・300未満は図示()

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅

目地幅(mm)・20○0

伸縮目地への耐火目地材の充填

○適用する・適用しない

(8.5.2~5)

パネルの種類

表面形状

厚さ(mm)

幅(mm)

工法の種別

備考

・外壁パネル

・F・D・T

・50・60

600

・A種・B種

・間仕切壁パネル

・F・D・T

・50・60

・B種・C種

外壁パネルの工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法)

・適用しない

パネルの相互の目地幅(mm)

長辺の目地幅

※8以上

・図示

短辺の目地幅

※15以上

・図示

出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する

目地幅(mm)

※15

・図示

原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度

・図示()

9

防水工事

1

アスファルト防水

2

改質アスファルトシート防水

屋根保護防水

防水層の種別

種別

施工箇所

断熱材

絶縁用シートの材質

立上り部の保護

・A-1

・A-2

・A-3

・B-1

・B-2

・B-3

・A1-1

・A1-2

・A1-3

・B1-1

・B1-2

・B1-3

(材質)※JIS A 9521(建築用断熱材)による押出法[※]「リフレフォーム」断熱材の保温板3種bA(2[※]層付き)又はJIS A 9511(発泡「スチック」保温材)によるA種押出法[※]「リフレフォーム」保温材の保温板3種b(2[※]層あり)

(厚さ)・25mm・50mm・

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

※水下

80mm以上

・

床タイル張り

※水下

60mm以上

・

立上り部の保護

・乾式保護材

窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。

屋上排水溝

※図示

・

屋根露出防水

防水層の種別

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率防水の適用

・D-1

・D-2

・D-3

・D-4

・D1-1

・D1-2

(材質)※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に合格するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の1種b₁、2種b又は3種b₁、JIS A9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの

(厚さ)・25mm・

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示

・

・屋内防水

防水層の種別

種別

施工箇所

種別

施工箇所

・E-1

給食EVビッド

・E-2

保護層

・設ける(※図示

・

・設けない

防水層の地下、立上りコンクリート打込し仕上げ

※標準仕様書表6.2.4[打込し仕上げ種別]のB種

・

押え金物の材質及び形状寸法

※アルミニウム製

L30×15×2.0mm程度

・

防水層の地下のモルタル塗り

・適用する(施工範囲

・図示

・)

・適用しない

(9.3.2.3)(表9.3.1~3)

防水層の種別

種別

施工箇所

断熱材

防湿層

仕上塗料

高日射反射率防水の適用

・AS-T1

・AS-T2

・AS-T3

・AS-T4

・AS-J1

・AS1-T1

・AS1-J1

(材質)※JIS A 9521(建築用断熱材)による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に合格するもの又はJIS A 9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの

(厚さ)・25mm・

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による

押え金物

※改質アスファルト製造所の仕様による

・

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別

(9.4.2~4)(表9.4.1~3)

種別

施工箇所

絶縁用シートの材質

断熱材

仕上塗料

高日射反射率防水の適用

・S-F1

・S-F2

・S-M1

・S-M2

・S-M3

・S1-F1

・S1-F2

・S1-M1

・S1-M2

(材質)※JIS A 9521(建築用断熱材)による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に合格するもの又はJIS A 9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの又はJIS A 9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの

(厚さ)・25mm

(材質)※JIS A 9521(建築用断熱材)による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に合格するもの又はJIS A 9521(建築用断熱材)による硬質ウレタン断熱材の1種b₁、2種b又は3種b₁、JIS A9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A 9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A 9511(発泡「スチック」保温材)によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの

(厚さ)・25mm

屋内防水層の種別

種別

施工箇所

保護層

立上り部の保護

・S-C1

※標準仕様書15.2.5(b)(2)及び(3)に準ずる

※標準仕様書15.2.5(c)(1)に準ずる

※7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

・

ALCパネル下地の場合機械的固定工法は適用しない

ルーフィングシートの種類及び厚さ

※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による

・

固定金具の材質及び形状

材質

※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの

・

厚さ(mm)

※0.4以上

・

防水下地からPCコンクリート部材下地の場合の処理

目地処理

※図示

・

入隅部の増張り(S-F1、S1-F1、S-C1の場合)

※図示

・

防水下地がALCパネル下地の場合の処理

目地処理

※図示

・

入隅部の増張り(S-C1の場合)

※図示

・

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

・適用しない

保護層の施工(屋内保護密着工法の場合)

※図示

・

4

シーリング

④ 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1,2)

防水層の種別

(9.6.1.3)(表9.6.1,2)

防水層の種別

施工箇所

種別

施工箇所

※C-U1

・C-UP

(9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)

防水種別

種類

設置数量

D-1 D-2 D-3 D-4

D1-1 D1-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS1-T1 AS1-J1

X-1

※「スチック」類製造所の仕様による

※「スチック」類製造所の仕様による

・個/m²

X-1

・防水層の主材料の製造所の仕様による

・防水層の主材料の製造所の仕様による

・個/m²

(9.7.2)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による

ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所

シーリング材の種類(記号)

外壁-外壁

変形シリコン(MS-2)

10×10

外壁-アルミサッシ

変形シリコン(MS-2)

10×10

化粧ケイカル板-化粧ケイカル板

変形シリコン(MS-2)

10×15

シーリング材の目地寸法

※標準仕様書9.7.3(a)(1)~(3)による

・

○引張試験有

○EXP、JP部

15×10

11

タイル工事

1

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

2

セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

位置

※標準仕様書表11.1.1による

・図示

(11.1.3)(表11.1.1)

(11.2.2,3,7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所

形状寸法

再生材の適用

吸水率による区分

うわぐすり

役物

色

耐凍害性

耐滑り性

備考

段鼻タイル

150×60

○

○

○

有

無

標準特注

有

無

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り

・行う

・行わない

見本焼き

・行う

・行わない

モルタル塗りのコンクリート素地面の処理

・MCR工法

・目荒し工法(高圧洗浄)

・

壁タイル張りの工法

外装タイル

・密着張り

・改良積上げ張り

・改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル

・マスク張り

・モザイクタイル張り

・既製適合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

・既製適合目地材

(11.3.2~4,7)

3

接着剤による陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所

形状寸法

再生材の適用

吸水率による区分

うわぐすり

役物

色

耐凍害性

耐滑り性

備考

・モザイクタイル

(インテリアモザイクニュアンスINAX同等品)

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り

・行う

・行わない

見本焼き

・行う

・行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・

外装壁タイル接着材張りにおける目地のシーリング材

打継ぎ目地

※ポリウレタン系シーリング材

・

ひび割れ誘発目地

※ポリウレタン系シーリング材

・

伸縮調整目地

※変成シリコン系シーリング材

・

その他の目地

※変成シリコン系シーリング材

・

モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

・MCR工法

・目荒し工法(高圧洗浄)

・

工事名称

亀山中学校給食配膳室等整備工事

縮尺

A1: non

A3: non

設計者

株式会社 アスカ 総合設計

管理建築士

一級建築士 第242755号

設計者

一級建築士 第00961号

構造設計者

谷川 精一

図面番号

2025IR7年03月

2024a011-0305ty

図面名称

建築工事特記仕様書2

三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号

矢野 孝義

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

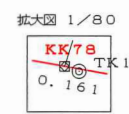
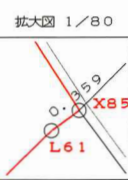
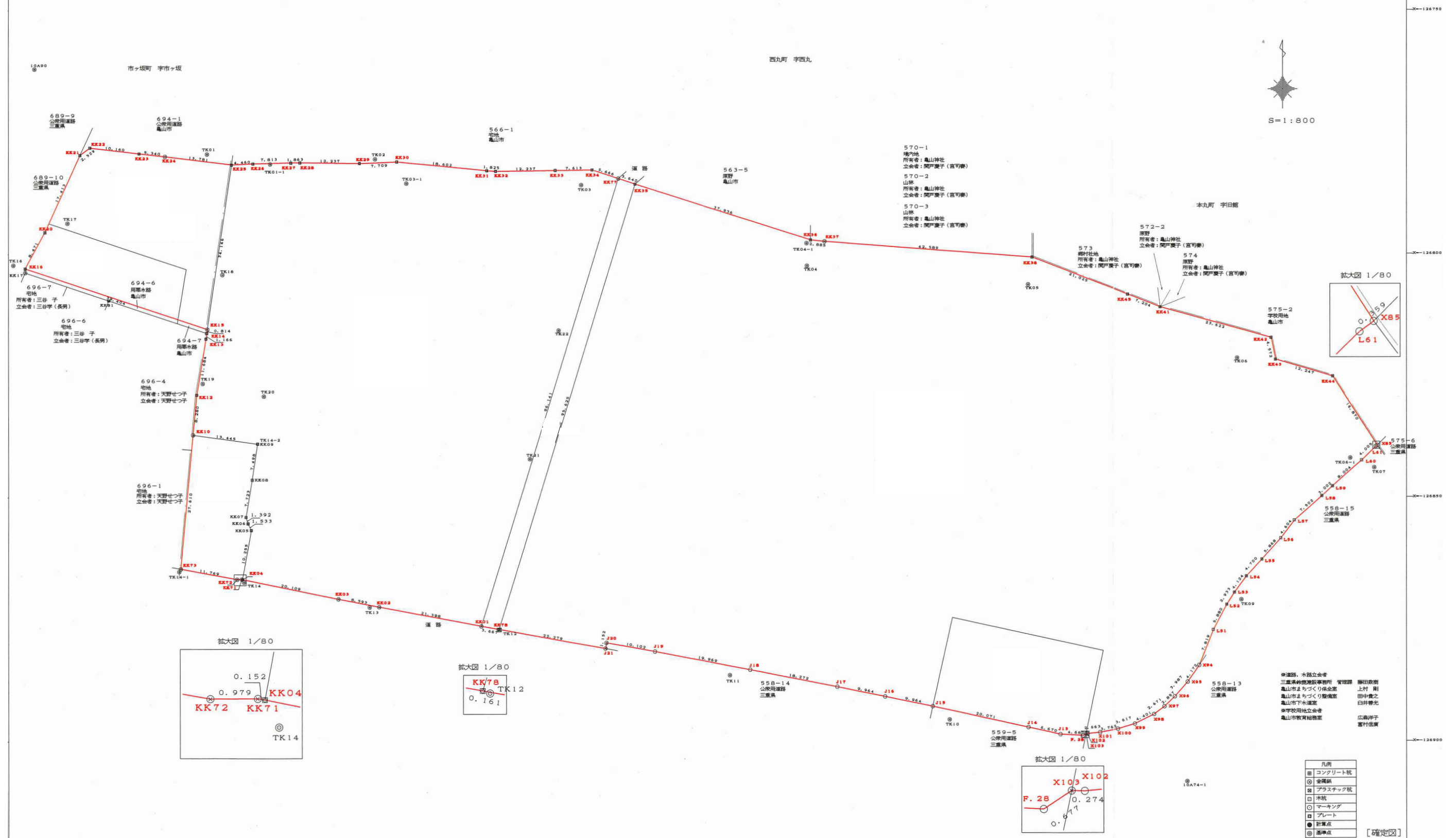
735

[illegible]

16 建 具 工 事	① 防火戸 2 見本の製作等 3 防犯建物部品 ④ アルミニウム製建具	※建具表による 建具見本の製作 建具見本の程度 特殊な建具の仮組 ・適用する (適用箇所は建具表による) ・適用しない 性能等級 外部に面する建具 ○B種 (建具符号: ※建具表による) ・防音ドアセット、防音サッシ ・断熱ドアセット、断熱サッシ ・耐震ドアセット 枠の見込み寸法 表面処理 外部に面する建具 屋内の建具 結露水の処理方法 水切り板、ぜん板 ○アルミサッシ (防火設備) 個別認定番号 EB-2562 EB-2528-1 ○イースターカーテン	9 ステンレス製建具 10 木製建具 性能等級 外部に面する建具 ○B-1種 ○B-2種 ・防音ドアセット、防音サッシ ・断熱ドアセット、断熱サッシ ・耐震ドアセット 枠の見込み寸法 表面処理 外部に面する建具 屋内の建具 結露水の処理方法 水切り板、ぜん板 ○アルミサッシ (防火設備) 個別認定番号 EB-2562 EB-2528-1 ○イースターカーテン	性能等級 簡易気密型 外部に面する建具の耐風圧性 ・防音ドアセット・防音サッシ ・断熱ドアセット・断熱サッシ ・耐震ドアセット 鋼板 (屋外) 鋼板 (屋内) 表面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 建具材の加工、組立時の含水率 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ※フラッシュ戸 表面材の合板の種類 ・普通合板 ・天然化粧合板 ・特殊加工化粧合板 表面板の厚さ ・かまち戸 見込み寸法 ・ふすま 張りの種別 上張り 縁仕上 見込み寸法 ・戸ふすま 見込み寸法 ・紙張り障子 枠、くつずりの材料 金物の種類・見え掛け部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による 樹脂製建具に使用する丁香 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ○建具表による 錠前類 ○建具表による クローザ類 ○建具表による 自動ドア ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ・DSDL-2 ・SND-1 ・SND-1 ・図示 性能 ※標準仕様書表16.10.1による シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉機能による種類 シャッターのシャッターケース スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 めっきの付着量 ※Z12又はF12	16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4) 16 軽量シャッター 17 オーバーヘッドドア ⑮ ガラス 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m² スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 セクション材料 による区分 ※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラス タイプ 耐風圧 区分 (Pa) による区分 ・バルーン式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式 による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・バーチャル形 ガイドレールの材質 ・ステンレス鋼板 適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表による。 ・合わせガラス 品 種 構成種類 性 能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き合わせガラス ・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種 類 性 能 ○フロート強化ガラス ○フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・型板ガラス ・型板強化ガラス ・熱線吸収ガラス 品 種 性 能 色 調 鉄鋼面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・複層ガラス 品 類 断熱性 日射熱遮へい性 ・断熱複層ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・日射熱遮へい複層ガラス ・1種 ・2種 ・E4 ・E5 ○網入り板ガラス 品 類 ○網入り板ガラス 既設窓ガラス入替え 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ○シーリング材 ・ガスケット ○グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ○シーリング材 ステンレス製 ・シーリング材 ○網入りガラス ○シーリング材 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ・図示 ・設けない 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS 304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状縦筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 金属製化粧力骨 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示	16.12.2~4) (16.13.2.3) (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1) (18.3.2.3) (18.4.1~18.14.2) ① 接着剤 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ② ビニル床シート 区分 JIS記号・種類 施工箇所 色 柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 発泡層のないもの ※FS (複層) ・無地 ○マーブル柄 ・帯電防止 ※2.0 発泡層のあるもの ・無地 ・柄物 ○防滑性 ・耐薬品性 工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所 ・) 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10²~10¹⁰Ω程度 ・スロープ床、踊り場床 (プール側) 厚2.9 プール用防滑性ビニル床シート (タキストロンMXヒートシールド同等品) ・屋外階段段 厚4.2 防滑性階段用床材 (タキステップ3X同等品) ・屋外階段段 厚2.9 階段段込み部分用床材 (蹴込み部分用シート3X用同等品) ③ ビニル床タイル JIS記号・種類 施工箇所 色 柄 寸法 (mm) 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ・FT (複層) ・無地 ・柄物 ・450×450 ・防滑性 ※2.0 ・2.5 ・3.0 ・KT (コンポジション) ・無地 ・柄物 ・300×300 ・450×450 ・500×500 ・帯電防止 ・防滑性 ※2.0 ・3.0 ・FOA (置敷き) ・無地 ・柄物 ・帯電防止 ・防滑性 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10²~10¹⁰Ω程度 ④ ビニル幅木 材質 ○軟質 ・硬質 高さ (mm) ・60 ・70 ○70 厚さ (mm) ※1.5以上 5 ゴム床タイル 色柄 () 厚さ (mm) ・3
------------------------	---	---	---	--	--	--

7 合成樹脂塗床	⑬ せっこうボード、その他ボード及び合板張り	(19.4.2.3) (表19.4.1～8) <table><tr><th>種 類</th><th>施工箇所</th><th>工 法</th><th>仕上げの種類</th></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 ・弾性軟質樹脂系塗床材</td><td></td><td></td><td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 ・1k*砂樹脂塗床材</td><td>給食室棟 753ﾌｫｰﾑ</td><td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂砂処理工法</td><td>・平滑仕上げ ○防汚仕上げ</td></tr><tr><td>・薄膜型塗床材 ・77k砂樹脂塗床材 (JIS K 5970)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 (19.4.2) ・ワゴンプール床 薄膜型エポキシ樹脂系防塵塗料 ケミクリートEPカラー (ABC商会) 防汚工法仕上げ同等品	種 類	施工箇所	工 法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 ・弾性軟質樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 ・1k*砂樹脂塗床材	給食室棟 753ﾌｫｰﾑ	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂砂処理工法	・平滑仕上げ ○防汚仕上げ	・薄膜型塗床材 ・77k砂樹脂塗床材 (JIS K 5970)				20 ユニ ット 及び その 他の 工事	④ トイレブース	21 排 水 工 事	① 屋外雨水排水	22 舗 装 工 事	① 路床	23 路 盤 工 事	(22.2.2,3,5) <table><tr><th colspan="5">路床の材料</th></tr><tr><th>種 別</th><th colspan="3">材 料</th><th>厚 さ (mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種</td><td>・B種</td><td>・C種</td><td>・D種</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>・再生クラッシャーラン [G]</td><td>・クラッシャーラン</td><td colspan="3">・図示</td></tr><tr><td></td><td colspan="4">・切込み砂利</td><td></td></tr><tr><td></td><td colspan="4">・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td><td></td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td><td colspan="4">・図示</td></tr></table> 路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種[G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg (目標CBR ・5以上 ・ ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 ・ 厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・ 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・ 試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 (現場密度) ・行う ・行わない	路床の材料					種 別	材 料			厚 さ (mm)	・盛土	・A種	・B種	・C種	・D種	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン [G]	・クラッシャーラン	・図示				・切込み砂利						・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)					・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示			
		種 類	施工箇所	工 法	仕上げの種類																																																													
・厚膜型塗床材 ・弾性軟質樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																															
・厚膜型塗床材 ・1k*砂樹脂塗床材	給食室棟 753ﾌｫｰﾑ	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂砂処理工法	・平滑仕上げ ○防汚仕上げ																																																															
・薄膜型塗床材 ・77k砂樹脂塗床材 (JIS K 5970)																																																																		
路床の材料																																																																		
種 別	材 料			厚 さ (mm)																																																														
・盛土	・A種	・B種	・C種	・D種	・図示																																																													
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン [G]	・クラッシャーラン	・図示																																																															
	・切込み砂利																																																																	
	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)																																																																	
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																																																																
② 路盤	③ アスファルト舗装	④ コンクリート舗装	⑤ 埋戻し土	⑥ プラットホームカバー																																																														

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事		図面名称 建築工事特記仕様書5		縮尺 A1：non A3：non	
株式会社 アスカ 総合設計		管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義	設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一	設計者	構造設計者
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1267号		業務年月 (2025)R7年03月 7746番号 2024a011-0305ty		図面番号 A - 05	



※道路、水路立会者
三重県建設事務所 管理課 藤田政樹
亀山市まちづくり保全課 上村 剛
亀山市まちづくり整備課 田中隆之
亀山市下水道課 白井智光
※学校用地立会者
亀山市教育総務室 広森洋子
※関係者
三井物産株式会社 三井物産株式会社 三井物産株式会社

凡例
コンクリート杭
金属杭
プラスチック杭
木杭
マーキング
プレート
計測点
基準点

[確定図]

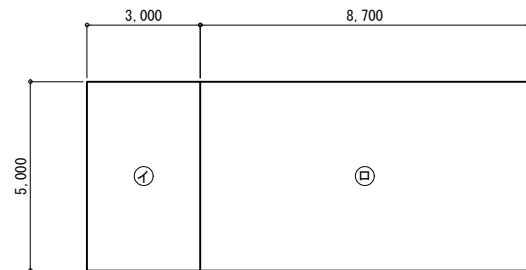
求積表				
地 番	敷地全体面積			地 目
所有者				
NO	X _n	Y _n	X _n ・(Y _{n+1} －Y _{n-1})	距 離
KK01	-126876.379	41022.134	3125980.225802	21.398
KK02	-126872.418	41001.106	3737788.306698	8.593
KK03	-126870.765	40992.673	3569889.585570	20.109
KK04	-126866.754	40972.968	2518939.400670	0.152
KK71	-126866.732	40972.818	143232.540428	0.979
KK72	-126866.739	40971.839	1593065.641623	11.769
KK73	-126864.627	40960.261	1147490.551215	27.610
KK10	-126837.133	40962.794	-417674.678969	8.280
KK12	-126828.888	40963.554	-338886.788736	11.684
KK13	-126817.362	40965.466	-262765.574064	1.166
KK14	-126816.207	40965.626	-34367.192097	0.814
KK15	-126815.401	40965.737	4725902.733666	39.404
KK16	-126802.926	40928.360	4228750.779174	8.471
KK20	-126795.474	40932.388	-1426322.287026	17.413
KK21	-126779.629	40939.609	-1171950.890476	2.529
KK22	-126778.112	40941.632	-1535536.492544	10.160
KK23	-126779.309	40951.721	-1951640.682746	5.340
KK24	-126779.921	40957.026	-2406409.680501	13.781
KK25	-126781.618	40970.702	-2298677.515958	4.460
KK26	-126781.405	40975.157	-1555100.713730	7.813
KK27	-126781.217	40982.968	-1226481.493258	1.863
KK28	-126781.177	40984.831	-1787487.814523	12.237
KK29	-126781.329	40997.067	-2527892.918931	7.709
KK30	-126781.019	41004.770	-3323817.975123	18.602
KK31	-126782.830	41023.284	-2578128.848050	1.825
KK32	-126782.952	41025.105	-1782187.956264	12.237
KK33	-126782.785	41037.341	-2516384.716680	7.613
KK34	-126782.696	41044.953	-1647414.351824	5.666
KK77	-126784.467	41050.335	-1120774.688280	3.640
KK35	-126785.605	41053.793	-5022231.385260	37.936
KK36	-126797.094	41089.947	-4948002.999162	2.885
KK37	-126797.397	41092.816	-5747852.803407	42.589
KK38	-126800.685	41135.278	-7868743.308360	21.025
KK45	-126808.310	41154.872	-3335312.169620	7.204
KK41	-126810.937	41161.580	-3736737.880579	23.622
KK42	-126817.262	41184.339	-3001510.957016	4.572
KK43	-126821.743	41185.248	-1605816.909866	12.247
KK44	-126825.186	41197.001	-2640373.547334	16.870
X85	-126839.413	41206.067	-1113396.367314	0.359
L61	-126839.628	41205.779	398276.431920	4.005
L60	-126842.440	41202.927	1119257.690560	8.004
L59	-126847.769	41196.955	1041673.879028	3.002
L58	-126849.768	41194.715	994248.481584	7.502
L57	-126854.762	41189.117	1061520.648416	4.604
L56	-126858.440	41186.347	854011.018080	5.868
L55	-126862.768	41182.385	906941.928432	4.700
L54	-126866.223	41179.198	711465.778584	4.124
L53	-126869.562	41176.777	507224.508876	2.933
L52	-126872.035	41175.200	552781.456495	5.880
L51	-126877.216	41172.420	725610.798304	7.819
X94	-126884.462	41169.481	673375.839834	4.172
X95	-126887.897	41167.113	632916.830236	3.987
X96	-126890.902	41164.493	596006.566694	2.897
X97	-126892.922	41162.416	536249.488372	2.671
X98	-126894.509	41160.267	774690.977445	4.401
X99	-126896.438	41156.311	940556.398456	3.617
X100	-126897.506	41152.855	907570.962912	3.765
X101	-126898.222	41149.159	805423.015034	2.663
X102	-126898.474	41146.508	371178.036450	0.274
X103	-126898.467	41146.234	106340.915346	0.677
F.28	-126898.841	41145.670	662919.545384	4.667
J13	-126898.582	41141.010	1417457.160940	6.670
J14	-126897.128	41134.500	3313284.012080	20.071
J15	-126892.807	41114.900	3725572.813520	9.964
J16	-126890.800	41105.140	2477669.760800	9.964
J17	-126888.823	41095.374	3513805.286516	18.272
J18	-126885.284	41077.448	4763781.102496	19.969
J19	-126881.554	41057.830	3751633.788672	10.102
J20	-126879.806	41047.880	1288337.550124	1.152
J21	-126880.940	41047.676	2808636.487840	22.279
KK78	-126877.024	41025.744	3240692.947008	3.667
合 計				42270.283586
合 計 面 積			21135.1417930	
地 積			21135.14	㎡

地 番	694-4、694-5			地 目	宅地
所有者					
NO	X _n	Y _n	X _n ・(Y _{n+1} －Y _{n-1})	距 離	
KK21	-126779.629	40939.609	-1171950.890476	2.529	
KK22	-126778.112	40941.632	-1535536.492544	10.160	
KK23	-126779.309	40951.721	-1951640.682746	5.340	
KK24	-126779.921	40957.026	-2406409.680501	13.781	
KK25	-126781.618	40970.702	-1104394.674398	34.146	
KK15	-126815.401	40965.737	5369617.709142	39.404	
KK16	-126802.926	40928.360	4228750.779174	8.471	
KK20	-126795.474	40932.388	-1426322.287026	17.413	
合 計				2113.780625	
合 計 面 積				1056.8903125	
地 積				1056.89	

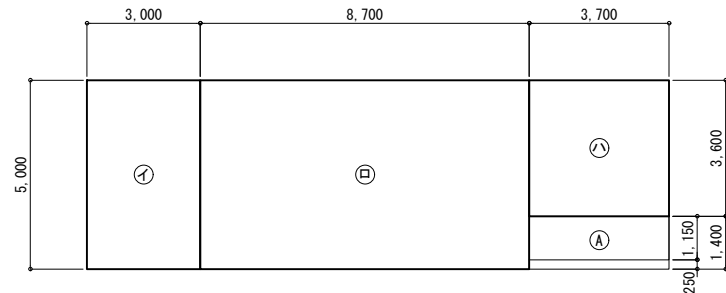
地 番	564・565			地 目	学校用地
所有者					
NO	X _n	Y _n	X _n ・(Y _{n+1} －Y _{n-1})	距 離	
KK25	-126781.618	40970.702	-1194282.841560	4.460	
KK26	-126781.405	40975.157	-1555100.713730	7.813	
KK27	-126781.217	40982.968	-1226481.493258	1.863	
KK28	-126781.177	40984.831	-1787487.814523	12.237	
KK29	-126781.329	40997.067	-2527892.918931	7.709	
KK30	-126781.019	41004.770	-3323817.975123	18.602	
KK31	-126782.830	41023.284	-2578128.848050	1.825	
KK32	-126782.952	41025.105	-1782187.956264	12.237	
KK33	-126782.785	41037.341	-2516384.716680	7.613	
KK34	-126782.696	41044.953	-1647414.351824	5.666	
KK77	-126784.467	41050.335	-1120774.688280	3.640	
KK01	-126876.379	41022.134	6245997.261791	21.398	
KK02	-126872.418	41001.106	3737788.306698	8.593	
KK03	-126870.765	40992.673	3569889.585570	20.109	
KK04	-126866.754	40972.968	2266855.160472	10.255	
KK05	-126856.665	40974.805	-144743.454765	1.533	
KK06	-126855.299	40974.109	140555.671292	1.392	
KK07	-126853.969	40973.697	-112646.324472	7.723	
KK08	-126846.356	40974.997	-306968.181520	7.498	
KK09	-126838.942	40976.117	1547815.609226	13.445	
KK10	-126837.133	40962.794	1593454.901879	8.280	
KK12	-126828.888	40963.554	-338886.788736	11.684	
KK13	-126817.362	40965.466	-262765.574064	1.166	
KK14	-126816.207	40965.626	-34367.192097	0.814	
KK15	-126815.401	40965.737	-643714.975476	34.146	
合 計				12179.128328	
合 計 面 積			6089.5641640		
地 積			6089.56	㎡	

地 番	道路①			地 目	-
所有者					
NO	X _n	Y _n	X _n ・(Y _{n+1} －Y _{n-1})	距 離	
KK77	-126784.467	41050.335	-4013869.440753	3.640	
KK35	-126785.605	41053.793	3117784.812555	95.625	
KK78	-126877.024	41025.744	4016799.702816	3.667	
KK01	-126876.379	41022.134	-3120017.035989	96.141	
合 計				698.038629	
合 計 面 積			349.0193145		
地 積			349.01	㎡	

地 番	558、559-4		地 目	学校用地、宅地
所有者	龜山市			
NO	X _n	Y _n	X _n ・(Y _{n+1} -Y _{n-1})	距 離
KK35	-126785.605	41053.793	-8140016.197815	37.936
KK36	-126797.094	41089.947	-4948002.999162	2.885
KK37	-126797.397	41092.816	-5747852.803407	42.589
KK38	-126800.685	41135.278	-7868743.308360	21.025
KK45	-126808.310	41154.872	-3335312.169620	7.204
KK41	-126810.937	41161.580	-3736737.880579	23.622
KK42	-126817.262	41184.339	-3001510.957016	4.572
KK43	-126821.743	41185.248	-1605816.909866	12.247
KK44	-126825.186	41197.001	-2640373.547334	16.870
X85	-126839.413	41206.067	-1113396.367314	0.359
L61	-126839.628	41205.779	398276.431920	4.005
L60	-126842.440	41202.927	1119257.690560	8.004
L59	-126847.769	41196.955	1041673.879028	3.002
L58	-126849.768	41194.715	994248.481584	7.502
L57	-126854.762	41189.117	1061520.648416	4.604
L56	-126858.440	41186.347	854011.018080	5.868
L55	-126862.768	41182.385	906941.928432	4.700
L54	-126866.223	41179.198	711465.778584	4.124
L53	-126869.562	41176.777	507224.508876	2.933
L52	-126872.035	41175.200	552781.456495	5.880
L51	-126877.216	41172.420	725610.798304	7.819
X94	-126884.462	41169.481	673375.839834	4.172
X95	-126887.897	41167.113	632916.830236	3.987
X96	-126890.902	41164.493	596006.566694	2.897
X97	-126892.922	41162.416	536249.488372	2.671
X98	-126894.509	41160.267	774690.977445	4.401
X99	-126896.438	41156.311	940556.398456	3.617
X100	-126897.506	41152.855	907570.962912	3.765
X101	-126898.222	41149.159	805423.015034	2.663
X102	-126898.474	41146.508	371178.036450	0.274
X103	-126898.467	41146.234	106340.915346	0.677
F. 28	-126898.841	41145.670	662919.545384	4.667
J13	-126898.582	41141.010	1417457.160940	6.670
J14	-126897.128	41134.500	3313284.012080	20.071
J15	-126892.807	41114.900	3725572.813520	9.964
J16	-126890.800	41105.140	2477669.760800	9.964
J17	-126888.823	41095.374	3513805.286516	18.272
J18	-126885.284	41077.448	4763781.102496	19.969
J19	-126881.554	41057.830	3751633.788672	10.102
J20	-126879.806	41047.880	1288337.550124	1.152
J21	-126880.940	41047.676	2808636.487840	22.279
KK78	-126877.024	41025.744	-776106.755808	95.625



2・3階求積図	A1:S= 1/100
	A3:S= 1/200

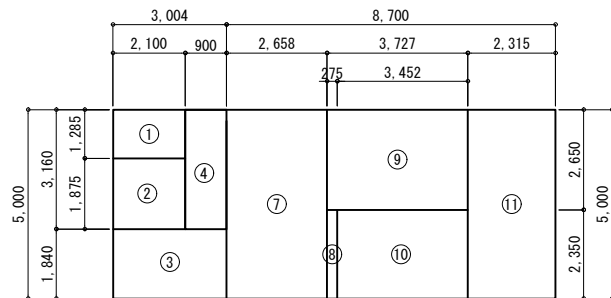


1階求積図	A1:S=	1/100
	A3:S=	1/200

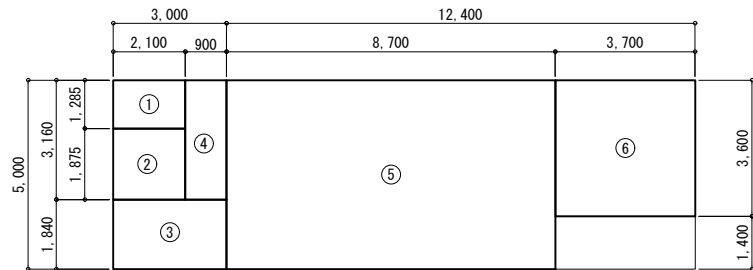
改修部__建築面積表					
記号	計算式			小計	合計
□	8.700	×	5.000	43.50	43.50
	合計（㎡）				43.50
増築部（東側）__建築面積表					
記号	計算式			小計	合計
6	3.700	×	3.600	13.32	
A	3.700	×	1.150	4.28	17.58
	合計（㎡）				17.58
増築部（西側）__建築面積表					
記号	計算式			小計	合計
イ	3.000	×	5.000	15.00	15.00
	合計（㎡）				15.00

改修部__延床面積表					
階数	記号	計算式		小計	合計
1	□	8.700	×	5.000	43.50
2	□	8.700	×	5.000	43.50
3	□	8.700	×	5.000	43.50
合計 (㎡)					130.50
増築部(車側)__延床面積表					
階数	記号	計算式		小計	合計
1	ハ	3.700	×	3.600	13.32
合計 (㎡)					13.32
増築(西側)__延床面積表					
階数	記号	計算式		小計	合計
1	イ	3.000	×	5.000	15.00
2	イ	3.000	×	5.000	15.00
3	イ	3.000	×	5.000	15.00
合計 (㎡)					45.00

既設建物_建築面積・延床面積表												
区分	記号	名称	構造	階数	耐火建築物等	建築面積	延床面積					最高の高さ
							1階	2階	3階	PH階	合計	
既設	1	校舎第1棟	RC造	2	耐火建築物	1,488.49	1,335.64	895.20		18.55	2,249.39	11.224
	2	クラブハウス	RC造	2		482.70	399.76	311.49			711.25	7.646
	3	校舎第2棟	RC造	3	耐火建築物	651.92	651.92	637.64	637.64		1,927.20	12.600
	4	校舎第3棟	RC造	3	耐火建築物	579.49	576.49	578.10	578.10	40.80	1,773.49	12.600
	5	校舎第4棟	RC造	3	耐火建築物	219.22	219.22	219.22	219.22		657.66	12.250
	6	屋内運動場	RC・S造	2		1,338.19	1,197.32	139.51			1,336.83	12.462
	7	プール置場	S造	1		7.81	7.81				7.81	
	8	渡り廊下(5棟)	S造	1		309.26	0.00				0.00	
	9	駐輪場(11棟)	S造	1		614.69	614.69				614.69	
既設合計(m ²)						5,691.77					9,278.32	
増	4a	増築部(東側)	S造	1	耐火建築物	17.58	13.32				13.32	4.234
築	4b	増築部(西側)	S造	3	耐火建築物	15.00	15.00	15.00	15.00		45.00	11.780
新	10	倉庫	S造	1		22.14	22.14				22.14	3.049
築	11	庇	S造	1		5.00	0.00				0.00	3.000
増築+新築合計(m ²)						59.72					80.46	3.400
敷地全体合計(m ²)						5,751.49					9,358.78	

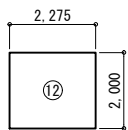


2・3階各室求積図	A1:S=	1/100
	A3:S=	1/200

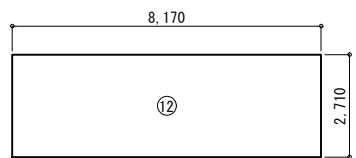


1階各室求積図	A1:S=	1/100
	A3:S=	1/200

階数	名称	記号	計 算 式		小 計	合 計
1	物入	1	2.100	×	1.285	2.70
	給食EV	2	2.100	×	1.875	3.94
	配膳室	3	3.000	×	1.840	5.52
		4	0.900	×	3.160	2.84
		5	8.700	×	5.000	43.50
	コック室	6	3.700	×	3.600	13.32
1階床面積合計 (㎡)						71.82
2	物入	1	2.100	×	1.285	2.70
	給食EV	2	2.100	×	1.875	3.94
	コック室	3	3.000	×	1.840	5.52
		4	0.900	×	3.160	2.84
		7	2.658	×	5.000	13.29
		8	0.275	×	2.350	0.65
	倉庫	9	3.727	×	2.650	9.88
		10	3.452	×	2.350	8.11
	女子便所	11	2.315	×	5.000	11.58
2階床面積合計 (㎡)						58.50
3	物入	1	2.100	×	1.285	2.70
	給食EV	2	2.100	×	1.875	3.94
	コック室	3	3.000	×	1.840	5.52
		4	0.900	×	3.160	2.84
		7	2.658	×	5.000	13.29
		8	0.275	×	2.350	0.65
	倉庫	9	3.727	×	2.650	9.88
		10	3.452	×	2.350	8.11
	男子便所	11	2.315	×	5.000	11.58
3階床面積合計 (㎡)						58.50
合計 (㎡)						188.82



底求積図	A1:S=	1/100
	A3:S=	1/200



倉庫求積図	A1:S= 1/100
	A3:S= 1/200

底 建築面積表				
記号	計算式		小計	合計
12	2.500	× 2.000	5.000	5.00
	合計 (㎡)			5.00

倉庫 建築面積表				
記号	計算式		小計	合計
12	8.170	×	2.710	22.14
	合計 (㎡)			22.14

倉庫 延床面積表					
階数	記号	計算式		小計	合計
1	12	8.170	× 2.710	22.14	22.14
合計 (㎡)					22.14

容積率、建ぺい率		
容積率	8,744.09 ÷ 21,135.14	41.37%
建ぺい率	5,751.49 ÷ 21,135.14	27.22%

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事		図面名称 建物求積図		縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	
株式会社 アスカ 総合設計 	管理建築士 一級建築士 第242755号	設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一	設計者	構造設計者	重要年月 (2025)7年03月 7月番号 2024a011-0229ty
	図面番号 A - 08				
三重県松原市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号 矢野 孝義					

仕上共通事項（凡例項目の・に○印を付した項目を採用する）					
屋上	- 押えコンクリートは、特記なき限り、普通コンクリート厚80mm以上とし、ワイヤメッシュ(6Φ×100網目)を入れる。 - 押えコンクリートの伸縮目地はφ3,000mm以内とし、機械基礎等の防水立上り端部にも必ず設ける。 - 屋上及びバルコニーの水勾配は、躯体側とする。 - 屋上、下階、庇屋根等の防水工法は、排水ルートを保つ2系統以上確保する。 - 屋根下断熱材は現場発泡断熱材 t30吹付とする。	屋外	○屋外の軒天井及びびり付け天井については、特記仕様書14.4.4に規定する天井補強を行う。 - 沿岸地域（海岸より1km以内）の軒天井は、軽鉄地下、ビニール類も全てステンレス製を使用する（対塩害対策）。 - 沿岸地域では海水で表面劣化する為、外部用岩綿吸音板は使用しない。	壁	○大面積ボード壁及び異種地下部分については、必ず亀裂誘発目地を設置する。 - 機械室に隣接して居室が配置される場合、剛性が高い材料を使用し、LGS地下は千鳥、内部GW充填とする。（壁揺れの対策） ○男女の便所およびシャワー室に隣接する場合、遮音壁（ボード両面2枚貼、内部GW充填）を採用する。 ○外壁に接するガラスウールのアカビンは内部結露防止のため、樹脂製のものを使用する。 ○塗装仕上の場合、穴明きナナビードを使用する。 ○電気室出入口及びEPS間仕切下部は止水対策として、躯体立上り(H=100程度)を設ける。 ○LGS壁のボード貼はジョイント施工とし、二枚貼りの場合はジョイントは重ならない様に施工する。 ○ジョイントは寒冷紗貼りのエポキシと、平滑に仕上げる。GL工法もこれによる。ボードはテーパーエッジを使用する。 ○石膏ボードは、特記なき限り、不燃仕様とする。 ○乾式遮音間仕切り、他壁及び躯体等と取合う部分には遮音用シールを施す。 ○地下階内部コンクリート壁面は15m/層増打とする。
外壁	- 外壁のコンクリート面が化粧仕上げ、又は吹付け塗装仕上等の場合は打増し20mmを行う。 - タイル張り外壁の亀裂誘発目地は、必ず躯体目地位置と一致させる。 ・層間ムラ割れによるタイル剥落防止のため、タイル厚の1/3を超える深目地は行わない。 ○ALC板、押出し成型セメント板にタイル張りは、温度変化による反りに追従できないため原則として行わない。 ○乾式外壁(ALC、成型板等)目地からの侵入水対策として、最下部に水切り、水抜きを設置する。 ○化粧コンクリート打放し：増打外部t20(特記なき限り)。コン跡、樹脂系外充填、直村上。 ○型枠は別添塗装2回塗。フォームリムーバラーの割付を図示又は現場指示に基づき行う。 ○打設時の人員配置、パンプレー計画を指示により行う。 ○屋外に面する壁の内側は現場発泡断熱材 t30吹付とする。	床	○仕上りはFLからの仕上高さを示す。特記なき限り、±0とする。 ○躯体高さはFLからの躯体高さを示す。特記なき限り-30とする。 ○PS、EPS、DS内の床仕上は特記なき限り防塵塗装仕上とする。 ○コンクリートにカーペットを直張りすると、7割分と化し異臭発生するため避ける。 （直張りする場合は、バックグランドPVCを使用していないものを使うこととする。） ○2階以上のフロアは、長尺シートの下地には簡易防水を施すこと。 ○機械室の床材は220mm厚とし、下階に居室等静けさを要求する場合は浮き床構造とする。 ○機械室の上階に居室が配置される場合の天井材質厚は200mm以上とする。 ○天井上表の躯体高さは、構造の躯体レベルを示す。 ○ビニールシートは、特記なき限り、溶接工法とする。	その他	○品質グレード欄に記載された建築材料名等については、原則として同等品以上のものを採用する。 ○外部及び水廻りに用いるPBHは、耐水仕様とする。（表面のGB-RをGB-Sとする） ○カーテンの高さは、天井吊の場合は、天井高-レベル高さ（特記無き限り400）-50。天井付の場合、天井高-50とする。 ○カビ防止剤の添加した建材は使用しない。 ○カーテン、カーペット、暗幕等には「防災」表示を行う。（消防法 第八条の三 第2項による）

符号凡例											
ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GL	ガルバニウム鋼板	PR	ビクチャーレール	AD	アルミ製ドア	LSD	軽量鋼製ドア	TB	トイレブース
m	モルタル	LGS	軽量鉄骨下地	SB	スクリーンボックス	SD	スチール製ドア	F	フスマ	WB	ホワイトボード
c	コンクリート	GW	ガラスウール	KB	カーテンボックス	SW	スチール製窓	SLW	スライディングウォール（移動間仕切壁）	TL	トップライト
SP	構造用合板	CR	カーテンレール	AW	アルミ製窓	SS	スチール製シャッター	SF	スチール製3方枠	DS	ダクトスペース

認定番号リスト											
石膏ボード t 9.5	QM-9828、NM-0441	有孔化粧石膏ボード t 9.5	NM-4244 (1)	強化石膏ボード t 21	NM-8615	グラスウール保温板 t 25	NM-8605	硬質木片セメント板（屋根耐火30分）	FP030RF-9081、NM-0597	有孔FK t=6 EP	NM-5055
石膏ボード t 12.5、t 15	NM-8612、NM-8619	普通硬質石膏ボード t 9.5、t 12.5	NM-1908	化粧繊維混入けい酸カルシウム板 t 6.0	NM-8579	化粧グラスウール保温板 t 50	NM-8610	珪酸カルシウム板 t 6.0	NM-8576		
化粧石膏ボード t 9.5	QM-0524、NM-1864	シーリング石膏ボード t 12.5	QM-9826	有孔繊維混入けい酸カルシウム板 t 6.0	NM-8578	仕上塗料EP、SOP、AE、MP、FE等	不燃基材NM-8585	ビニルクロス (GB-Rt12.5下地)	NM-3991		
化粧石膏ボード t 12.5	NM-0127、NM-0128	不燃化粧合板 t=3.0	NM-2183	ロックウール化粧吸音板（岩綿吸音板）	NM-8599	仕上塗料EP、SOP、AE、MP、FE等	不燃基材QM-9816	硬質塩ビシート	NM-0974		

仕上材凡例											
g	構造用合板	HF	硬質木片セメント板	SP	構造用合板	GB-D	化粧石膏ボード	DP	耐候性塗料アクリルシリコン樹脂	HF	硬質木片セメント板
FK	ケイ酸カルシウム板	FK-P	ケイ酸カルシウム板（穴明き）	GB-R	石膏ボード	GB-S	シーリング石膏ボード	WP	自然塗料	FCC	フッ素クリア樹脂塗
FK-D	化粧ケイ酸カルシウム板（内装用）	DR	ロックウール化粧吸音板	GB-F	強化石膏ボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	HW	硬質木毛セメント板	EP	エマルジョンペイント

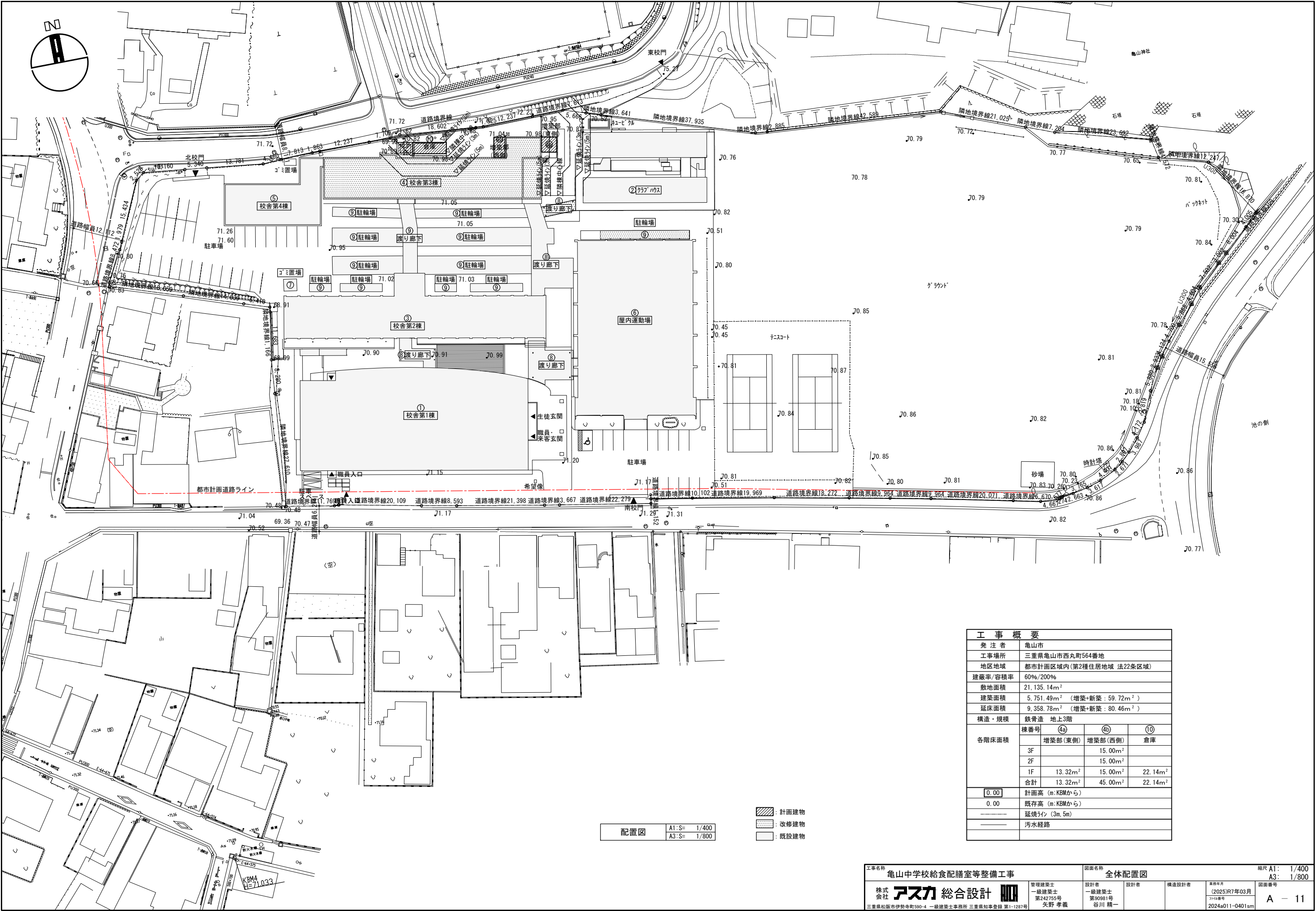
内部仕上リスト（記載事項を使用する） 使用材料は全て F☆☆☆☆ 該当品とする。小屋裏もF☆☆☆☆とします。

[illegible]

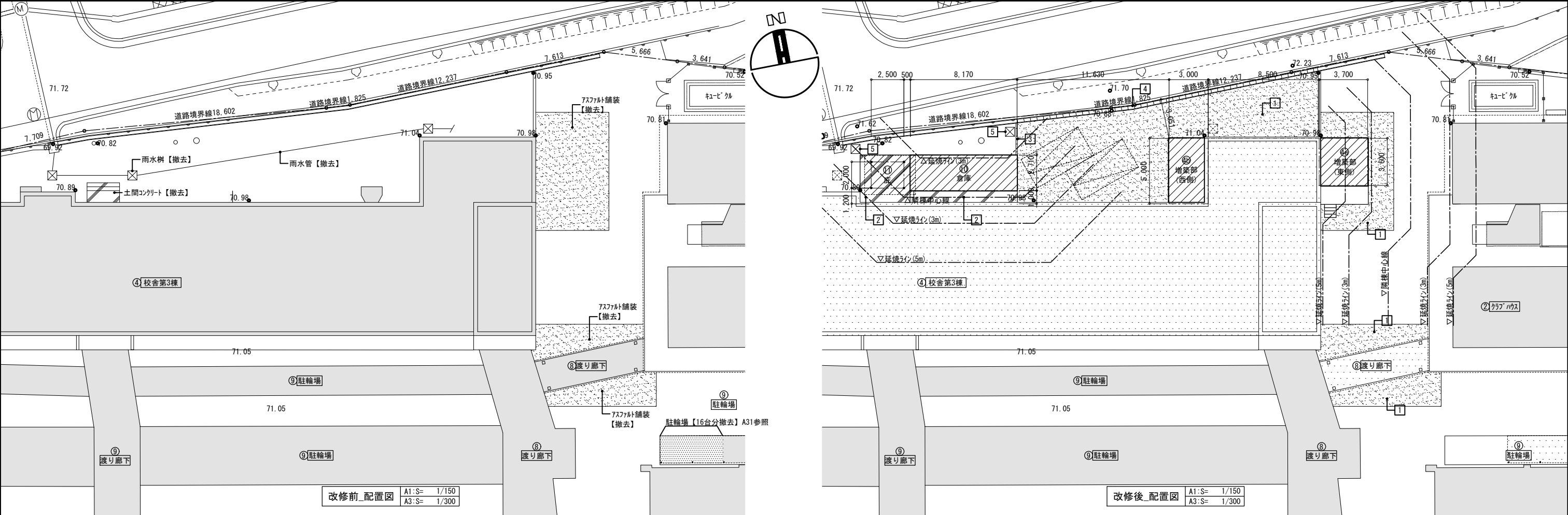
主要構造部リスト											
令120条により、主要構造部は耐火構造であるか又は不燃材料とする。											
名称	要求仕様	使用材料	認定番号	名称	要求仕様	使用材料	認定番号	名称	要求仕様	使用材料	認定番号
外壁	耐火構造	ALCt120 複層塗材E	FP060NE-9293(1時間耐火構造)	柱	1時間耐火	鉄骨+25mm吹付けロックウール被覆	FP060CN-9460				
壁・凹区画	1時間耐火	GB-Ft21+GB-Ft21.LGS下地ス7' 下まで	FP060NP-0007	梁	1時間耐火	鉄骨+25mm吹付けロックウール被覆	FP060EM-9408				
屋根	30分耐火構造	GLカラー タイフレート3.2 裏打材	FP030RF-9326	階段	準不燃材料以上						

外部仕上表（記載事項を採用する）													
部位			部位			部位			部位				
屋根	符号		外壁	符号		軒天	符号		外部床	符号			
屋根	Y-1	屋根：折板 GLｶｰｰ t0.8 H166 ｼﾍﾞ ｸﾗｲﾄﾌﾚｰﾑ t3.2 妻ﾌﾚｰﾑ	外壁	G-1	外壁：ALC t120 防水型複層塗材E 凹凸状 水系ﾌｯｿ素	軒天	OC-1	軒天：M25 FK t6.0 目地処理の上、EP	外部床	GF-1	床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞ押え		
		裏打材：無機質高充填ﾌｵｰﾑﾌﾞﾗｽﾁｬｸ2種 t4.0		G-2	外壁：M25 FK t6.0 EP					GF-2	――		
				G-101	外壁：下地調整の上、複層塗材E 凹凸状 水系ﾌｯｿ素		OCZ-1	軒天見切：7ﾙﾐ 10×25		GF-3	2000×200 亜鉛ﾒｯｷﾞ ｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ 細目 排水溝65φ		
	YZ-1	水上化粧ﾌﾚｰﾑ：GLｶｰｰ		G-102	外壁：ﾓﾙﾀﾙ補修の上、複層塗材E 凹凸状 水系ﾌｯｿ素					GF-4	段鼻ﾀｲﾙ		
	YZ-2	ｸﾗﾊﾞｰ 包み：GLｶｰｰ t0.4											
	YZ-3	水下化粧ﾌﾚｰﾑ：GLｶｰｰ		GZ-1	巾木：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞ仕上								
	YZ-4	壁取合金物：GLｶｰｰ t0.4		GZ-2	巾木取合水切：GLｶｰｰ t0.6								
	YZ-5	軒樋：塩ﾋﾞ角型 W120 ｶｰｰ FE SUS掴み金物					断熱材	断熱-1		屋根：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｵｰﾑ吹付 t50	その他	OZ-1	庇：清掃後、ﾓﾙﾀﾙ補修の上、塗膜防水
	YZ-6	壁樋：VU塩ﾋﾞ管 φ100 ｶｰｰ SUS掴み金物φ1200						断熱-2		外壁：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｵｰﾑ吹付 t50(ｽﾗｯ下まで)			
	YZ-7	落し口：VU塩ﾋﾞ管 φ100ｶｰｰ						断熱-3		天井：GW t100 24kg/m ³			
YZ-10	軒先水切り面戸：GLｶｰｰ t0.4				断熱-4	土間下：ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｵｰﾑ t25							

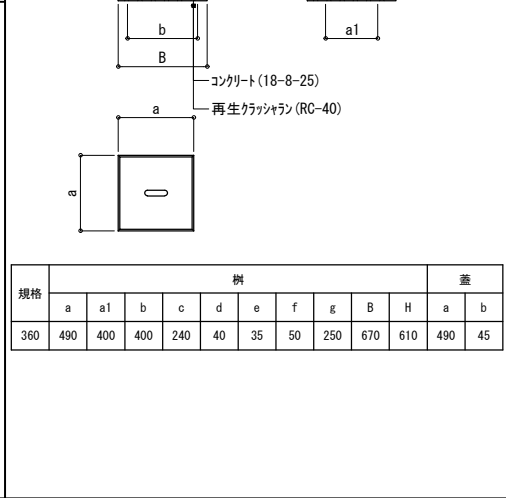
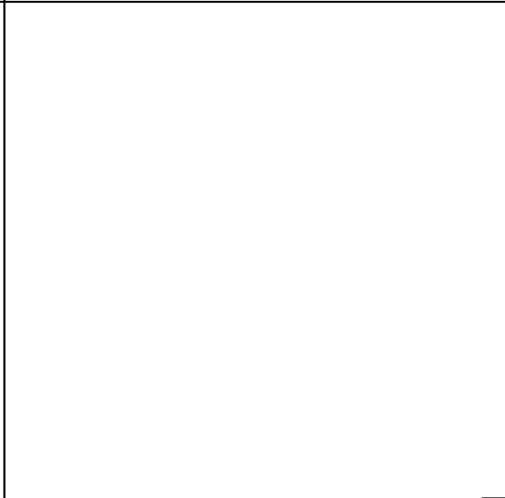
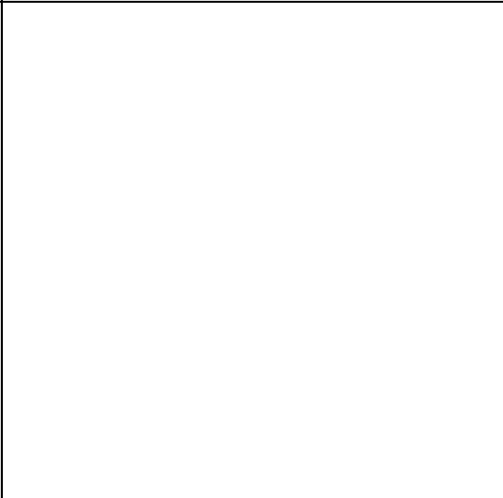
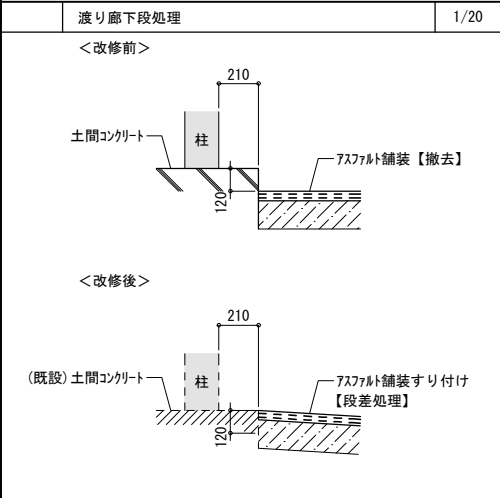
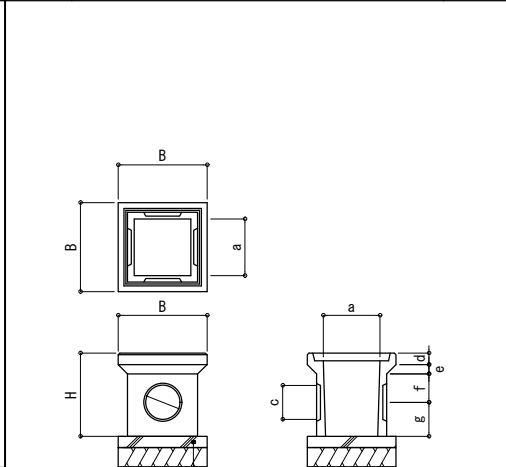
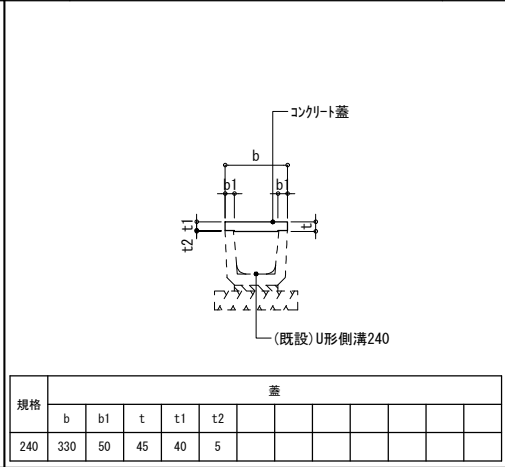
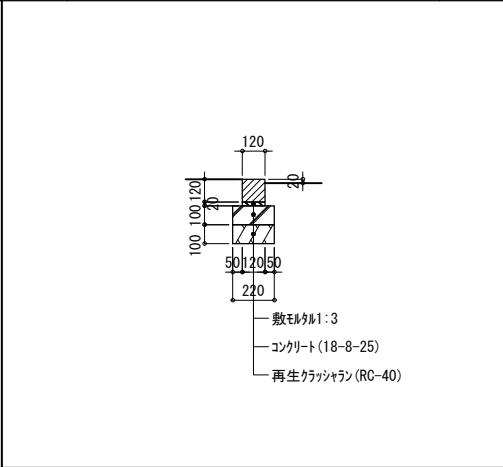
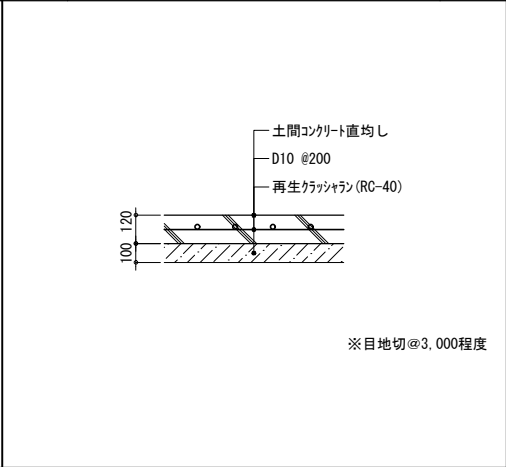
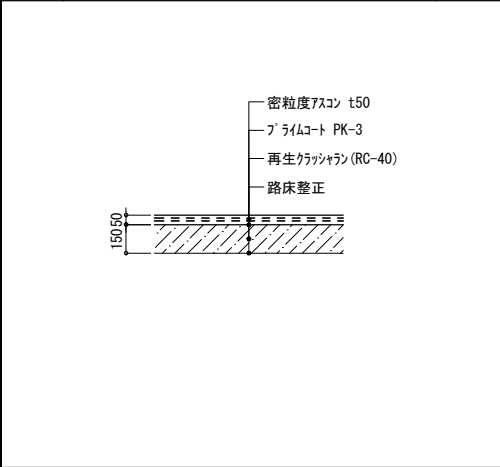
工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事										図面名称 仕上表1				縮尺 A1: non A3: non	
株式会社 アスカ 総合設計 				管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義		設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一		設計者		構造設計者		業経年月 (2025)R7年03月 7/16番号 2025a011-0409sm		図面番号 A - 09	



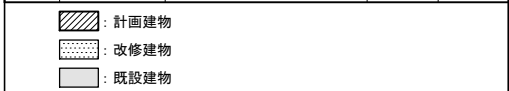
工 事 概 要			
発 注 者	亀山市		
工事場所	三重県亀山市西丸町564番地		
地区地域	都市計画区域内(第2種住居地域 法22条区域)		
建蔽率/容積率	60%/200%		
敷地面積	21,135.14㎡		
建築面積	5,751.49㎡ (増築+新築 : 59.72㎡)		
延床面積	9,358.78㎡ (増築+新築 : 80.46㎡)		
構造・規模	鉄骨造 地上3階		
各階床面積	棟番号	(4a)	(4b)
	増築部(東側)		増築部(西側)
	3F		15.00㎡
	2F		15.00㎡
	1F	13.32㎡	15.00㎡
	合計	13.32㎡	45.00㎡
	倉庫		22.14㎡
0.00	計画高 (m:KBMから)		
0.00	既存高 (m:KBMから)		
	延焼ライン (3m, 5m)		
	汚水経路		

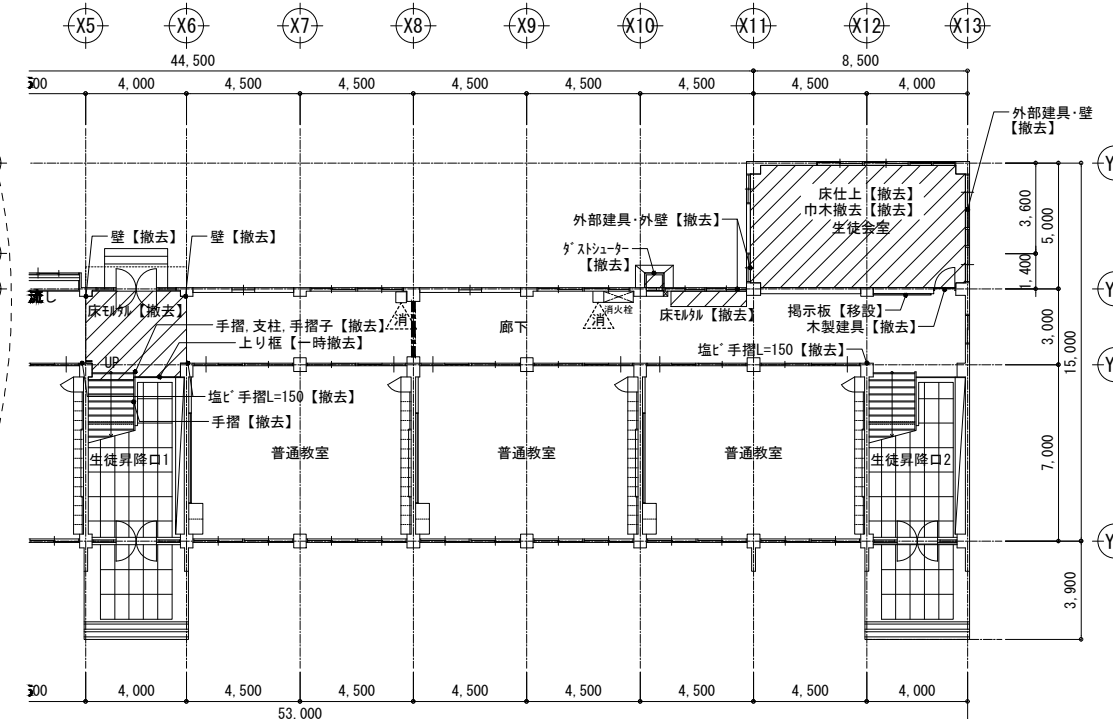
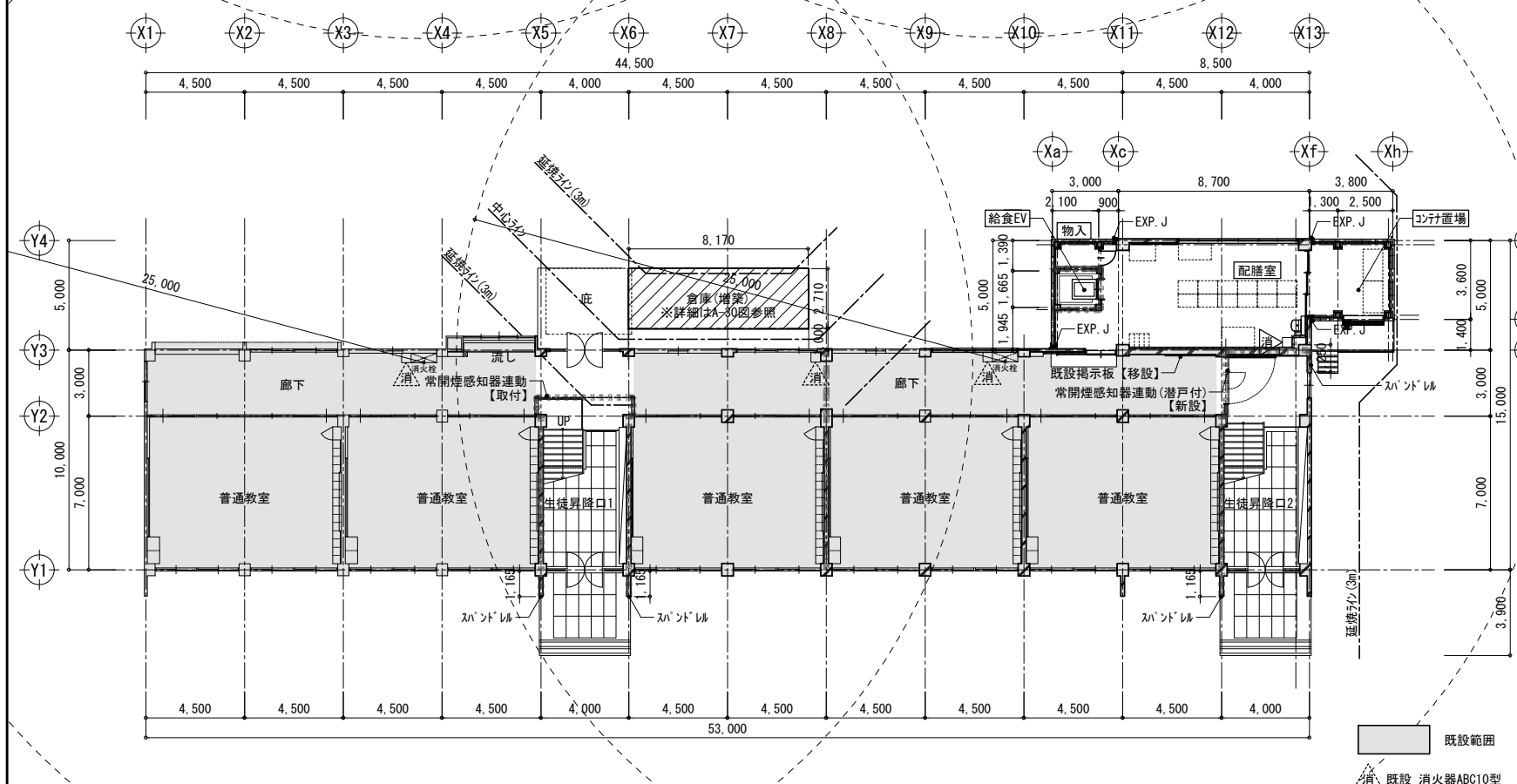
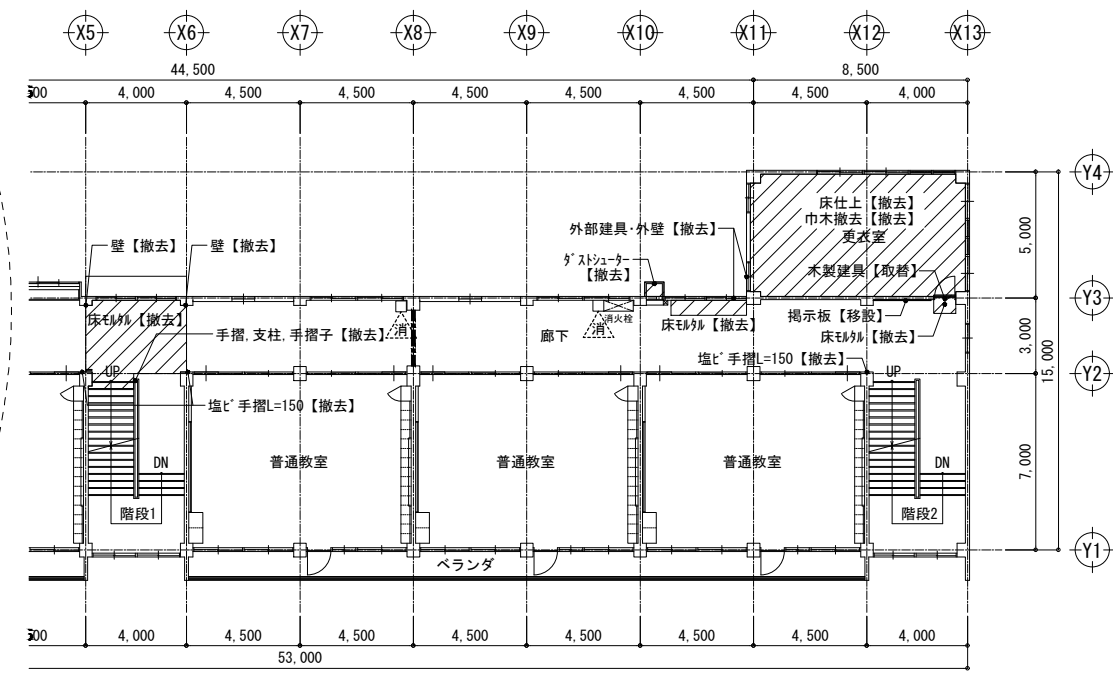
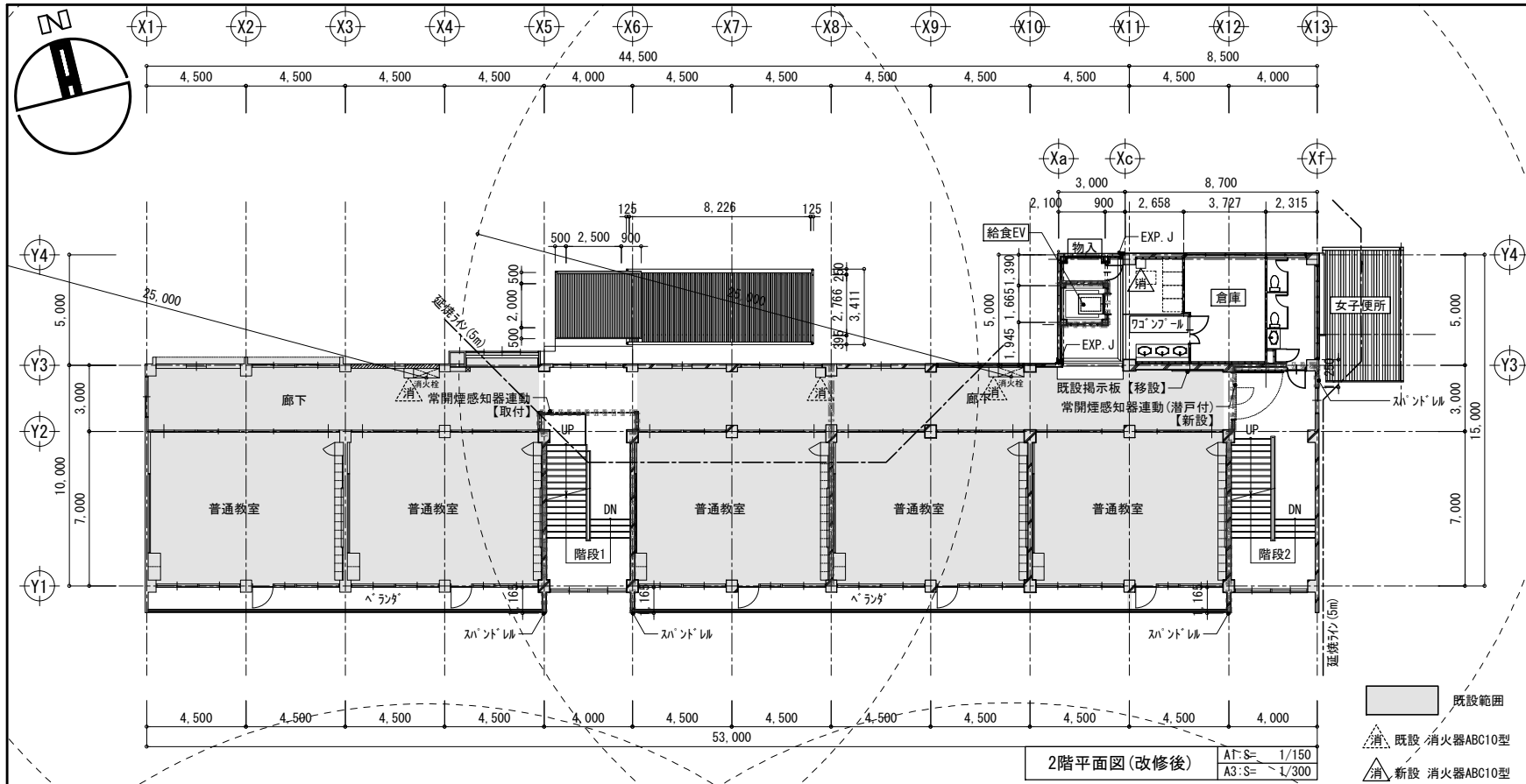


1	アスファルト舗装	1/20	2	土間コンクリート	1/20	3	緑石	1/20	4	コンクリート蓋	1/20	5	溜樹	1/20
---	----------	------	---	----------	------	---	----	------	---	---------	------	---	----	------



記号	凡例	内容	撤去数量	新設数量
1		アスファルト舗装	82.6㎡	183.4㎡
2		土間コンクリート	3.8㎡	21.1㎡
3		緑石 L600		2.5m
4		コンクリート蓋 L500		28.6m
5		溜樹		2ヶ所





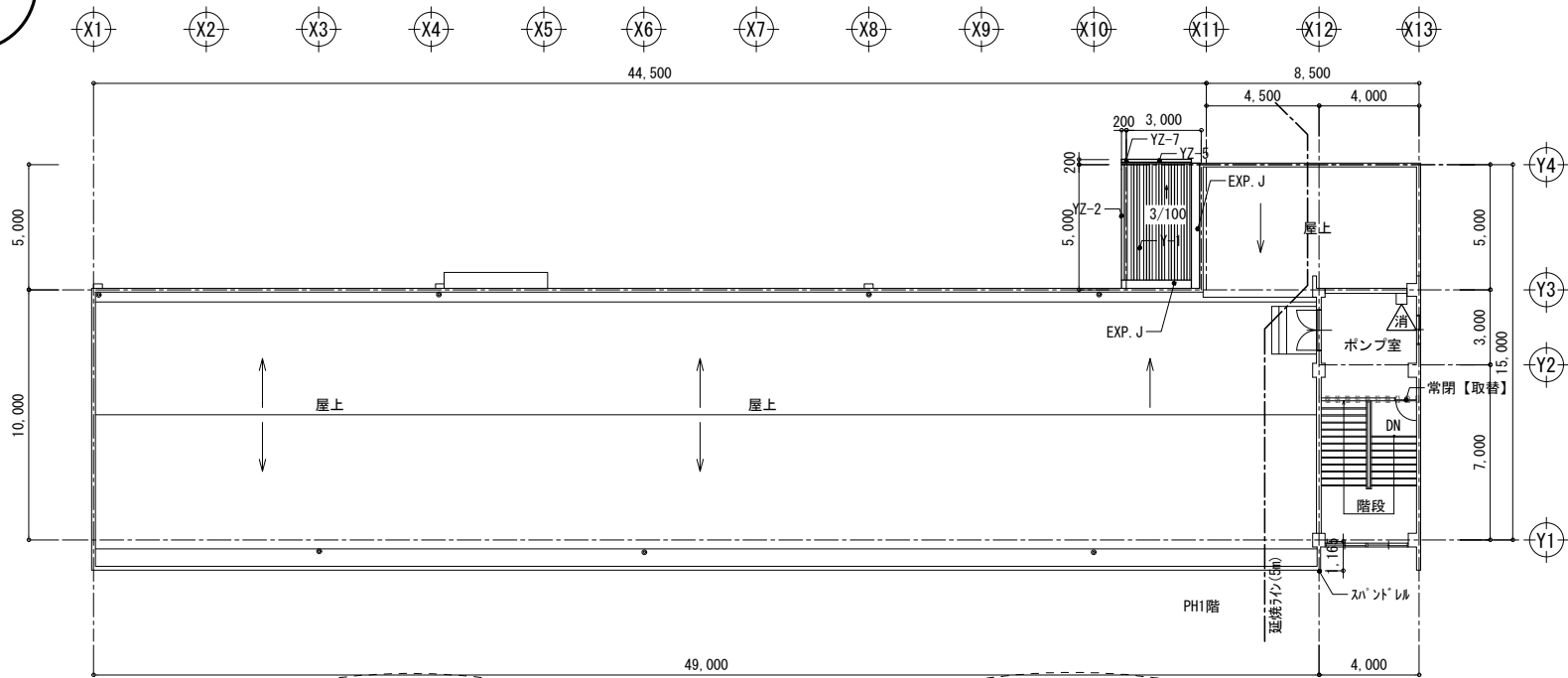
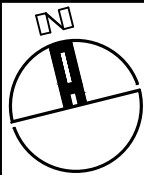
凡 例
縦穴区画
面積区画

1階平面図(改修後)

1階平面図(改修前)

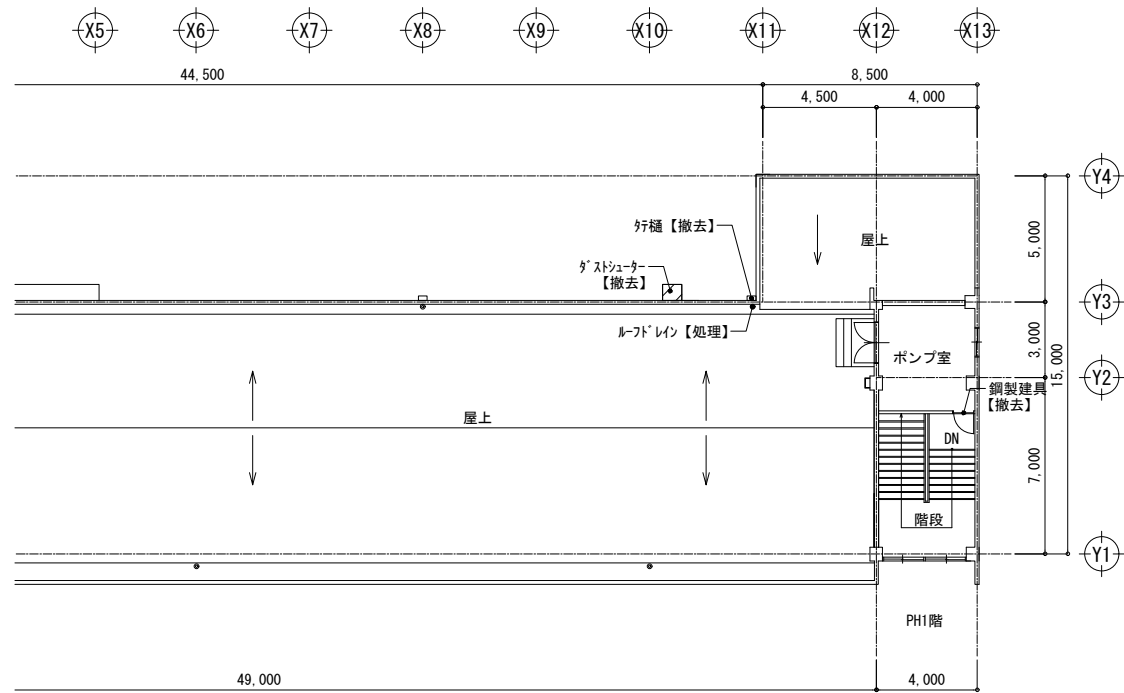
2階平面図(改修後)

2階平面図(改修前)



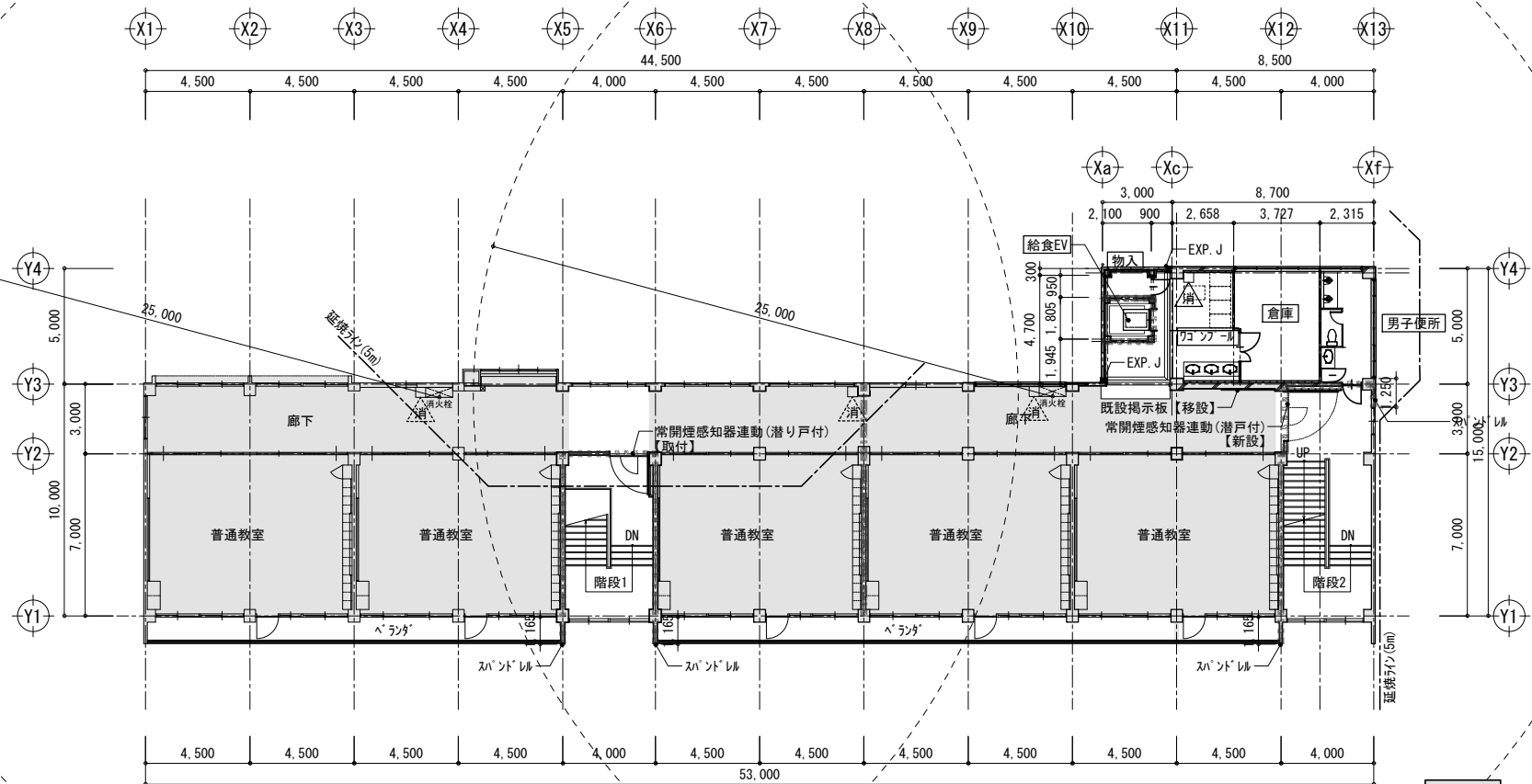
屋根伏図(改修後)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300



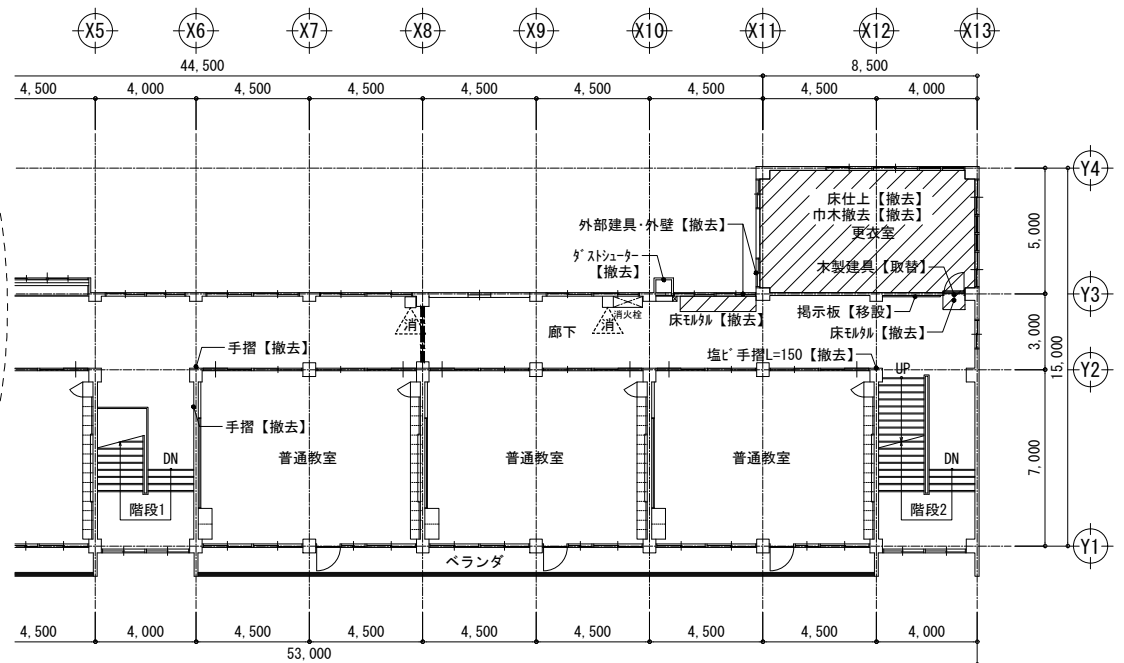
屋根伏図((改修前)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300



3階平面図(改修後)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300



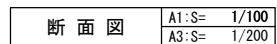
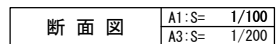
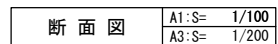
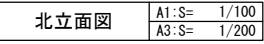
3階平面図(改修前)

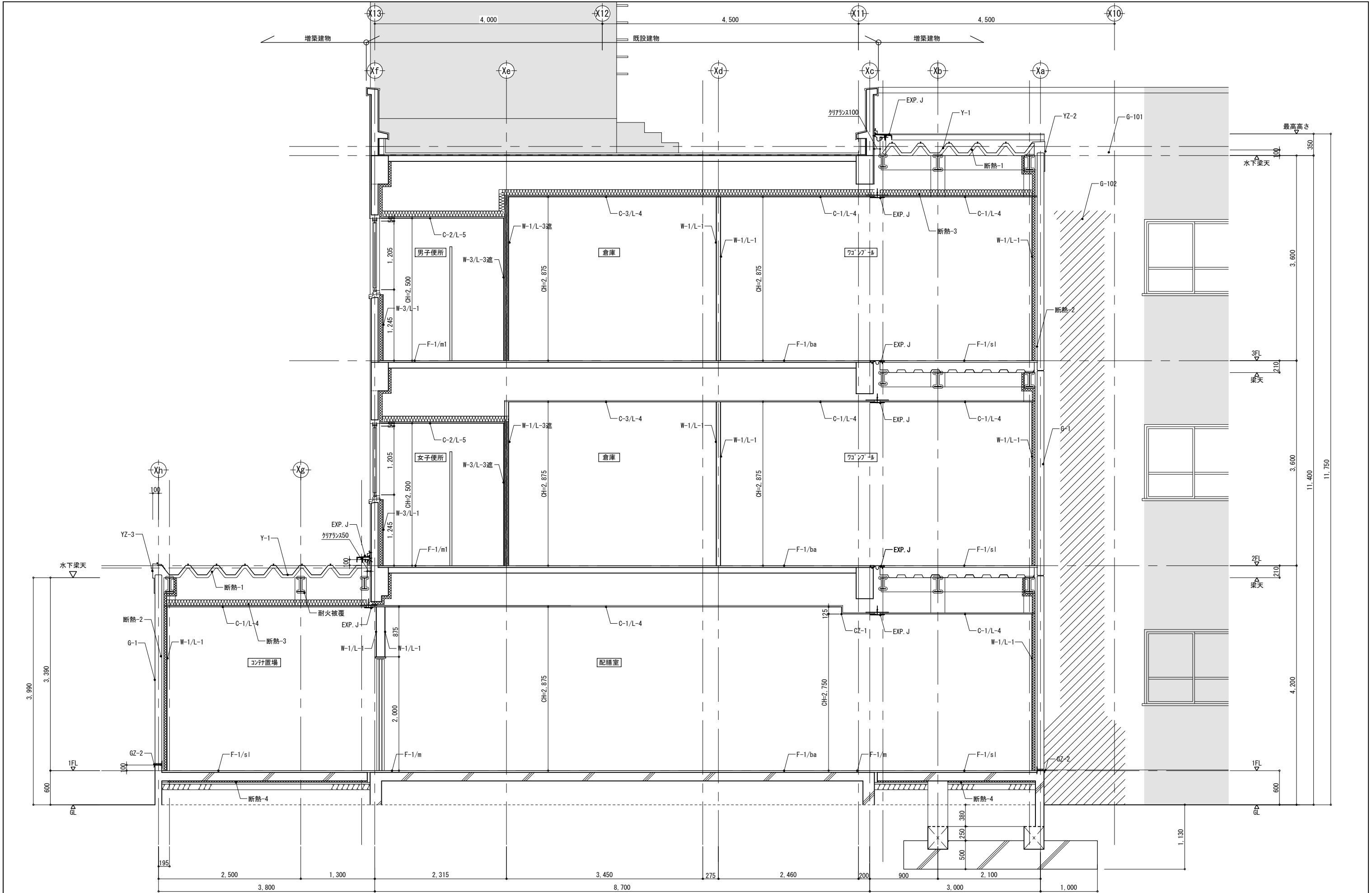
A1:S= 1/150
A3:S= 1/300

※既存外壁複層塗材に7ス[△]ス含有

凡 例
縦穴区画
面積区画

既設範囲
消、既設 消火器ABC10型
△ 新設 消火器ABC10型





矩計図1

床の仕上範囲は平面詳細図に記載

工事名称
亀山中学校給食配膳室等整備工事

株式会社 **アスカ** 総合設計
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号

管理建築士
一級建築士
第242755号
矢野 孝義

図面名称
矩計図1

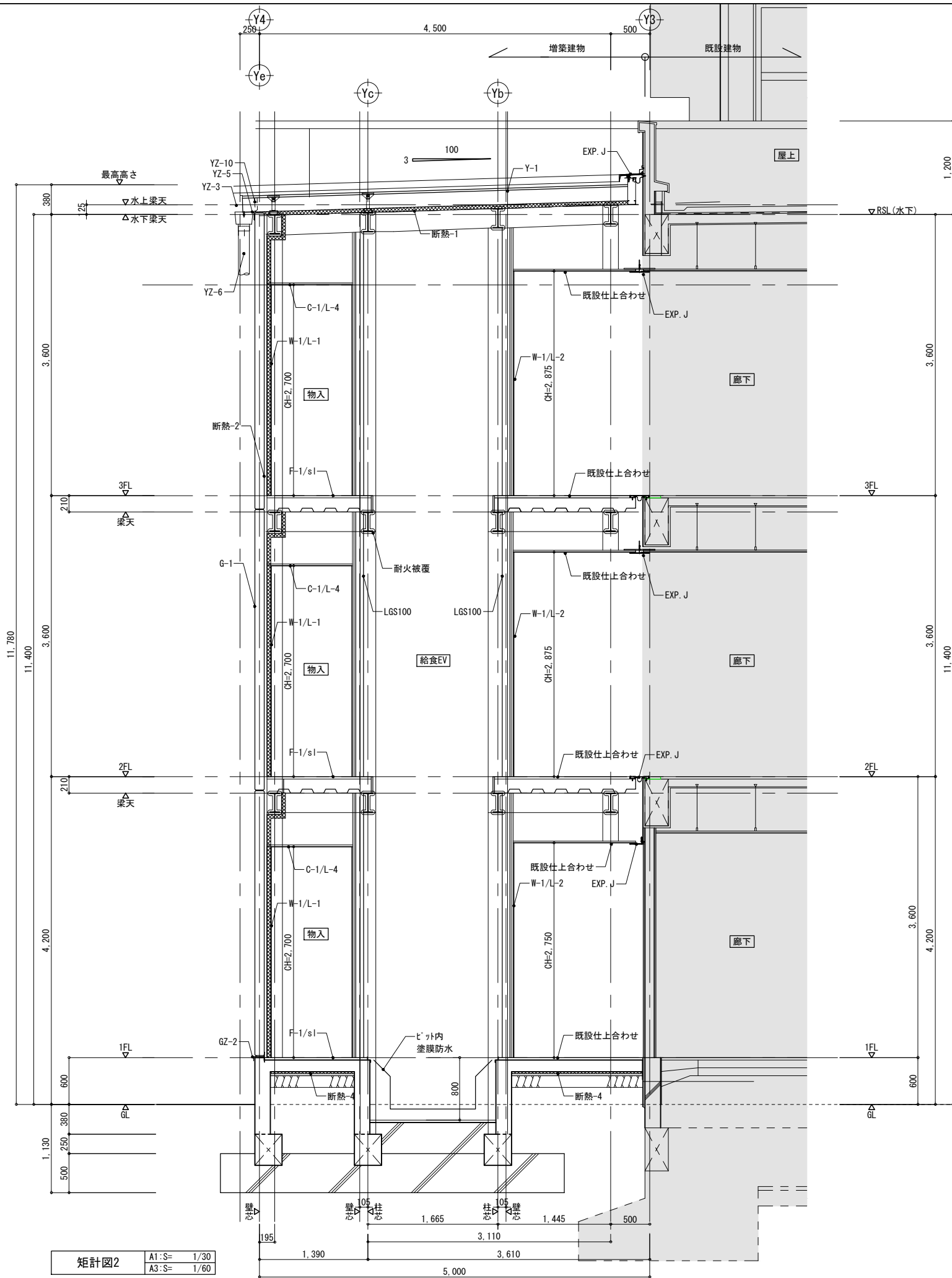
設計者
一級建築士
第00981号
谷川 精一

構造設計者

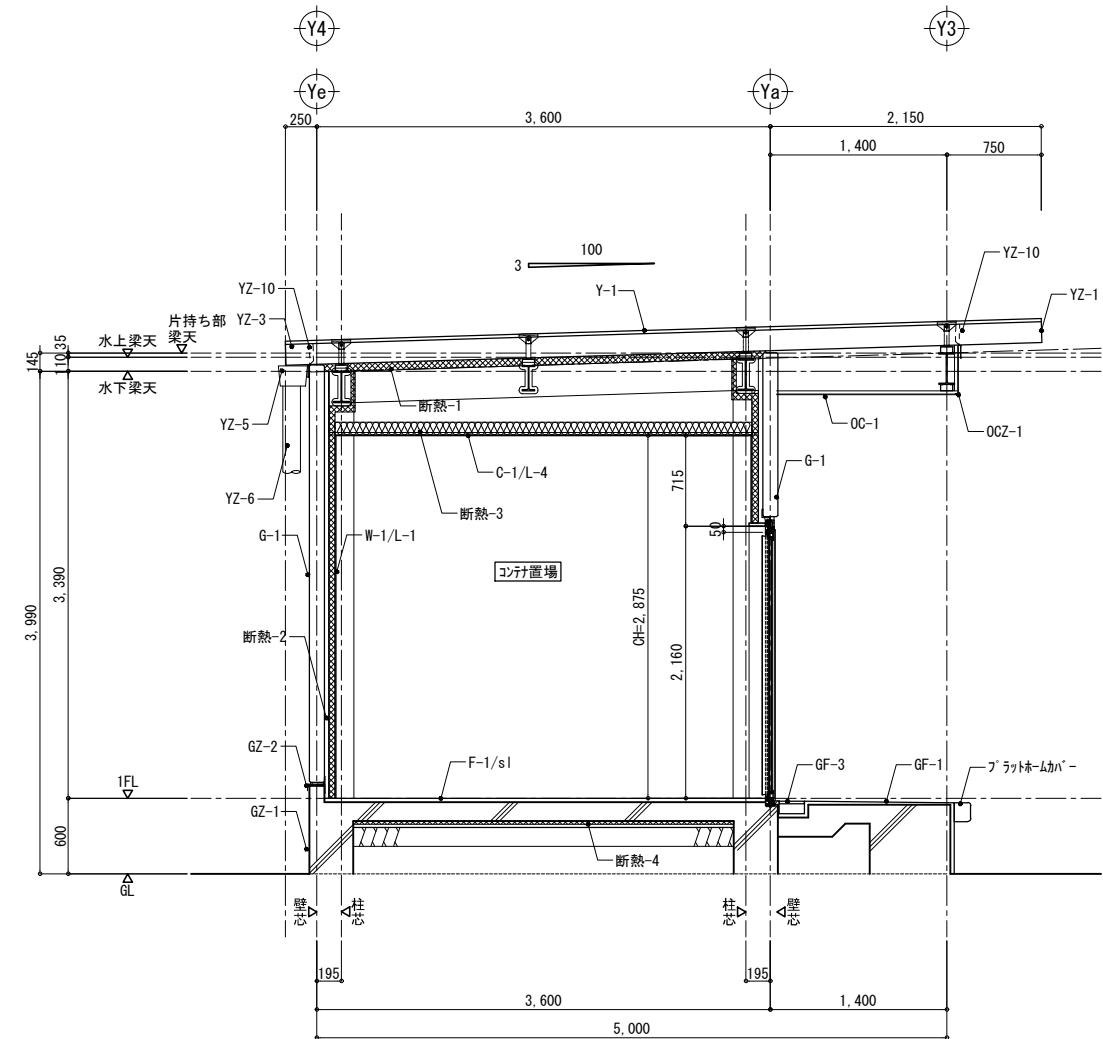
業務年月
(2025)R7年03月
7ヶ月未満
2025a011-0325ty

縮尺 A1: 1/30
A3: 1/60

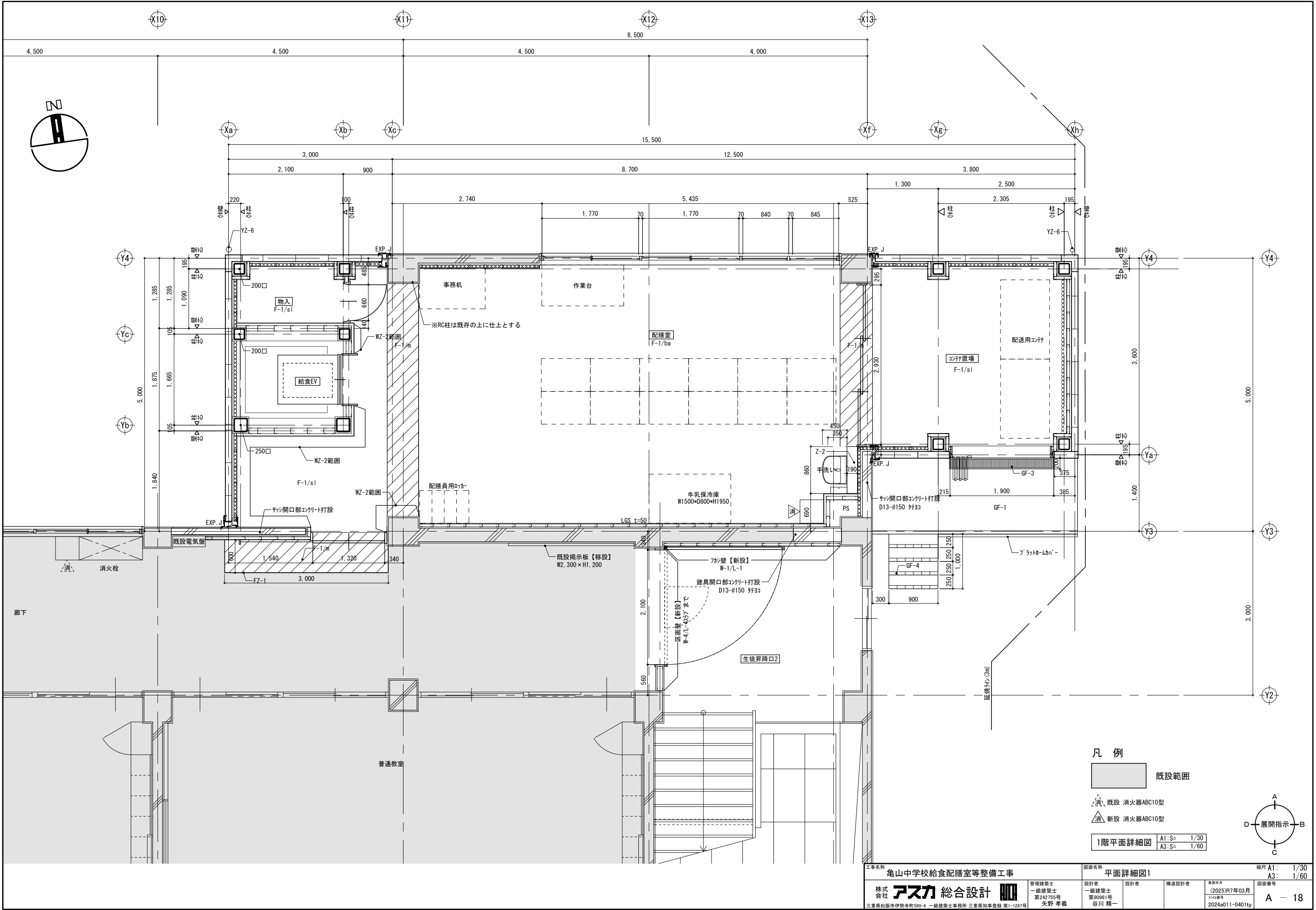
図面番号
A - 16

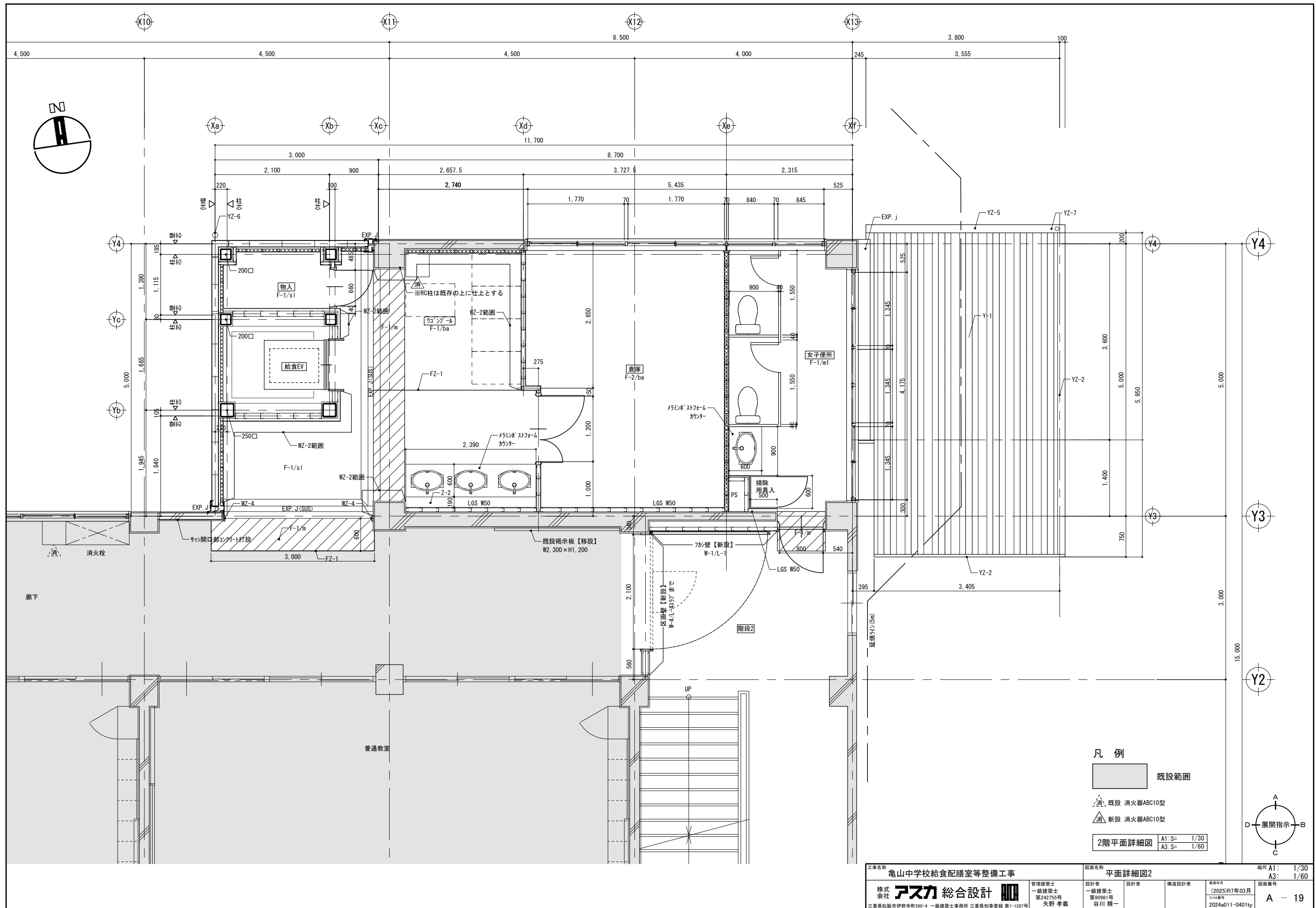


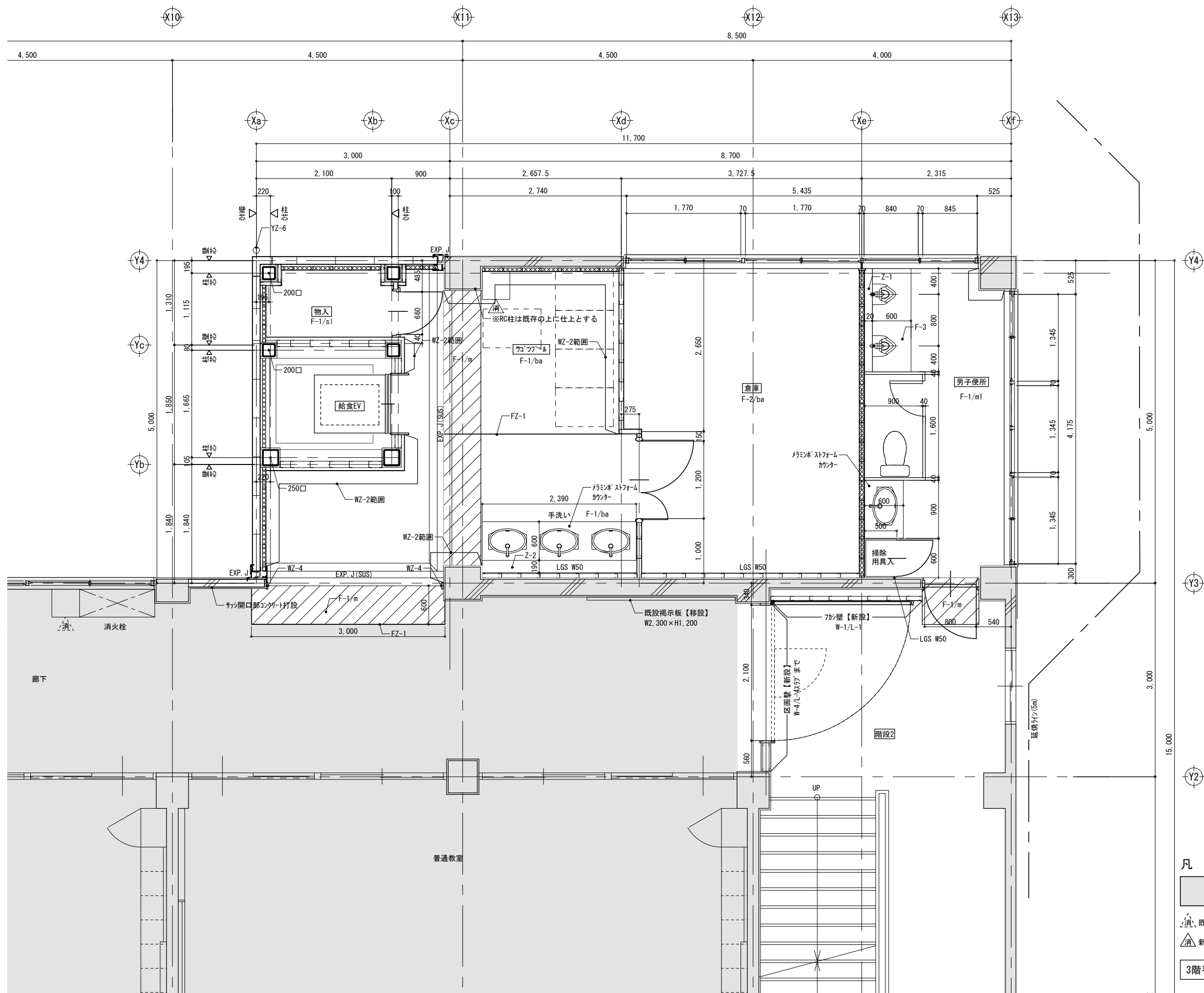
矩計図2
A1:S= 1/30
A3:S= 1/60

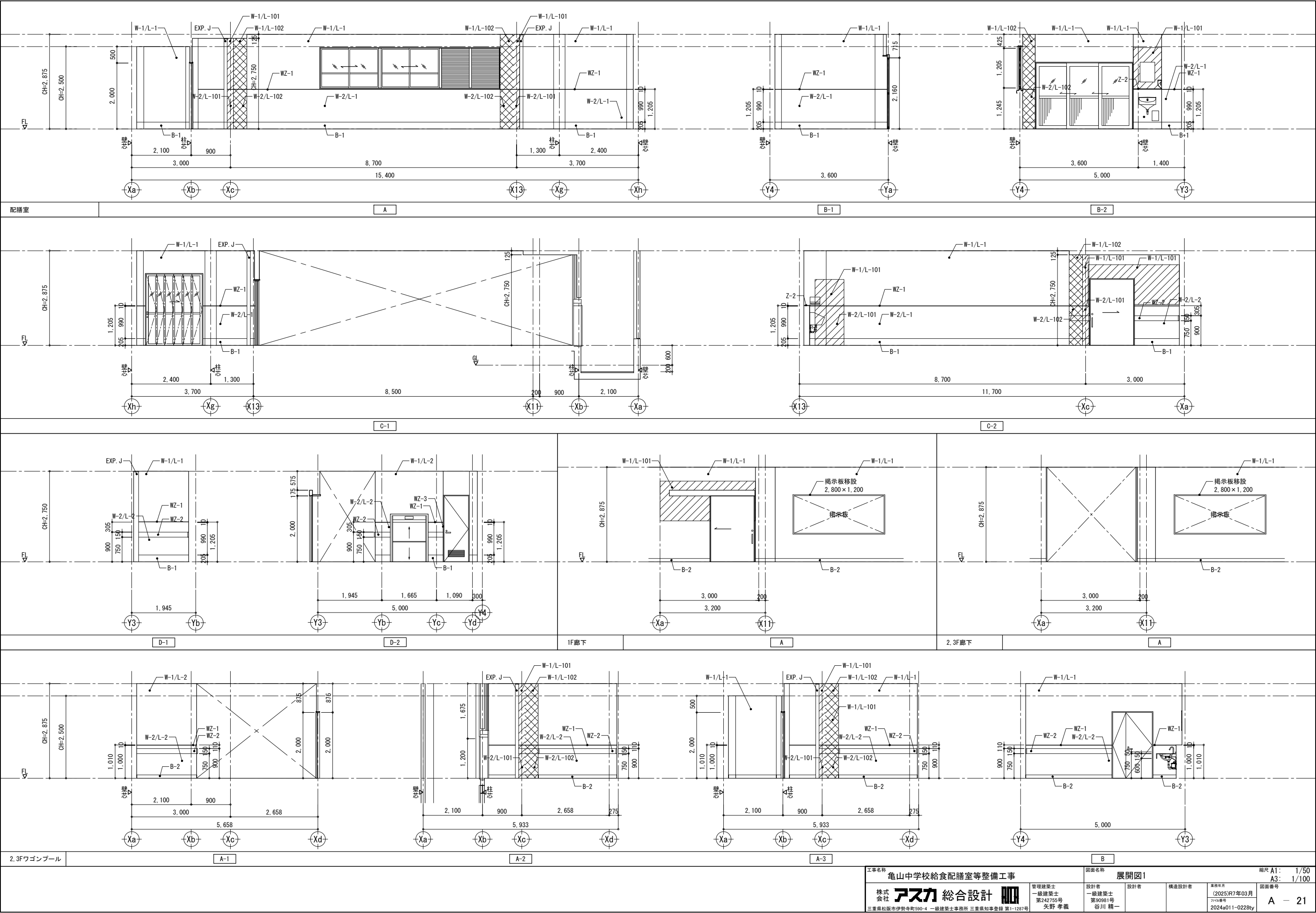


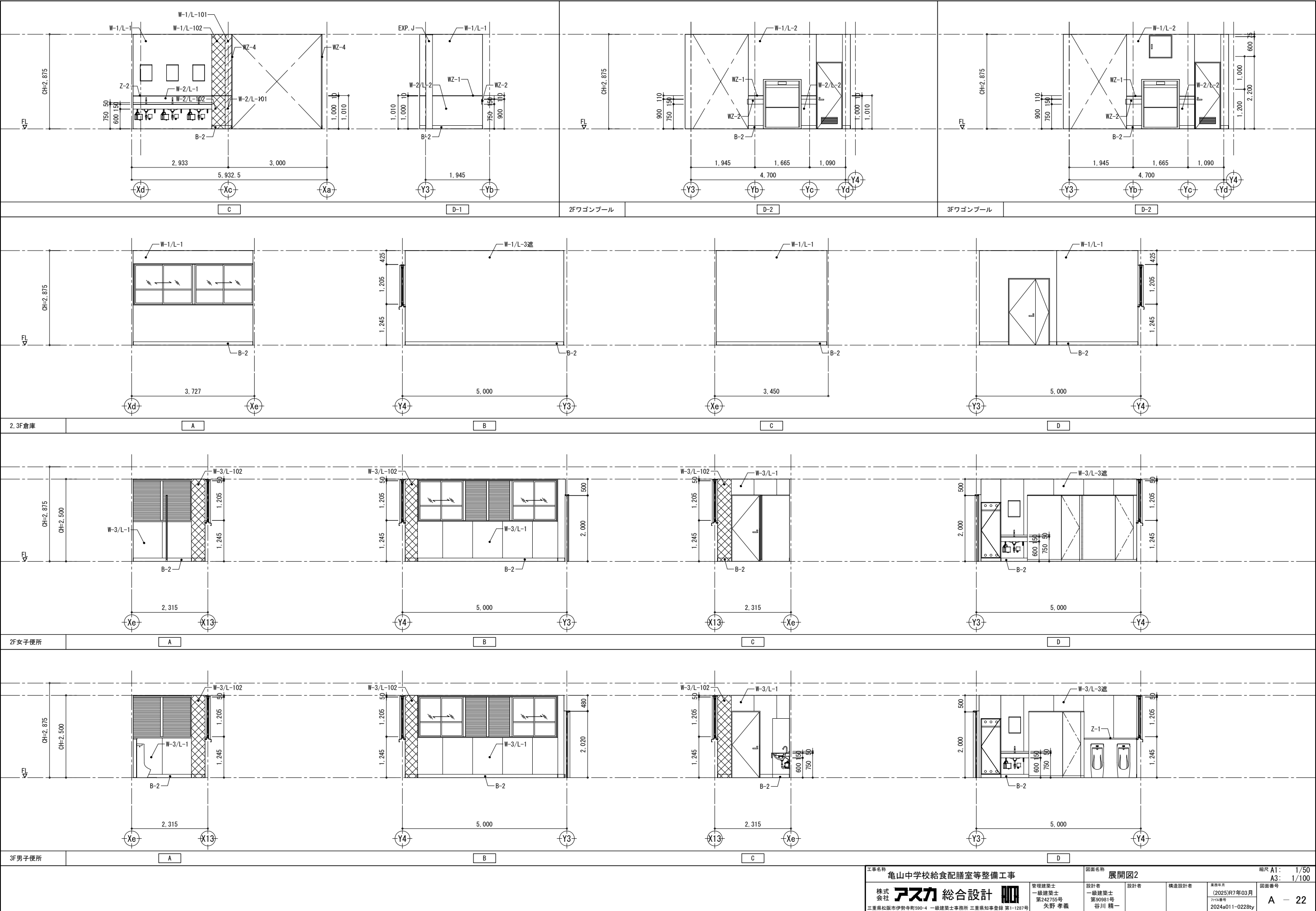
矩計図3
A1:S= 1/30
A3:S= 1/60

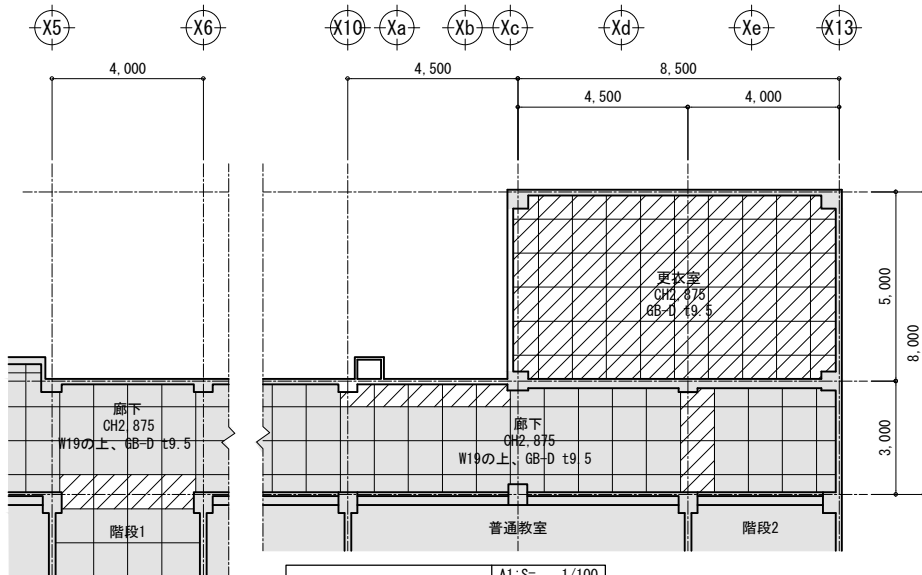
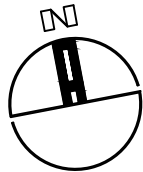




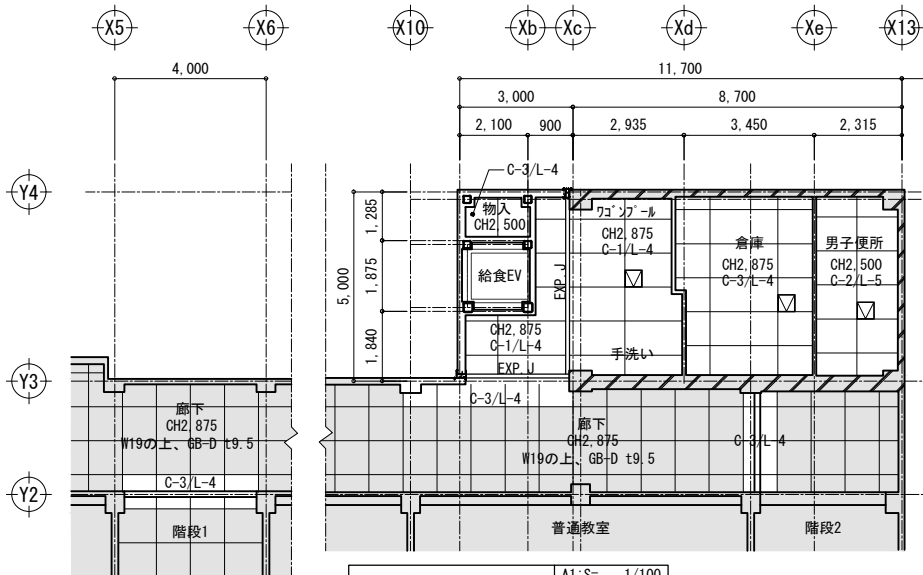




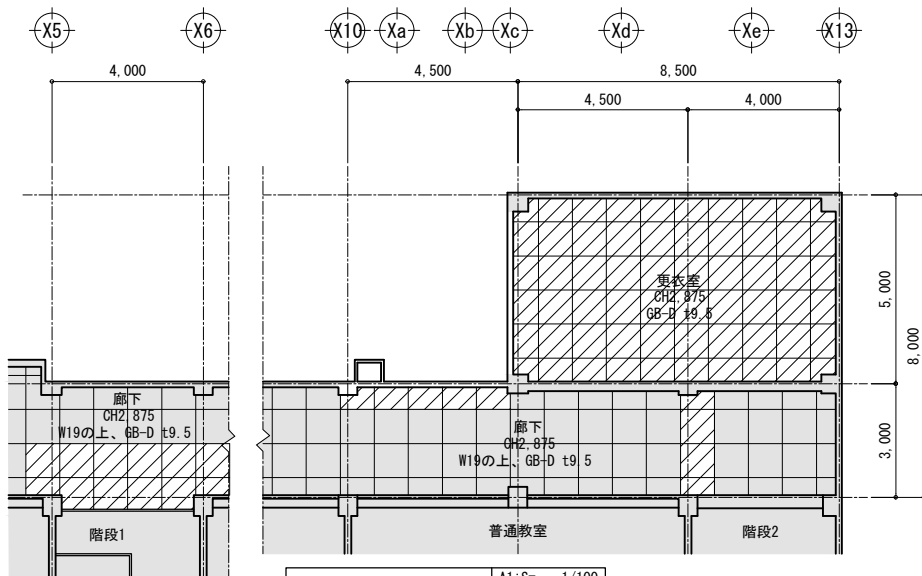




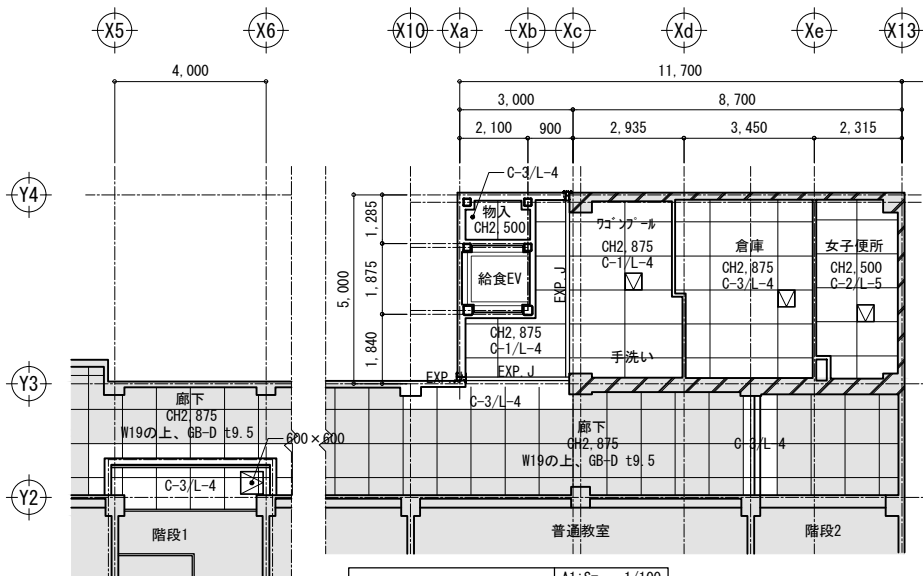
改修前_3階天井伏図



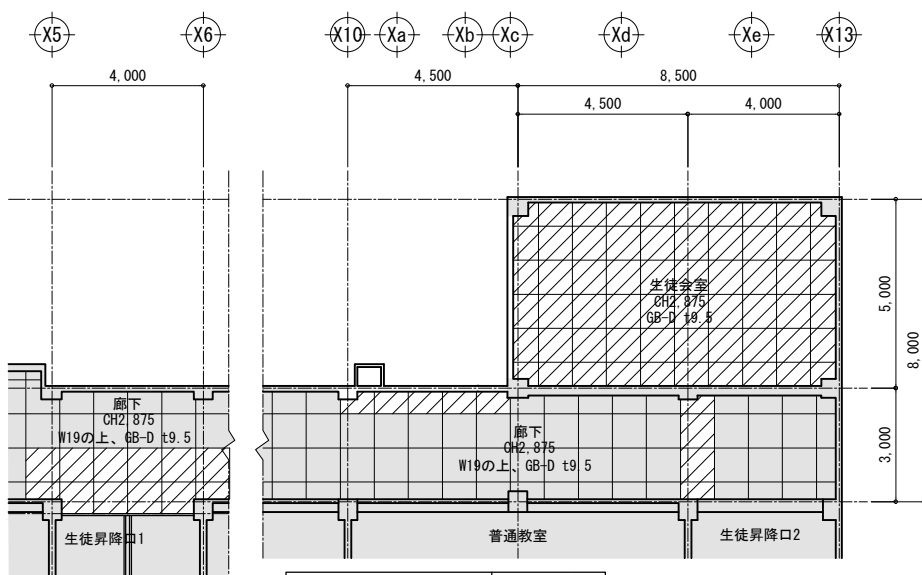
改修後_3階天井伏図



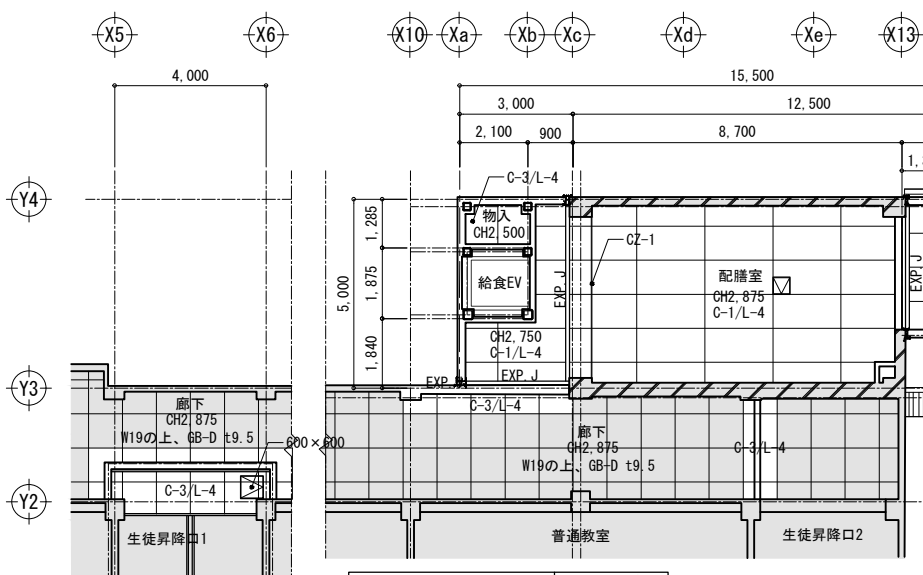
改修前_2階天井伏図



改修後_2階天井伏図

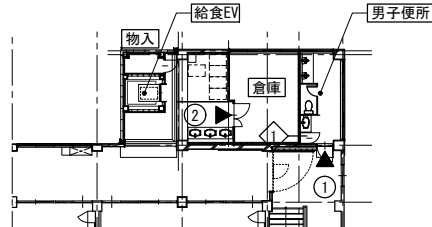


改修前_1階天井伏図

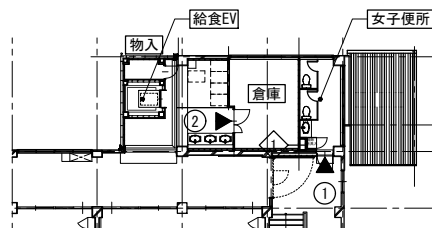


改修後_1階天井伏図

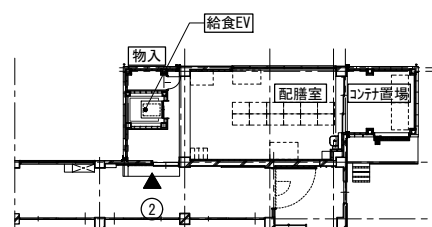
凡例			
C-1	FK t=6.0 EP	L-5	M19+GB-R t9.5
C-2	DR t12	OC-1	軒天:M25 FK t6.0 EP
C-3	GB-D t=9.5	OCZ-1	軒天井切:7# 10×25
L-4	M19 (軽量天井下地)	EXP. J	天井EXP. J:7#製
		既設範囲	天井点検口 450×450 7#枠
		既設天井 仕上撤去範囲	



3階家具サイン指示図

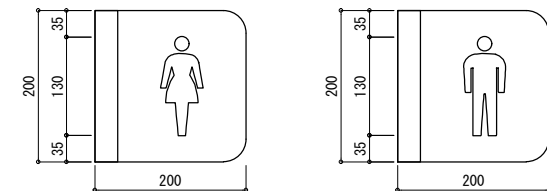


2階家具サイン指示図



1階家具サイン指示図

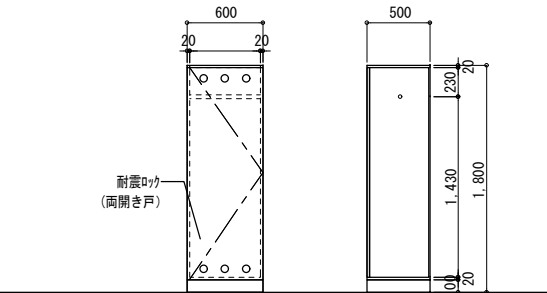
① 突出シビクトサイン 2 A1:1/5

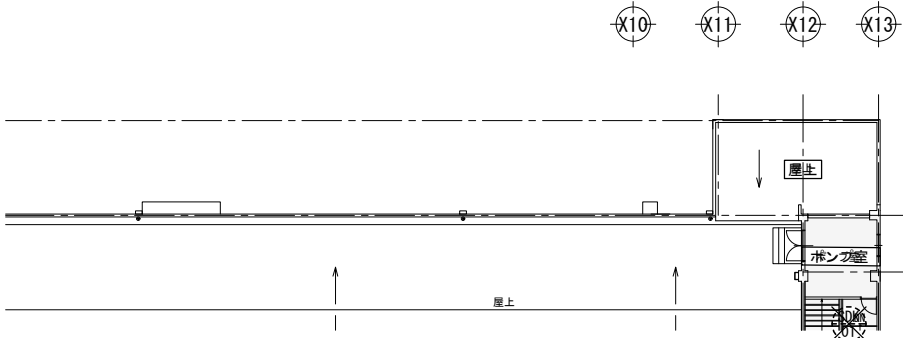


② 室名サイン 3 A1:1/10

配膳室 倉庫
扉に Cuttingシート 切文字 貼り

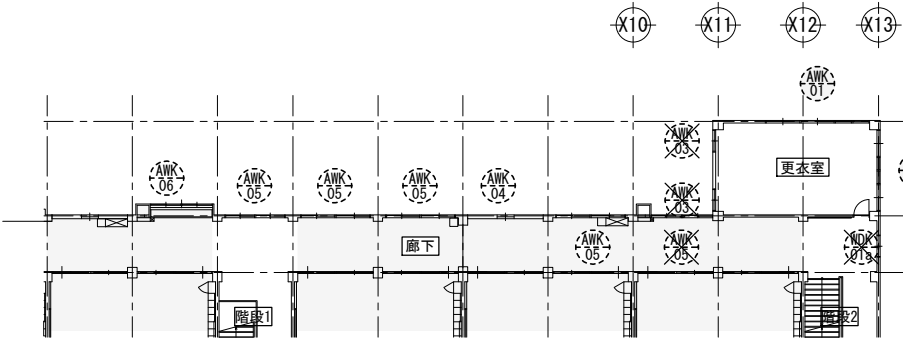
掃除用具箱	女子便所、男子便所	2
枠材	ポリ合板 F t=20 巾木	ポリ合板 F t=20 丁番、耐震叩
背板	ポリ合板 F t=15 建具	ポリ合板 F t=20、取手





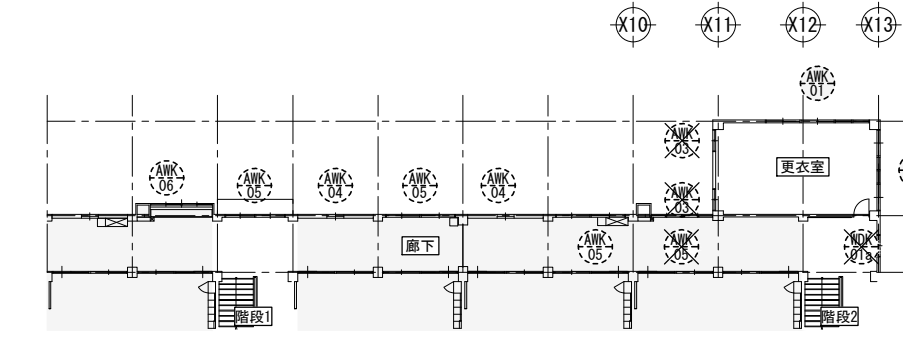
改修前_PH階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



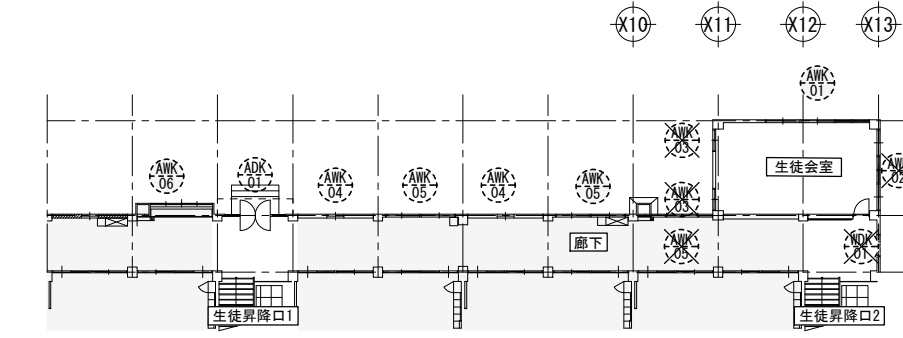
改修前_3階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



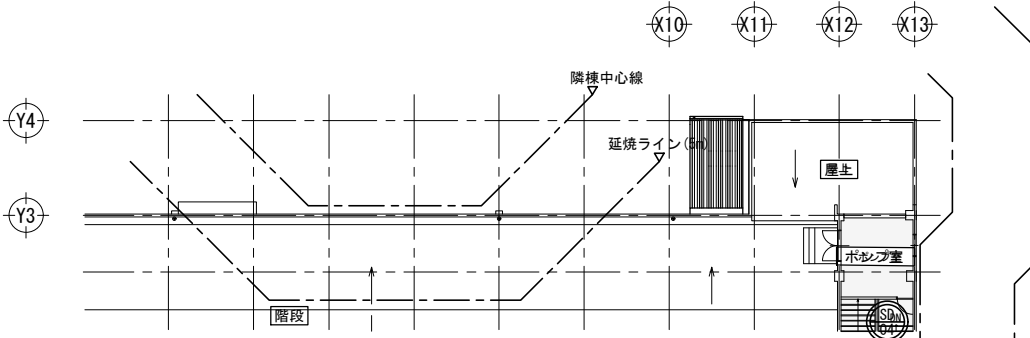
改修前_2階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



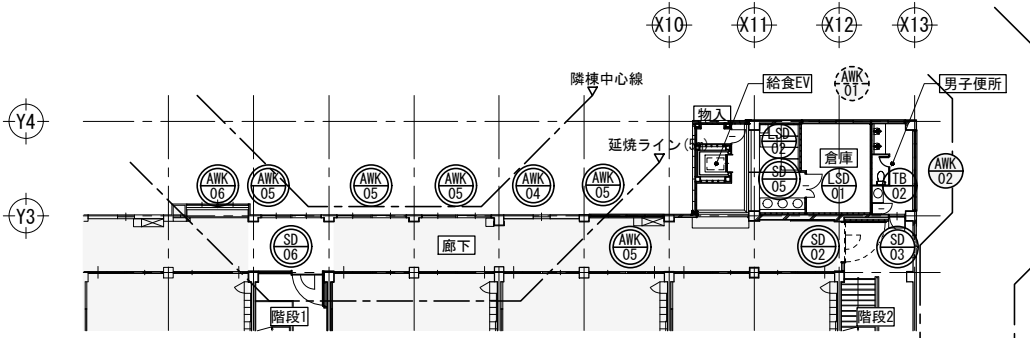
改修前_1階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



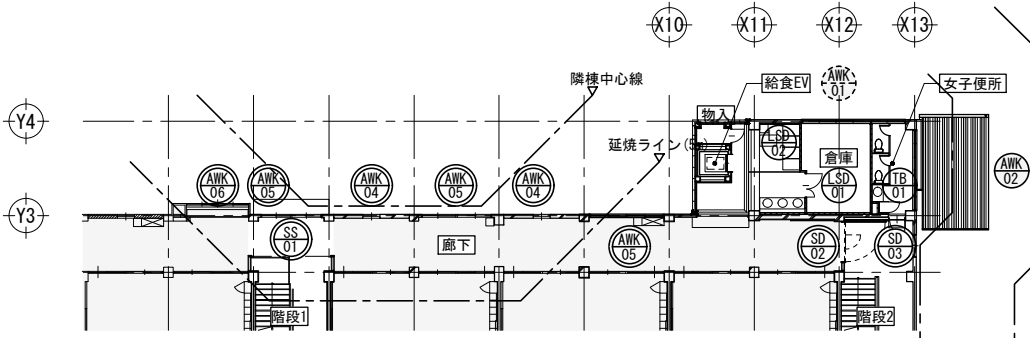
改修後_PH階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



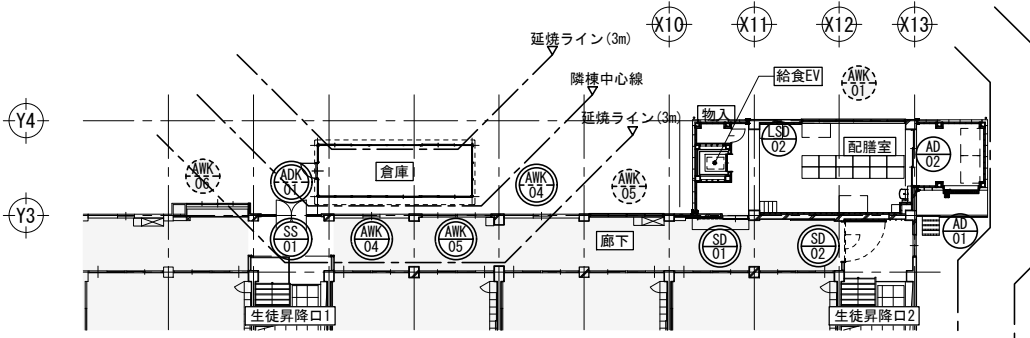
改修後_3階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



改修後_2階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



改修後_1階建具指示図

A1:S= 1/200
A3:S= 1/400



一般建具



防火性能を有するもの
(特定防火設備、防火設備)



既設建具



改修建具



撤去建具

既設範囲

工事名称
亀山中学校給食配膳室等整備工事

株式会社 アスカ 総合設計
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号

図面名称
建具指示図

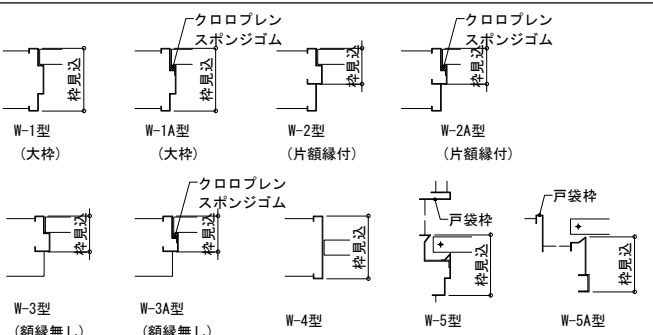
設計者 一級建築士 第00961号 谷川 精一
構造設計者

縮尺 A1: 1/100
A3: 1/200

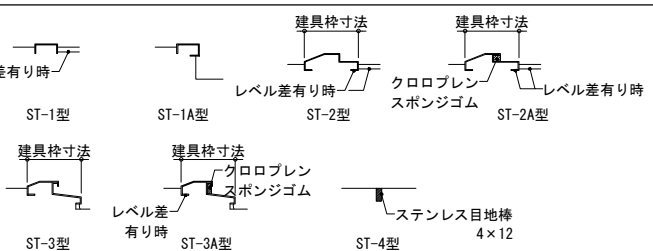
図面番号
A - 24

建具凡例及び共通指定事項

建具枠の形状と符号 ※特記なき限りドア厚さは40mmとする



窗櫓の形状と符号 ※材質は特記なき限り、SUS304 t2.0とする



建具符号

AW アルミサッシ (図示なき限り見込70とする。)	LSD 軽量鋼製ドア (図示なき限り見込40とする。)
AD アルミ製ドア (図示なき限り見込70とする。)	WW 木製窓
AG アルミ製ガラリ (図示なき限り見込70、開口率40%内外とする。)	WD 木製ドア
ATL アルミトップライト	F 襖、障子
SD 鋼製ドア (図示なき限り扉見込40とする。)	P 可動間仕切
SW 鋼製窓 (図示なき限り扉見込40とする。)	TB トイレブース
SG 鋼製ガラリ (ステンレス製をふくむ。)	
SF 鋼製三方枠 (ステンレス製をふくむ。)	
SS 鋼製シャッター (ステンレス製をふくむ。)	

※1) AW及びAGは、特記なき限り「水切り」「結露受」付きとし、サッシと同材、同仕上げとする。
※2) ダクト接続のガラリには、四方枠(表面処理亜鉛メッキ鋼板t2.3(メッキ付着量Z12 又は F12)加工 見込み45mm、見付け30mm)を付ける。

ガラス符号

FL 透明フロートガラス	FWL 線入型板ガラス
F 型板ガラス	ST 学校用強化ガラス
PW 網入磨き板ガラス(クロスワイヤ)	CFL 熱線反射フロートガラス
PWL 網入磨き板ガラス	HFL 熱線吸収フロートガラス
FW 線入型板ガラス	HP 熱線吸収磨き板ガラス
(例) FL-6+A-2+FL-10 (外側) 透明70-10' 5mm厚6mm空気層	HPWC 熱線吸収網入磨き板ガラス
(内側) 透明70-10' 5mm厚10mm	HPWL 熱線吸収網入磨き板ガラス
	D 複層ガラス
	L 合せガラス
	T 強化ガラス
	TT 耐熱強化ガラス(特定防火設備個別認定品)
	FT 型板強化ガラス
	M 鏡

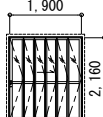
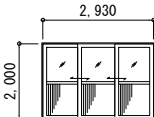
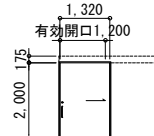
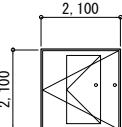
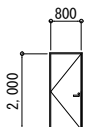
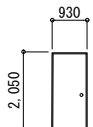
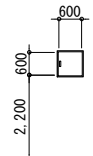
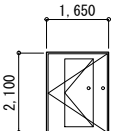
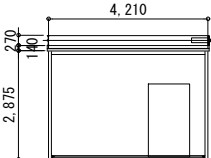
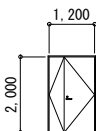
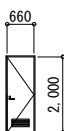
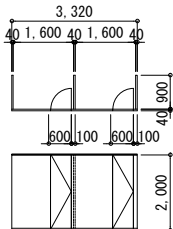
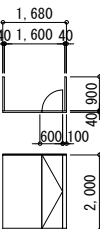
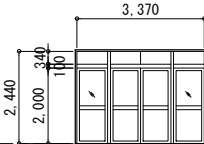
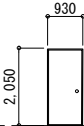
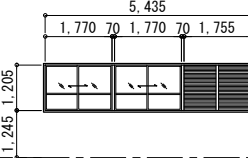
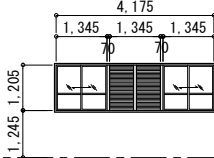
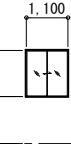
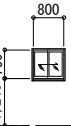
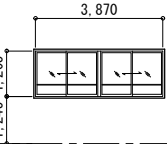
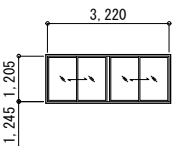
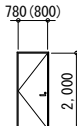
※ガラス固定のシーリングはA種とする。

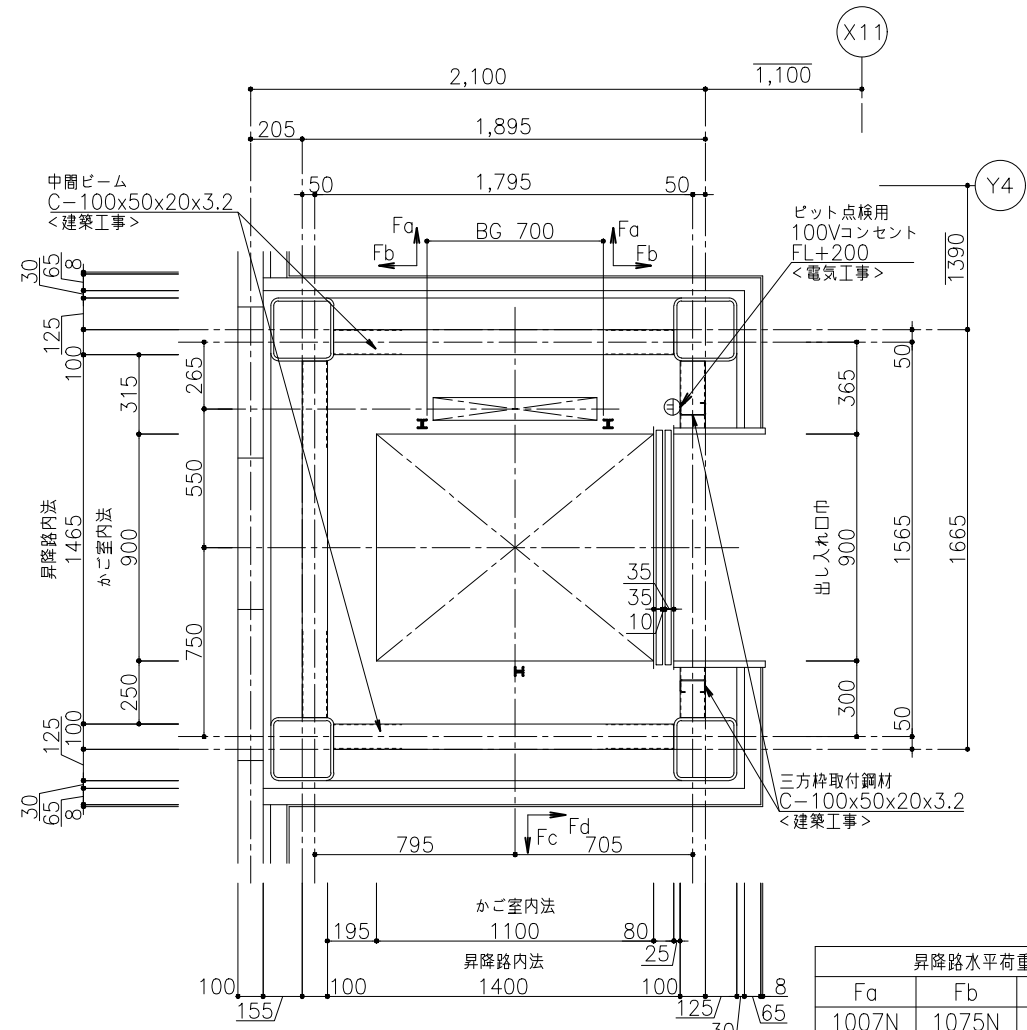
建具金物一覧

《錠の種類》 シリンダー本締り錠 /CL(サムターン付を含む。) シリンダー鍵錠 /KL(サムターン付を含む。) シリンダー箱錠 /HL(サムターン付を含む。) シリンダーモノロック /SL(サムターン付を含む。) 開閉ハンドル錠	空錠 棒錠 (引違戸用錠) クレモン錠 (特記なき限り3点締りとする。) 表示付ラッチ錠 (非常解錠可とする。)
《握玉・把手類》 レバーハンドル(ステンレス製)/LH ケースハンドル(ステンレス製)/CH・プッシュプルハンドル /PPH サムラッチハンドル 握玉	握込引手 押板(引手兼用、図示なき限りステンレス製とする。) 把手(図示なき限りステンレス又はアルミ合金製 L=600内外)
《支持金物》 ピボットヒンジ /PH(電気錠付の扉は通電型。) 丁番 (ステンレス製、重量丁番については 黄銅Dcr製も可とする。)	オートヒンジ ストッパー有 /OH オートヒンジ ストッパー無 /ON } 扉同色焼付塗装品とする ラバトリーヒンジ スプリングヒンジ (点検口用 W≤850 H≤2015)
《その他の金物》 ドアチェック ストッパー有 /DC ドアチェック ストッパー無 /DN } 扉同色焼付塗装品とする。 ※ 原則として「7ヶツカ」は、バール型とし、取り付けは室内側とする。 ドアストッパー(ドアホルダー付。床付、壁付の別は現場指示とする。 特記なき限り、全ての開き戸、引き戸に設ける。) アームストッパー /AS フリクションステー フランス錠し /FO アルミパネル /AP ※金物類は原則として、仕上及び色調を建具に合わせる。	ファイアダンパー アンダーカット 順位調整器 (特記なき限り扉枠内収納型とする。) 衝突防止マーク ステンレス35φ 特注製衝突防止マーク 35φ ポリカーボネイト板 /Pcb ドアガラリ (材質、仕上図示なき限り材質仕上共扉の材質に準ずる 〔開口率〕 図示なき限り50%内外とする 〔特殊仕様〕ロ付ド7ヶツカは遮光型とする

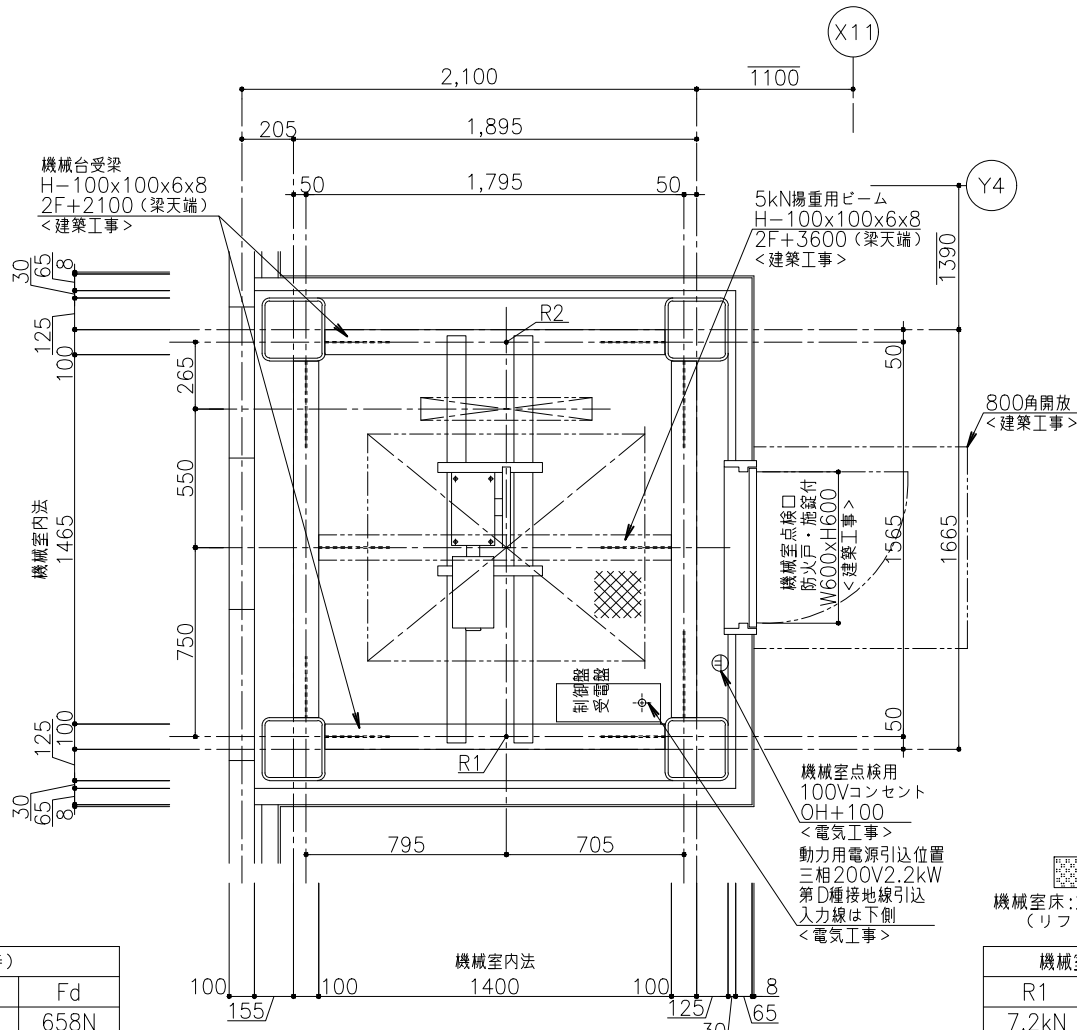
仕上符号

SOP 合成樹脂ペイント塗	UP ウレタン系樹脂ペイント塗	BA ステンレス鏡面(バフ)仕上
FUE 常温乾燥型フッ素樹脂エナメル塗	M-BE メラミン系塗料焼付	HL ステンレスヘアライン仕上
QL クリアラッカー塗	E-BE エポキシ系塗料焼付	MP-1 多彩模様吹付
OS オイルステイン塗	A-BE アクリル系塗料焼付	
mip 多彩模様塗料吹付	F-BE フッ素樹脂焼付塗装	

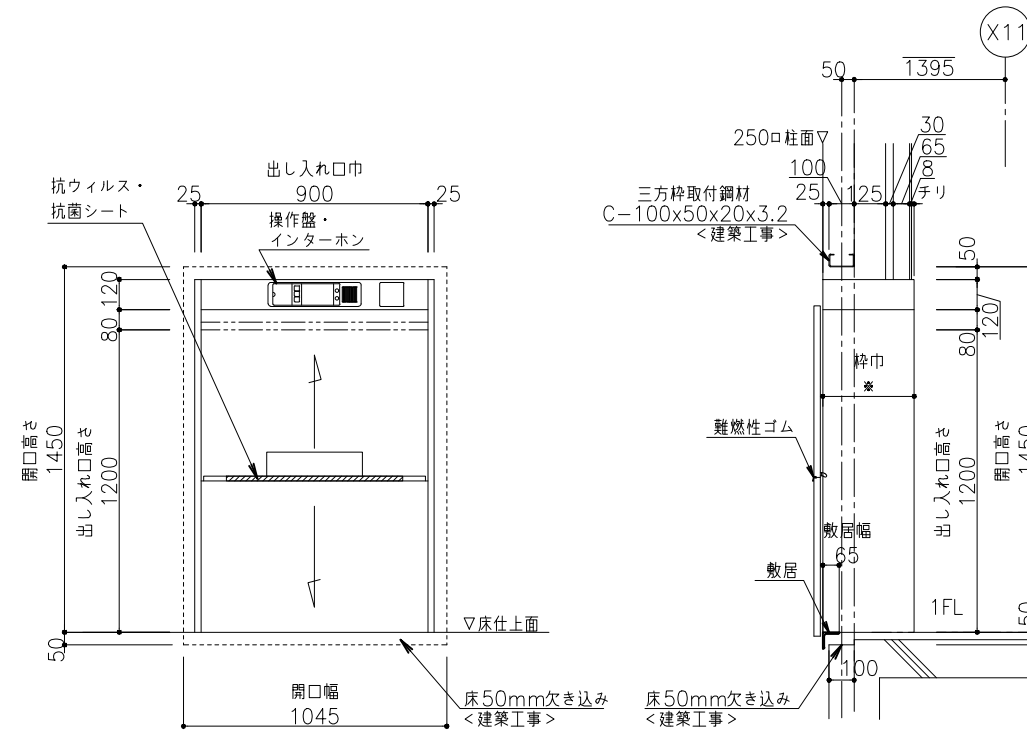
記 号	名 称	数 量	AD-01	ハンガ-折れ戸	1ヶ所	AD-02	3枚片引き戸	1ヶ所	SD-01	ハンガ-片引き防火戸	1ヶ所	SD-02	片開き防火戸(潜戸付)	3ヶ所	SD-03	片開き防火戸	2ヶ所	SD-04	片開き戸	1ヶ所	SD-05	点検口	1ヶ所																									
姿 図	▼FL																																															
		使用場所		1F配膳室		1Fコンテナ置場		1F配膳室		生徒昇降口2、2、3F階段2		2F女子便所、3F男子便所		PH階ポンプ室		3F給食EV																																
		寸法 W×H	仕 上	1,900 × 2,160	7㎜	2,930 × 2,000	7㎜	1,320 × 2,000	SOP	2,100 × 2,100	SOP	800 × 2,000	SOP	930 × 2,050	SOP	600 × 600	SOP																															
		扉・サッシ見込	枠・額縁見込	17	7㎜額縁・203	17	7㎜額縁・180	17	203	50	150	40	7㎜額縁・81	40	7㎜額縁・150	17	150																															
		付属金物		堀込引手、戸車、ドアハンガー、ステンレスレール(フラット)、CL 付属金物一式		引手、戸車、埋込レール、CL、付属金物一式		SUS引手L=600、ハンガーレール、ガイドレール、CL 付属金物一式		DC、丁番、戸当り、付属金物一式		LH、DC、丁番、戸当り、付属金物一式		DC、丁番、戸当り、付属金物一式		平面ハンドル(錠付)、丁番、戸当り、付属金物一式																																
		ガラス	番 措	FT-4 腰:7㎜ハネ厚t=3.0		ホリカホネ厚t=3.0、腰:ハネ厚t=3.0																																										
備 考		櫛TOKOイスターカーテン(スリムタイプ)程度						常時開放、遮煙性能付				常時閉鎖		小荷物専用昇降機 機械室用点検口																																		
記 号	名 称	数 量	SD-06	片開き防火戸(子扉付)	1ヶ所	SS-01	防火シャッター	2ヶ所	LSD-01	親子フラッシュ戸	2ヶ所	LSD-02	ｶﾞﾗﾘ入り片開きフラッシュ戸	3ヶ所	TB-01	トイレ-ース	1ヶ所	TB-02	トイレ-ース	1ヶ所																												
姿 図	▼FL																																															
		使用場所		3F階段1		生徒昇降口1、2F階段1		2、3F倉庫		各階物入		2F女子便所		3F男子便所																																		
		寸法 W×H	仕 上	1,650 × 2,100	SOP	4,210 × 2,875		1,200 × 2,000	焼付塗装	660 × 2,000	焼付塗装	3,320 × 2,000	メラミン化粧合板	1,680 × 2,000	メラミン化粧合板																																	
		扉・サッシ見込	枠・額縁見込	50		80		40	7㎜額縁・81	40	7㎜額縁・81	40		40																																		
		付属金物		DC、丁番、戸当り、付属金物一式		自動閉鎖装置、付属金物一式		CL、LH、DC、丁番、戸当り、F0、付属金物一式		LH、DC、丁番、戸当り、ｶﾞﾗﾘ、付属金物一式		表示付スライドラッチ、丁番、ステンス巾木、戸当り ステンス頭カギ、付属金物一式		表示付スライドラッチ、丁番、ステンス巾木、戸当り ステンス頭カギ、付属金物一式																																		
		ガラス	番 措																																													
備 考		常時開放、遮煙性能付		常時開放、遮炎性能付、三和シャッターシカスクリーン同等																																												
記 号	名 称	数 量	ADK-01	両開きフラッシュ戸	1ヶ所	SDK-01	片開き戸	1ヶ所	AWK-01	ｶﾞﾗﾘ付2連引違い窓	3ヶ所	AWK-02	ｶﾞﾗﾘ付2連引違い窓	3ヶ所	AWK-03	引違い窓	6ヶ所	AWK-04	引違い窓	5ヶ所	AWK-05	引違い連窓(中棧付)	12ヶ所																									
姿 図	▼FL																																															
		使用場所		1F廊下		ポンプ室		1F配膳室、2F女子便所、3F男子便所、2、3F倉庫		2F女子便所、3F男子便所		校舎第3棟 1階生徒会室、2、3階更衣室		校舎第3棟 各階廊下		校舎第3棟 各階廊下																																
		寸法 W×H	仕 上	3,370 × 2,440	7㎜	930 × 2,050		5,435 × 1,205		4,175 × 1,205		1,100 × 1,220	7㎜	800 × 750	7㎜	3,870 × 1,205	7㎜																															
		扉・サッシ見込	枠・額縁見込	100								70		70		70																																
		付属金物																																														
		ガラス	番 措	FL5からPW6、8に変更				FL5		FL4からFL5に変更		FL5		FL5からPW6、8に変更		FL5からPW6、8に変更																																
備 考				撤去		既存のまま使用		1Fのみ撤去、2、3Fｶﾞﾗｽﾌ｛ﾙ貼		6ヶ所撤去				3ヶ所撤去、1ヶ所既存のまま使用																																		
記 号	名 称	数 量	AWK-06	引違い連窓	3ヶ所	WDK-01(01a)	片開き戸	1(2)ヶ所																																								
姿 図	▼FL																																															
		使用場所		校舎第3棟 2、3階廊下		校舎第3棟 1F生徒会室、2、3F更衣室																																										
		寸法 W×H	仕 上	3,220 × 1,205	7㎜	780(800) × 2,000																																										
		扉・サッシ見込	枠・額縁見込	70																																												
		付属金物																																														
		ガラス	番 措	FL5からPW6、8に変更																																												
備 考		1ヶ所既存のまま使用		3ヶ所撤去																																												
																										工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事			図面名称 建具表			縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200																
																										株式会社 アスカ 総合設計			管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義			設計者 一級建築士 第00981号 谷川 精一																
																										三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号			業務年月 (2025)R7年03月 7ヶ月未満 2024a011-0228ty			図面番号 A - 25																



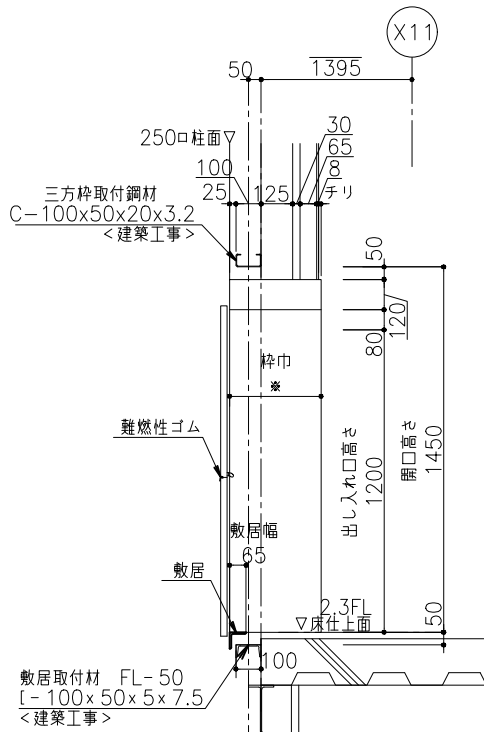
昇降路平面図 S = 1 : 1.5



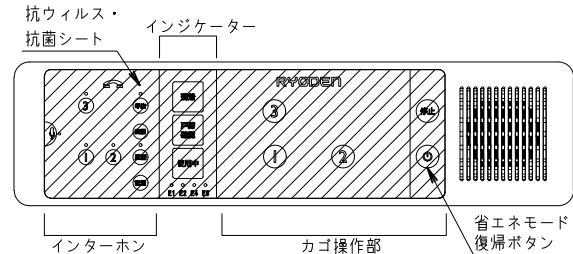
機械室平面図 S = 1 : 2.0



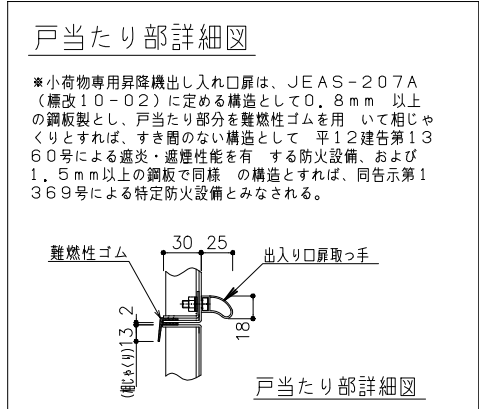
出し入れ口正面図 S = 1 : 1.5



出し入れ口断面図 S = 1 : 1.5



各階操作盤詳細図



戸当たり部詳細図

小荷物専用昇降機仕様要項

機 種	RL-300S-45-H(同等品以上)
制 御 方 式	インバータ速度制御方式
積 載 質 量	300kg
速 度	45m/min
電 源	3相 200V
モ ー ト ル	2.2kW 4P
停 止 個 所	1-3FL 計3箇所
巻 上 機	RMG-360
ツ ナ 車	直径320mm
ソ ラ セ 車	なし
ワイヤーロープ	8mm x 2本 1:1ローピング
レ ー ル	π型成形レール:3.0kg/m
か ご 内 法	W900 x D1100 x H1200
お も り	40% BALANCE
出し入れ口戸閉方式	二枚戸上り開き式(手動式)
かご 戸閉方式	二枚戸上り開き式(電動式)
操 作 方 式	相互階制御方式
*操作盤電源切(自動省エネモード) *出し入れ口扉・かご扉の同時開閉付 *到着予告アナウンス付(到着チャイム) *積み過ぎ警報装置付(オートアナウンス付) *ハンズフリーインターホン *エラー表示灯 *操作部キータッチ音(インターホン除く) *「到着」「戸閉確認」「使用中」灯 *ドアホールド装置(出し入れ口戸閉時) *アシストクローズ(出し入れ口戸閉時)	

付加仕様

*抗ウィルス・抗菌仕様(操作盤・出し入れ口取手)

小荷物専用昇降機意匠仕様

三 方 枠	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
出し入れ口 扉	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
敷 居	L形鋼65 x 65 x 6下地にステンレス巻き
か ご 室 扉	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
か ご 室 壁	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
かご室 天 井	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
か ご 室 床	ステンレスヘアライン仕上(SUS443)
操 作 盤	プラスチックプレート インターホン一体式 (カラーユニバーサルデザイン・オートアナウンス付)
イ ン タ ー ホ ン	プラスチックプレート 操作盤一体式 相互階通話方式 (ハンズフリー・プレストーク 切り替え式)

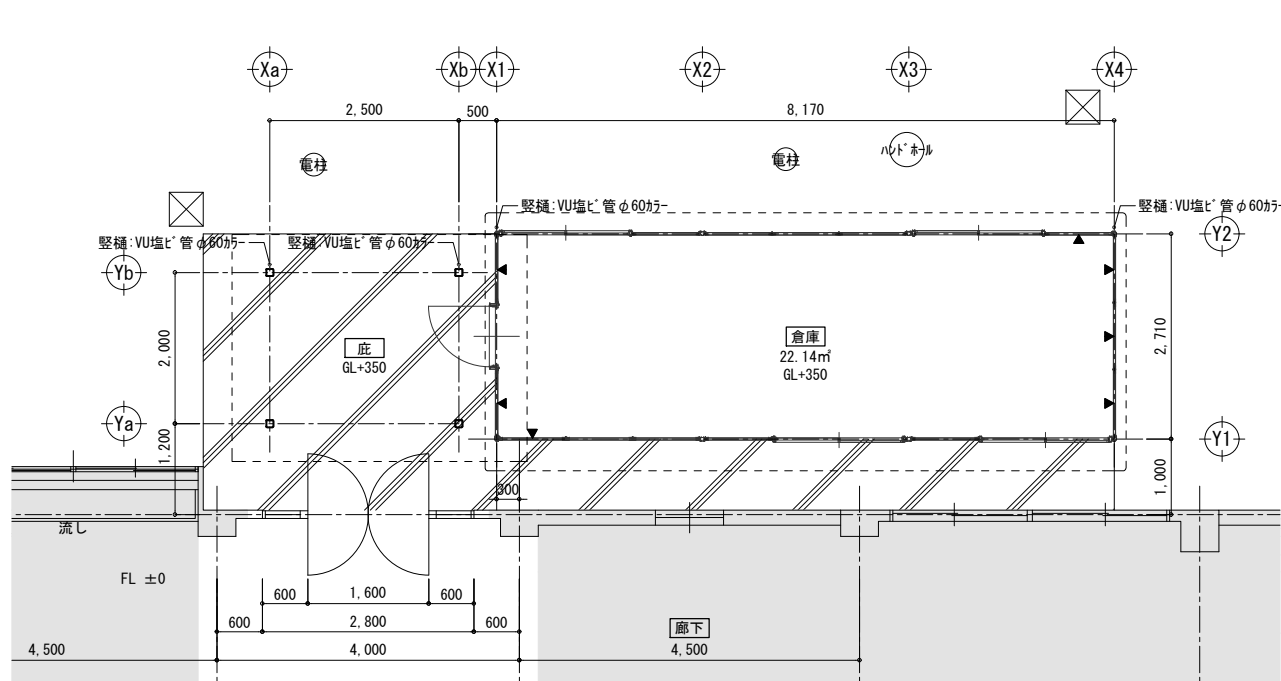
安全装置

強制開離機構付ドアスイッチ (出し入れ口の戸)	ロック装置(出し入れ口の戸)
ゲートスイッチ(かごの戸)	電磁ブレーキ(巻上機)
操作盤非常停止ボタン	終端スイッチ (かご行き過ぎ制限スイッチ)
戸閉放防止警報装置 (オートアナウンス付)	インバータ異常検知
かご昇降時間管制(AST)	インバータ緊急出力遮断
衝突受(かご・おもり)	巻上機ロープ外れ止め
積載注意名板	

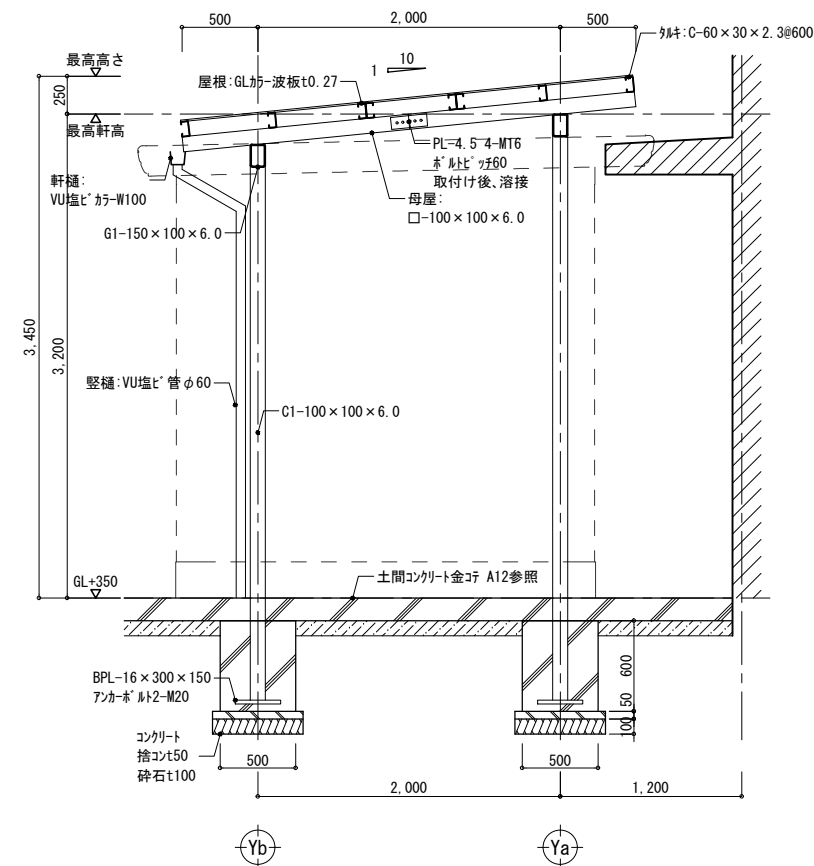
電源設備										
電源トランス 容量 KVA	電源側 NFB 定格A	動力電源線サイズ別最大引込長（m）				接地線 最小サイズ （mm ² ）	機械室 発熱量 kJ/h			
		2.0mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²	8.0mm ²					
4.1	30	21	37	58	85	2.0	266			

[illegible]

EXP. J 詳細図 (クリアランス100) 床-内壁		A1:1/ 5 A3:1/10		EXP. J 詳細図 (クリアランス100) 外壁-外壁・内壁-内壁コーナー		A1:1/ 5 A3:1/10		EXP. J 詳細図 (クリアランス100) 天井-天井		A1:1/ 5 A3:1/10		EXP. J 詳細図 (クリアランス100) 屋根-外壁		A1:1/ 5 A3:1/10	

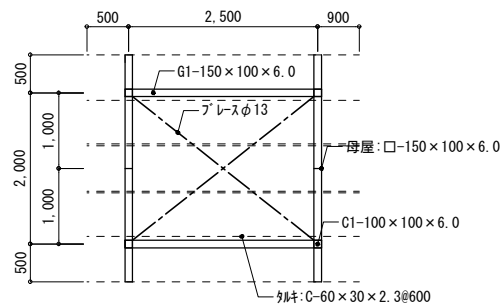


改修後_平面図 A1:S= 1/50 A3:S= 1/100 ▼:ブレースの位置を示す。

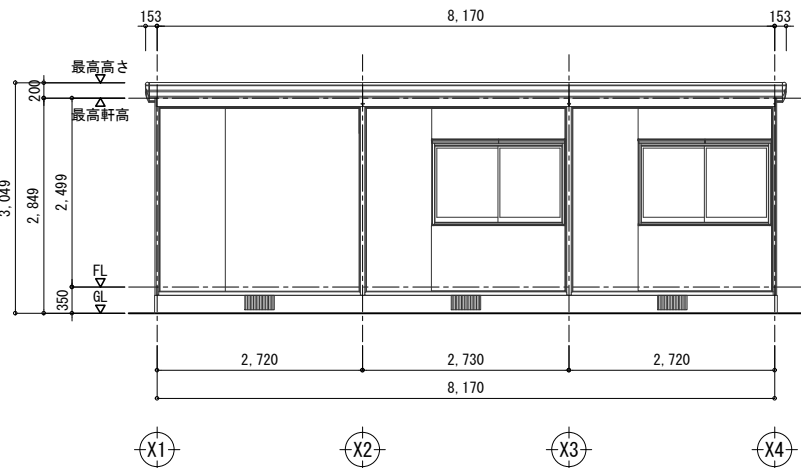


底_断面図 A1:S= 1/25 A3:S= 1/50

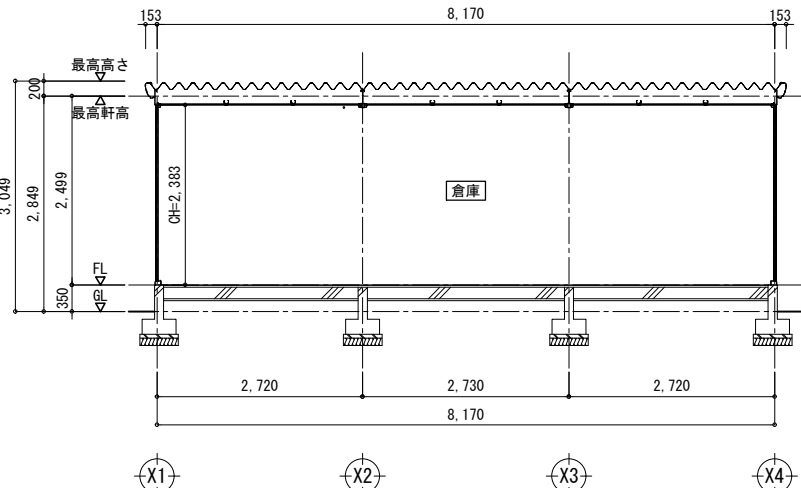
※特記なき限り垂鉛筋処理の上、SOP塗装



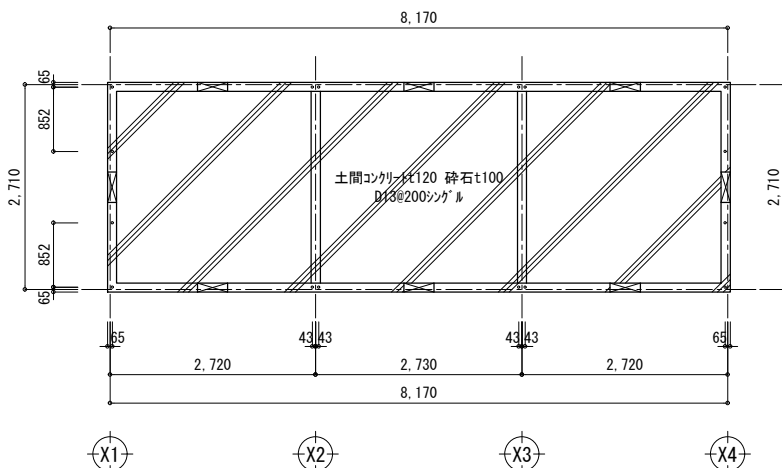
底_小屋伏図 A1:S= 1/25 A3:S= 1/50



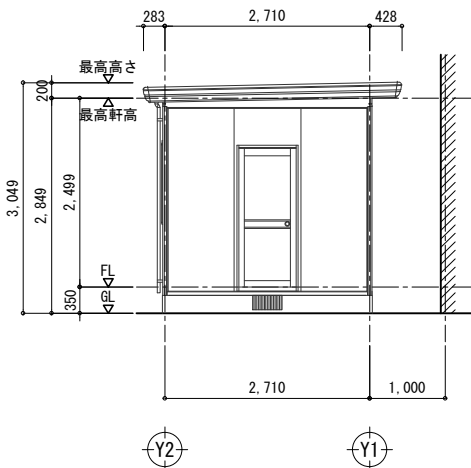
南立面図 A1:S= 1/50 A3:S= 1/100



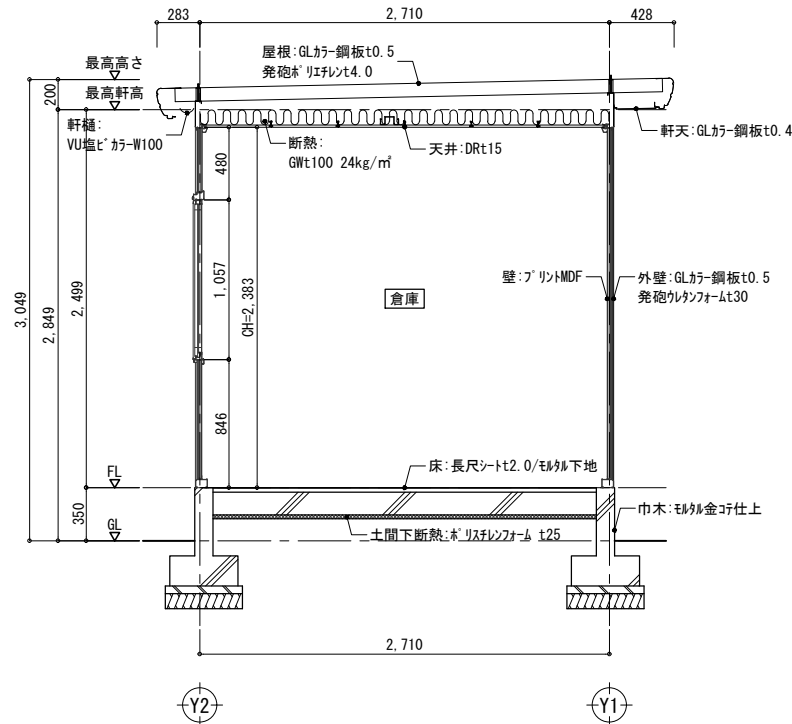
断面図 A1:S= 1/50 A3:S= 1/100



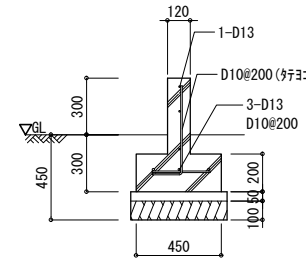
基礎伏図 A1:S= 1/50 A3:S= 1/100



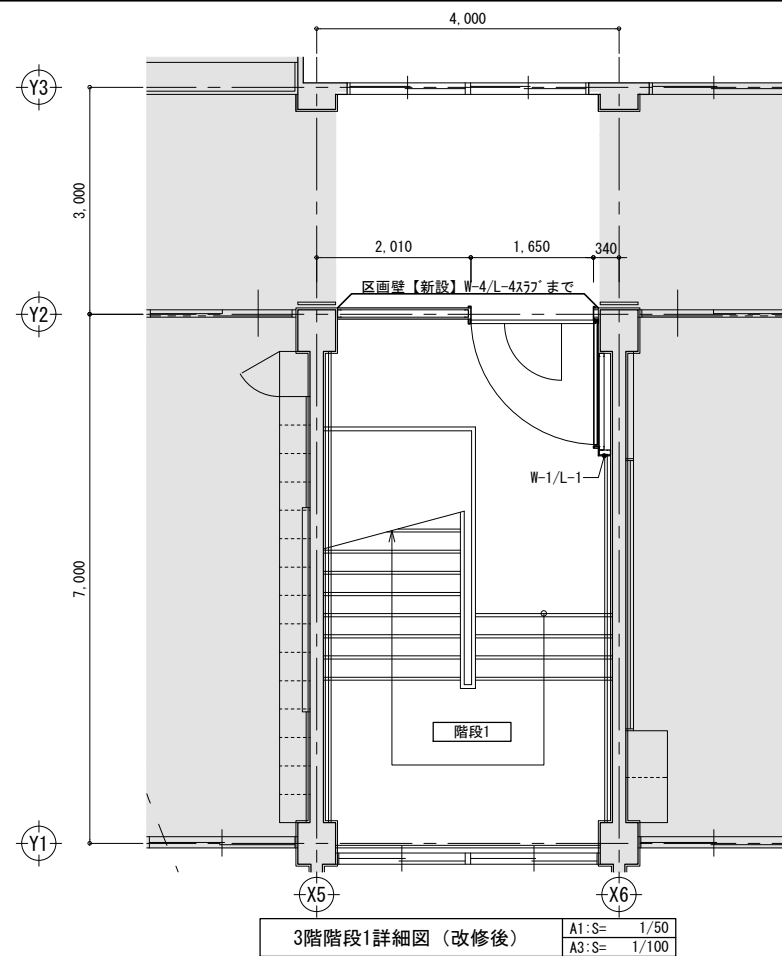
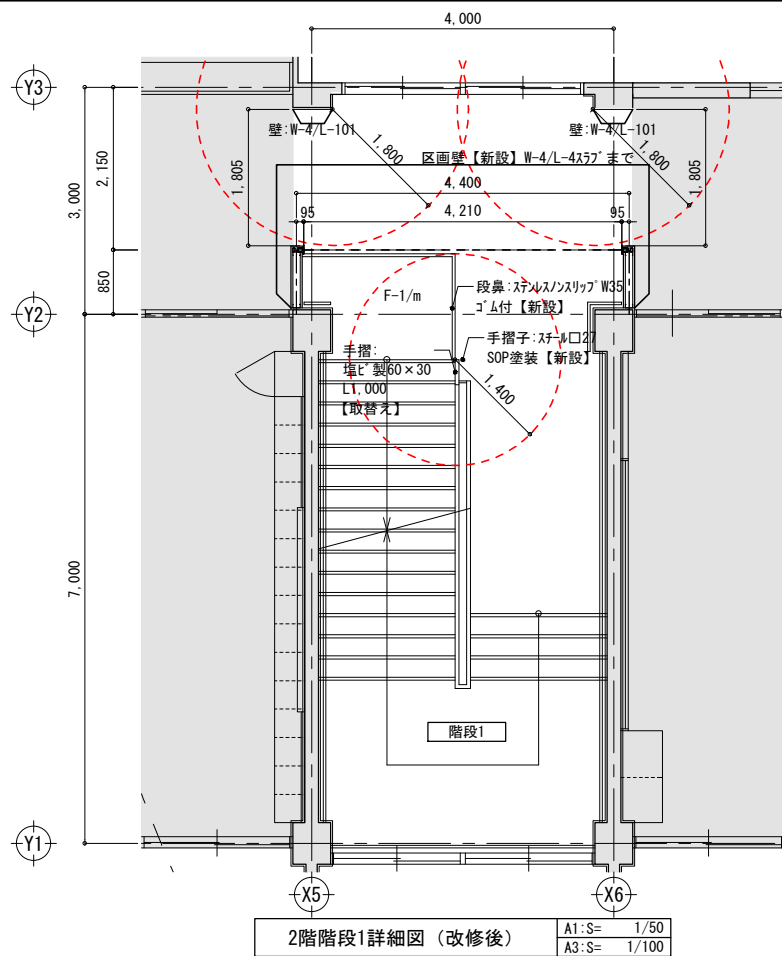
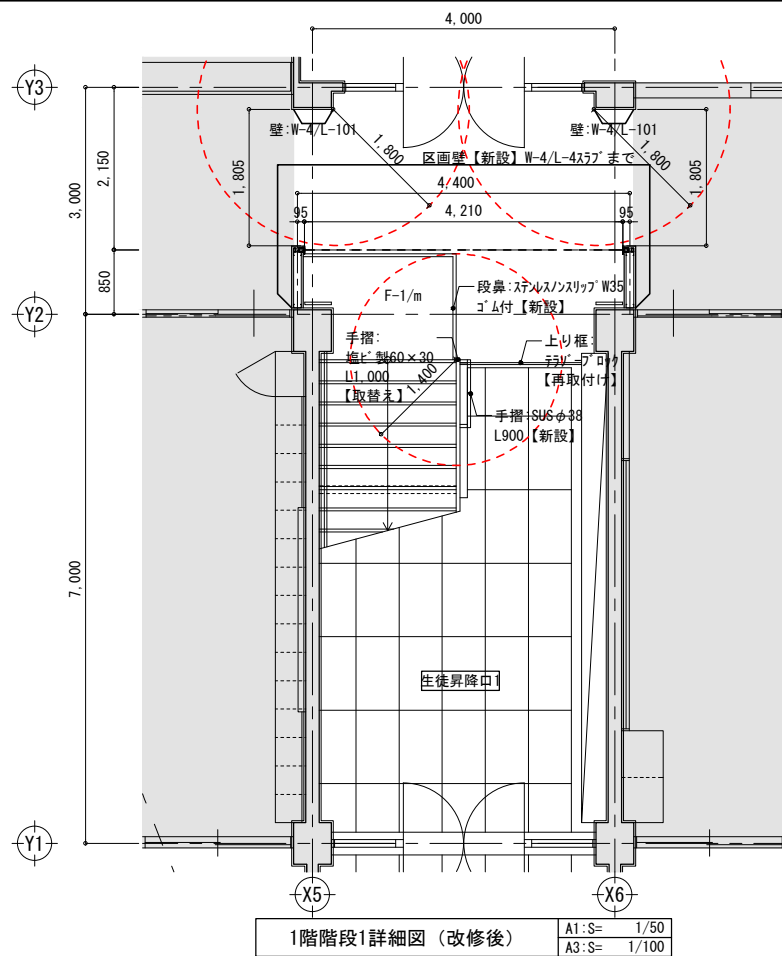
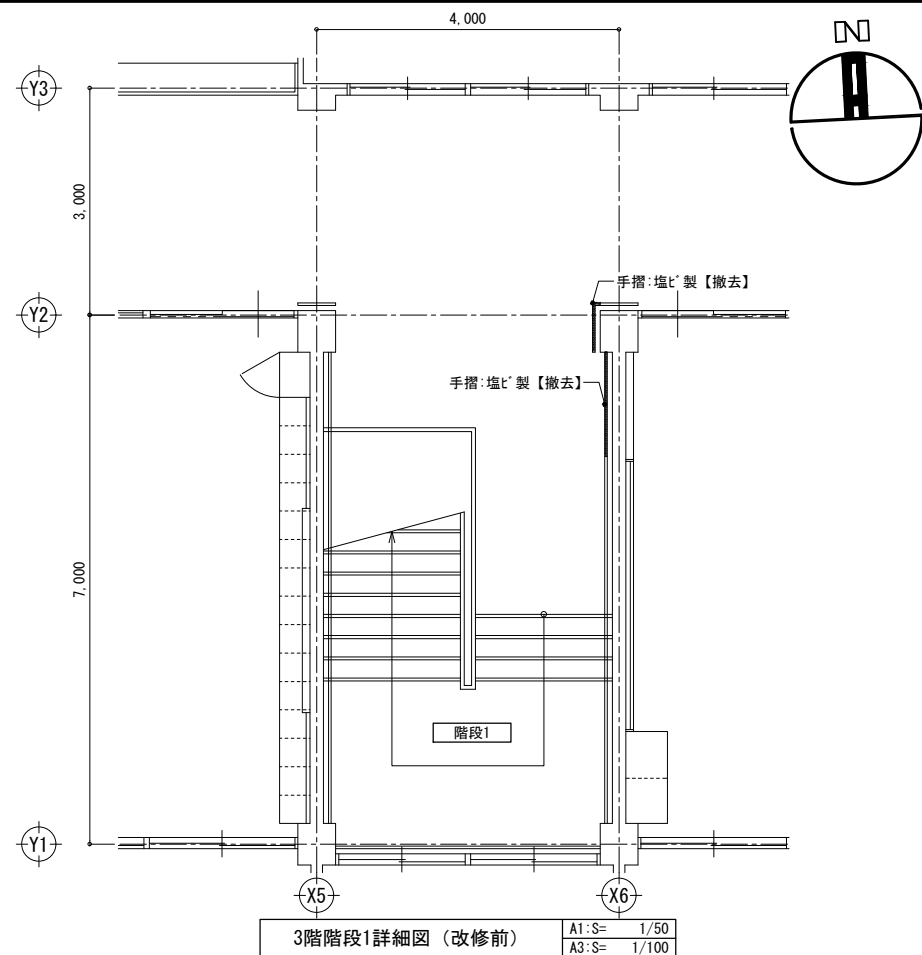
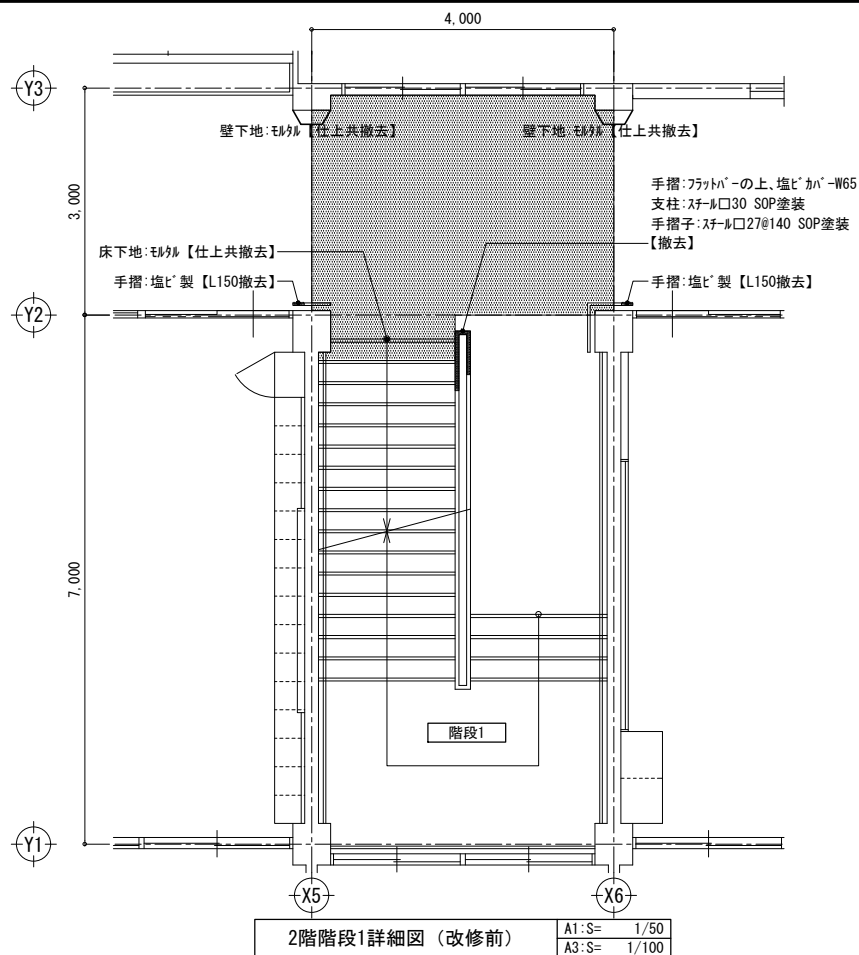
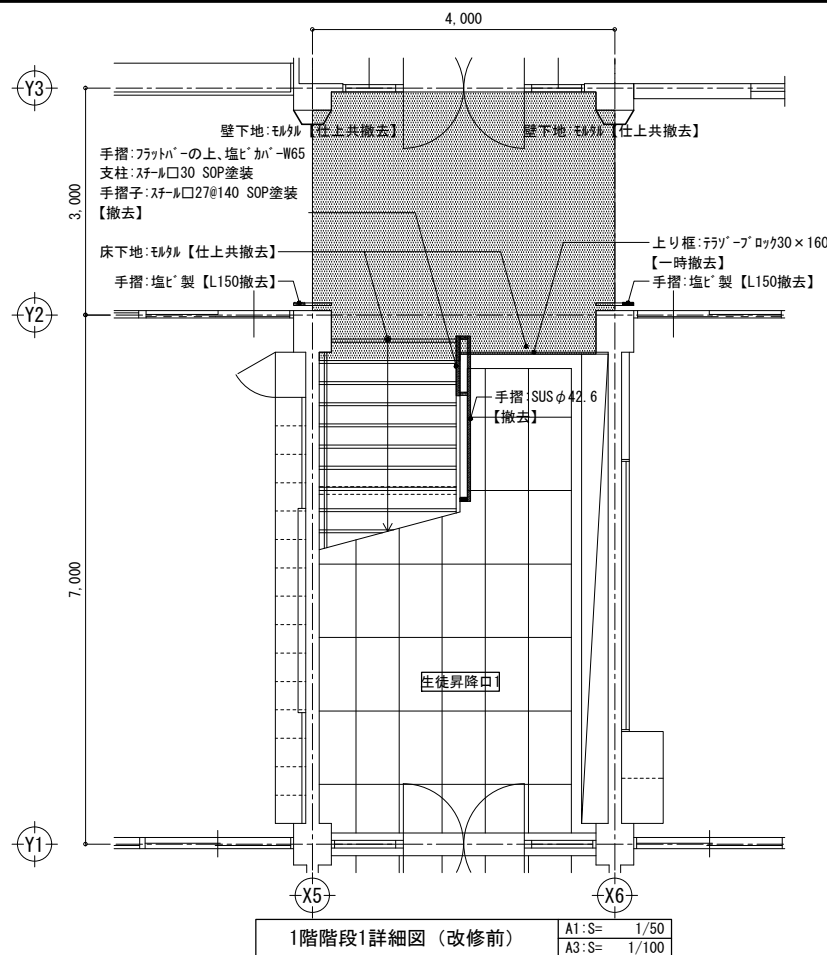
西立面図 A1:S= 1/50 A3:S= 1/100

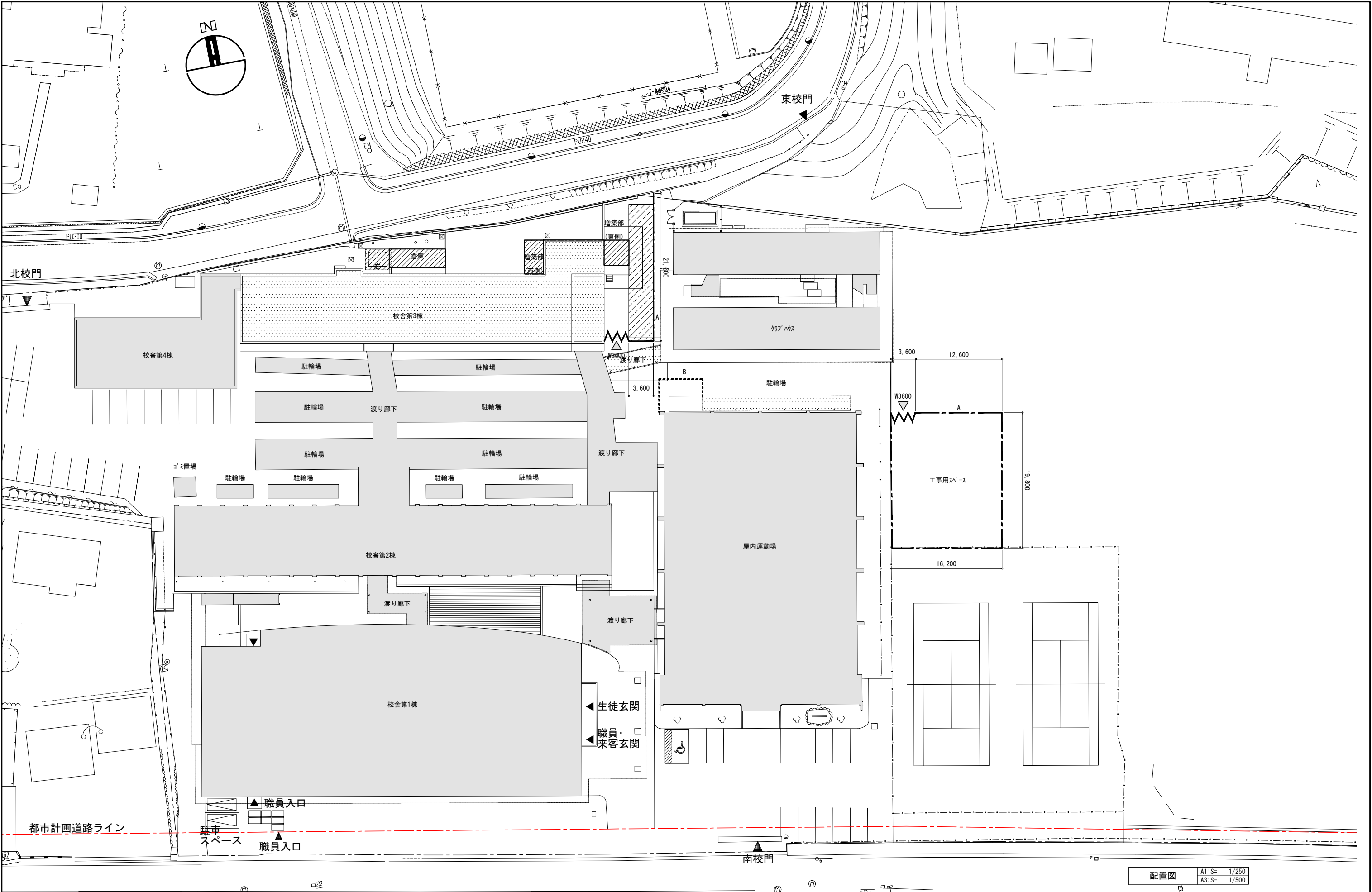


矩計図 A1:S= 1/25 A3:S= 1/50



基礎断面図 A1:S= 1/20 A3:S= 1/40





凡 例	開口	バリアート		

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1, 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事
- 建築場所 三重県亀山市西丸町564
- (2) 工事種別 ☐ 新築 ☒ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築
- (3) 構造種別
- ☐ 木造 (W) ☐ 補強コンクリートブロック造 (CB) ☒ 鉄骨造 (S)
- ☐ 鉄筋コンクリート造 (RC) ☐ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
- ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
- ☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) ☐
- (4) 階 数
- 地下 0 階 地上 3 階 塔屋 0 階
- (5) 主要用途 中学校
- (6) 屋上付属物
- ☐ 広告塔 ☐ 高架水槽 ton ☐ 室外機 ☐
- ☐ 煙突 ☐ キュービクル ton ☐ 太陽光パネル(予定) ☐
- (7) 増築計画 ☐ 有 () ☒ 無
- (8) 付帯工事
- ☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐ ☐ ☐
- (9) 特別な荷重
- ☒ エレベータ 荷物用 ロープ式 油圧式) ☐ リフト ton ☐ ホイスト ton
- ☐ 倉庫積載床用 K g / m² ☐ 受水槽 ton
- (10) 構造計算ルート X方向ルート (1) Y方向ルート (1)

2. 使用構造材料

1) コンクリート		品質保証強度は設計基準強度+3Nとする			
適用箇所		種類	設計基準強度FC=N/mm ²	スランプ cm	備考
捨コンクリート	●普通	□ 13.5 ● 18	18		
土間コンクリート	●普通	□ 18 ● 21	18		
ラップコンクリート	●普通	● 18 □ 21	18		
基礎、基礎梁	●普通	● 24 □ 27 □ 30	15		
柱、床、壁、	1階ｽﾗﾌﾞ	●普通 □ 軽量 ● 24 □ 27 □ 30	15		
	2階以上	●普通 □ 軽量 ● 24 □ 27 □ 30	15		
		□普通 □軽量 □ 21 □ 24 □ 27	15		
	□普通 □軽量	□ 21 □ 24 □ 27			
	□普通 □軽量	□ 21 □ 24 □ 27			
押えコンクリート	□普通 □軽量	□ 18 □ 21 □ 24	18	比重 18	

- (2) コンクリートブロック (CB)
- ☒ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190

- ### (3) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■ SD295A	D10～D16		■ 重ね継手
	□ SD295B			
	■ SD345	D19～D25		■ ガス圧接継手 D19以上
	□ SD390	D29以上		
丸 鋼	□ SR235			□ 特殊継手
溶接金網	□	D6-100×100		()

- #### (4) 鉄骨

		種類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
鋼 材	☒ SS400	☐ SN400A ☐ SSC400	梁	☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☒ 1.0F
	☐ SN400B	☐ SN490B		☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☒ 1.0F
	☐ STKR400	☐ STK490 ☐ STK400		☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☒ 1.0F
	☐ SN490B	☒ BCR295 ☐ JBCR295 ☐ BCP325	柱	☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☒ 1.0F
	☐ SN490B	☐ SN490C ☐ TMCP (BT-HT325C)		☐ 有 ☐ 無	☐ 0.9F ☒ 1.0F
				ダイヤラム	☐ 有 ☐ 無

- (5) ボルト

☒ 高力ボルト
 ☒ F10T
 ☒ F8T
 ☒ S10T
 認定品 (☒ M12
 ☒ M16
 ☒ M20
 ☐ M22
 ☐ M24)

株式会社NS[®] 認定番号 MBLT-0052 (国指第1669号平成16年11月4日付)

☒ 中ボルト
 $\phi = 13$
 $\phi = 12$
 高力ボルトすべり係数試験
 要
 ☒ 否

☒ アンカーボルト
 SNR400
 $\phi =$
 L =
 mm
 ナット (シングル、ダブル)

SS400
 $\phi = 20, 16$
 L = 400, 320
 mm
 ナット (シングル、ダブル)

☒ ベ-ス[®]柱脚工法を使用する。
 (財)日本建築セキによる一般認定「BCJ認定-ST0093-16」(平成28年9月16日付)

岡部株式会社京都工場
 認定番号 MBLT-0063 (国指第2973-1号平成18年3月15日付)

岡部株式会社京東工場
 認定番号 MBLT-0063 (国指第2973-2号平成18年3月15日付)

☐ 頭付スタッド
 $\phi = 16$
 19
 L = 80, 100, 130
 mm

(6) 屋根、床、壁

☐ 角波サイト[®] インク[®]
 使用箇所外壁

☐ アスロック
 厚60
 叩き[®]工法
 使用箇所外壁

☒ ALC
 厚120
 叩き[®]工法
 使用箇所外壁

☒ 金属屋根
 折板ハゼ葺き
 H=166
 t=0.8 (インシュレーション)

☒ クレブレイト
 形式 QL-99-50-12
 厚1.2

3, 地 盤

- (1) 地盤調査
☒有 (☐敷地内 ☐近隣) ☐ボーリング調査 ☒平板載荷試験 ☐水平地盤反力係数の測定
☐土質試験 ☐物理試験 ☐簡易粒度試験
☐無 (調査予定) ☐有 ☐無
- (2) 地盤調査計画
☐ボーリング調査 ☐静的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定
☐土質試験 ☐物理調査 ☐平板載荷試験 ☐簡易粒度試験
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、長杭、杭梗、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

別図による。	○ 調査地盤
	○ 位置図
	○ 支持地盤、地層及び深さについてのコメント

4, 地業工事

- (1) 直接基礎 ☒ヘタ基礎 ☒布基礎 ☐独立基礎 試験掘 ☐有 ☒無
深さGL- m、支持層 長期許容支持力度 80kN/m² 載荷試験 ☒有 ☐無

杭 種	材 料	施工法	備考
☐ RC ☐ PHC ☐ PRC ☐ H鋼 ☐ SC ☐ 鋼管 ☐ 摩擦杭	PHC (☐ A種 ☐ B種 ☐ C種) CPRC (☐ I種 ☐ II種 ☐ IV種) SC t= (9 12 16) 鋼材 ☐ STK400 ☐ STK490	☐ 打ち込み ☐ 埋込法 (セメントミルク工法) ☐ HI-FB (大田認定工法 TACP-0263) 同等品 ☐ MAGNUM-BASIC (大田認定工法 TACP-0507) 同等品 ☐ HIPERLEIT (大田認定工法 TACP-0404) 同等品 ※α=340以上 ※支持力については工事指書にあらためてトットの換算書を提供し、監理者の確認を要す。	JIS規格品
☐ 場所打ち コンクリート杭	コンクリート F c = スランプ cm セメント量 Kg / m ³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	☐ オートマック [®] ☐ 底底杭 ☐ リバースサーキュレーション ☐ アースドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深礎 ☐ 手掘 └ 機械掘	底底杭 日本建築学会認定 第 号 年 月 日

杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書
試験杭 (☐ 有 ☐ 無) (☐ 打ち込み ☐ 載荷) 試験掘 本 位置は現場係員と協議の上決定

符号	杭径 (mm)	設計長期支持力 (kN) (設計短期引抜耐力)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

※地盤調査、土質試験、力学試験の結果により変更も有り得る。 ※杭の継手工法を機械式継手とする場合は認定書及び検討書を提出し監理者の確認を得ること。
※試験堀は本杭を兼ねない。試し掘り跡の穴はセメントミルクを注入する。
※既成杭の施工管理については、「平成28年国交省告示第468号」を遵守すること。

5. 鉄筋コンクリート工事

- ① コンクリート
 ② コンクリートは JIS 認定工場の製品とし施工に関しては JASS5 (2003) による。
 セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 ③ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 ④ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 ⑤ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。
 測定検査の回数は、通常の場合、1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。
 ⑥ 構造体コンクリート現場の圧縮度試験供試体 (JASS T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
 また、打ち込み量が 150m³ をこえる場合は 150m³ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔を設けた 3 台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1 回当り 6 本以上とし、そのうち 4 週用に 3 本を用いる。
 ⑦ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技術または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は 150 分、25℃以上の場合は 120 分以内とする。
 (2) 鉄 筋
 ① 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。
 ② 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋基準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
 ③ D19 未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19 以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ④ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200 箇所を超えるときは、200 箇所ごと) に 1 回行い、1 回試験は 3 本以上とする。
 ⑤ 外観検査 ⑥ 有 □ 無、引張試験 ⑦ 有 □ 無、超音波深傷試験 □ 有 ⑧ 無
 ⑨ 柱の帯筋 (HOP) の加工方法は、
 ⑩ H 型 (タガ型) ⑪ W 型 (溶接型)
 □ S 型 (スパイラル型) とする。
 ⑫ 水セメント比 □ 60 以下 ⑬ 55 以下
 ⑭ 単位水量 ⑮ 180kg/m³ 以下 □ 175kg/m³ 以下 □ 170kg/m³ 以下
 単位水量を達成できない場合は高性能 AE 減水剤を使用することやむを得ない
 ⑯ 単位セメント量 ⑰ 300kg/m³ 以上 400kg/m³ 以下
 ⑱ コンクリート及び鉄筋の試験は公共またはそれに準ずる第三者試験機関で行うこと。
 (3) 型 枠
 ① 材料 合板厚 12mm を標準とする。
 ② 型枠存置期間※鉄骨建て方は設計基準強度の 100% を確認。

セメントの種類 平均気温		せき板				支柱				
		基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下		
		早強度 [※] 「ルトランド」セメント	普通 [※] 「ルトランド」セメント	早強度 [※] 「ルトランド」セメント	普通 [※] 「ルトランド」セメント	早強度 [※] 「ルトランド」セメント	普通 [※] 「ルトランド」セメント	早強度 [※] 「ルトランド」セメント	普通 [※] 「ルトランド」セメント	
		高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	
シリカセメントA種		シリカセメントA種		シリカセメントA種		シリカセメントA種		シリカセメントA種		
コンクリート(引)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28		
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28		
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28		
コンクリートの圧縮強度		12N/mm2 (埋戻し時は18N/mm2)				設計基準強度の				
		設計基準強度の100%				100%		100%		

注)1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注)2 スラブの支柱の盛りかえは行わない。

注)4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注)5 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6, 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工導は指示のない限り下記による
- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- (2) 工事管理者の承認を必要とするもの
- 制作工場 ■製作要領書 ■工作図 ■施工計画書
- 建築基準法第68条による認定工場（大臣認定 グレード）
- 材料規格証明書または試験成績書
- 鋼材 ■高力ボルト ■特殊ボルト □スタッドボルト
- 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
- (● 印以外の項目の検査結果については、工事管理者に報告すること)
- 現寸検査 ■組立・開先検査 ■製品検査
- 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
- 日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」

- (5) 接合部の検査
- 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告する二こ）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社内	第三者	工事管理者	
● 突合せ溶接部	超音波深傷試験	100 % 個	30 % 個	% 個	主要構造部の製作外注は原則として行わない。
□	外観（目視）検査	100 %	30 %	%	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事管理者又は工事施工者が、受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

- 高カボルトは「JIS B1186の高カボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態あること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- 高カボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するように注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
- 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。
- (6) 防錆塗装
- 防錆塗装の範囲は、高カボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被服される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5674、2回塗りを標準とする。
- 現場における高カボルト接合部及び接合部の素地調整は急に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料
- 意匠図による。

- (8) 補強部材
- 屋根及び外壁の継ぎ目、開口周り及び建具等の補強部材は適宜監理者と相談の上配置する。

7. 設備関係

- 梁貫通孔の配置は設備図による。梁貫通補強に既製品を使用する場合はメーカーの検討書と管理者の承認を要す。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を待てること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

※ 建築基準法施行令第129条の2の3の事項
建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

- 建設設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとすること。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - 建築物の部分と貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は基礎金物を用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他の建築物に類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
- 「給湯設備」は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造として、かつ満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示1388号第5に規定する構造方法によること。
- 「給湯設備」：建築物における電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの。

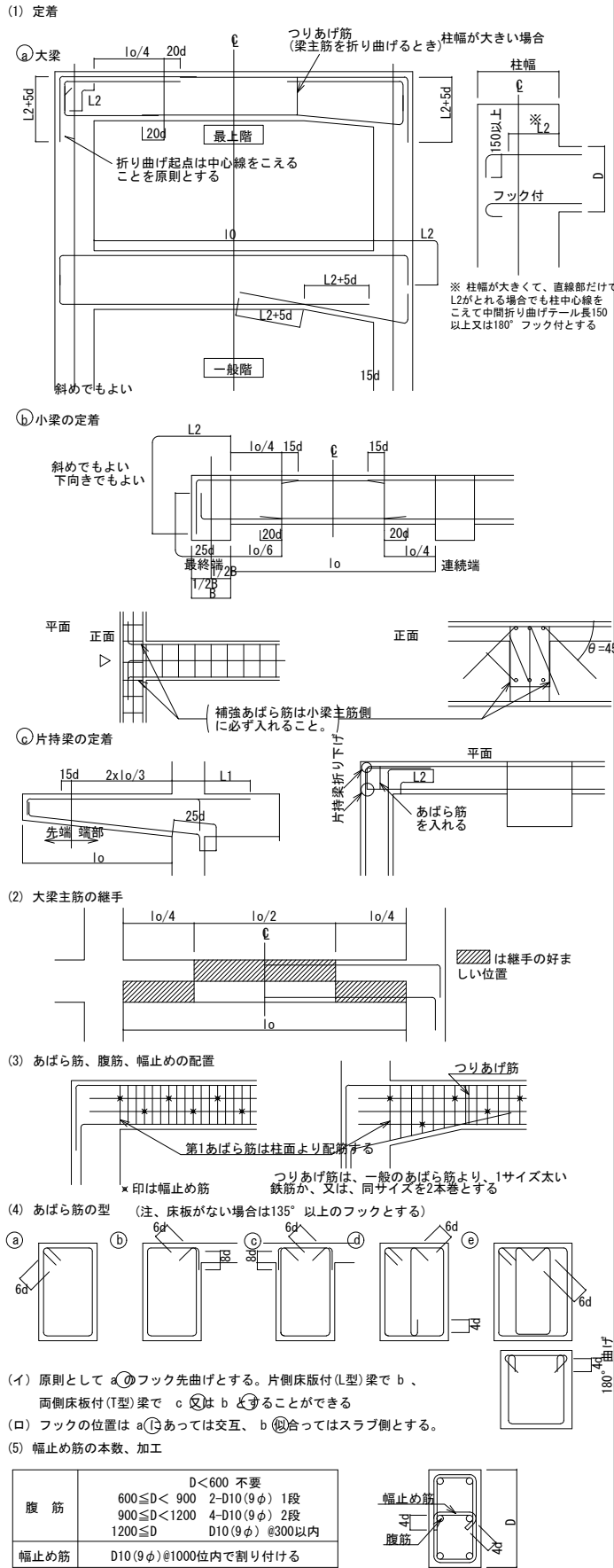
8. その他
-
- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 - 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
 - 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事		図面名称 構造特記仕様書			縮尺 A1: non A3: non
株式会社 アスカ 総合設計	 三重県松阪市伊勢町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号	管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義	設計者 一級建築士 第80981号 谷川 精一	設計者 構造設計者 業務年月 (2025)R7年03月 7/16発注 2024a011-0325sm	図面番号 S - 01

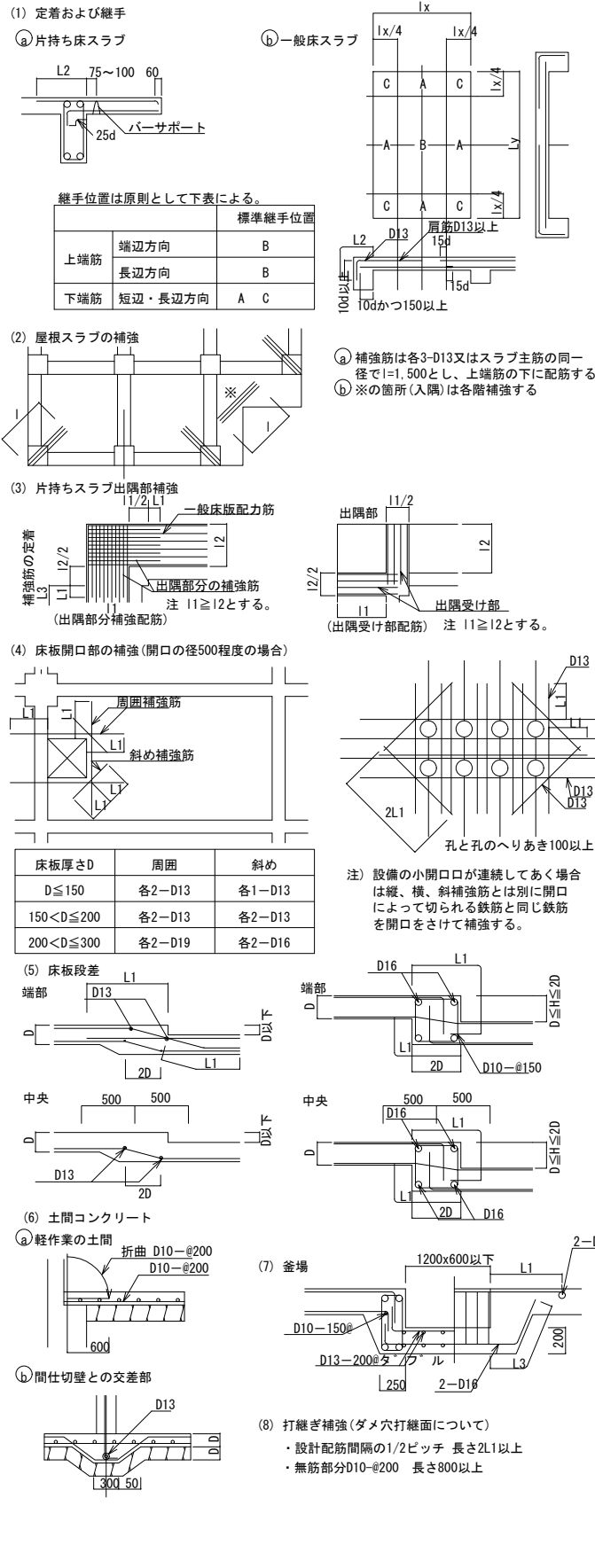
鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

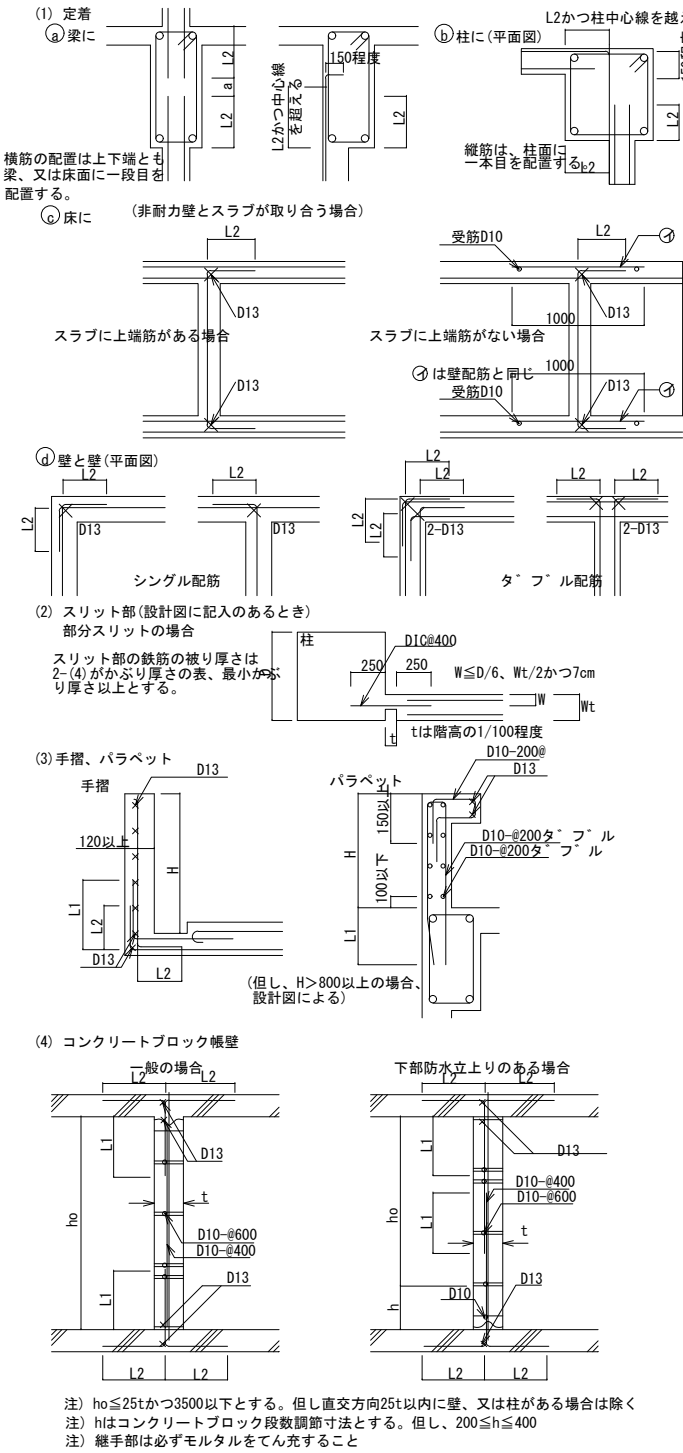
7. 大梁、小梁、片持梁



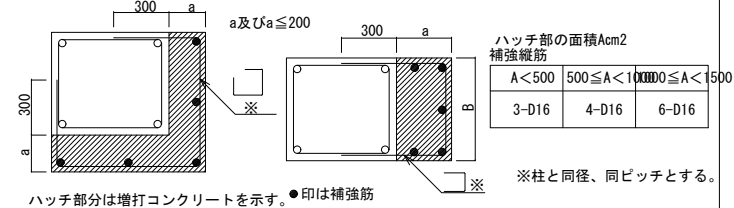
8. 床板



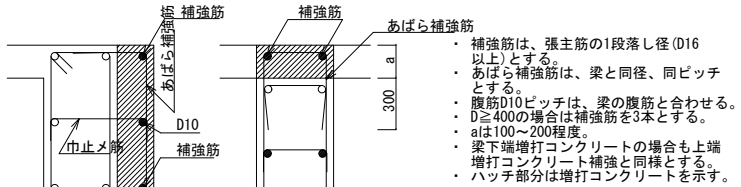
9. 壁



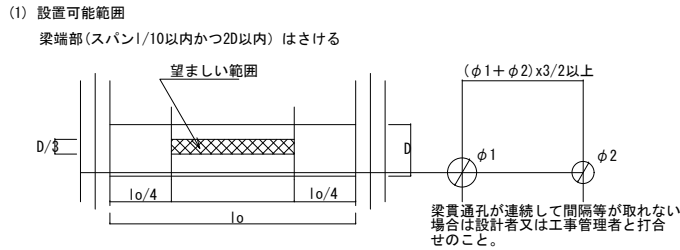
10. 柱、梁増打コンクリート補強



(2) 梁

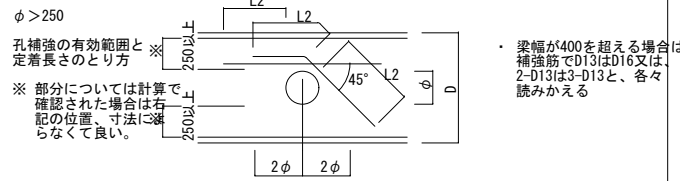


11. 梁貫通孔補強



(2) 鉄筋標準配筋

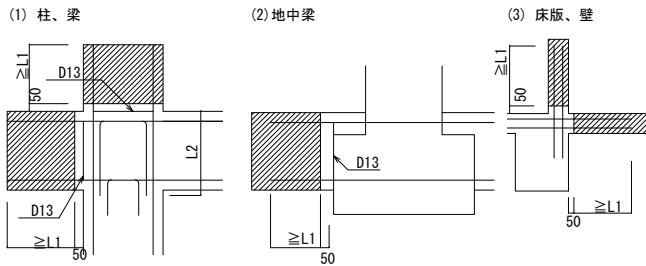
80≦φ≦100 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13	100≦φ≦150 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-100@ 横筋 2-(2-D13)	150≦φ≦250 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST2-D13-100@ 横筋 2-(2-D13) 上縦筋 ST2-D13
--	--	---



(3) 既製品

□ リング型 □ バイブ型 □ 金網型 □ プレート型

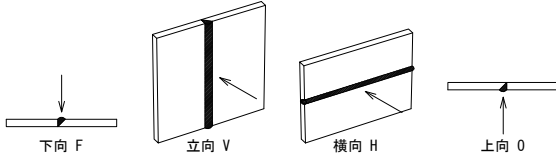
12. 増築予定



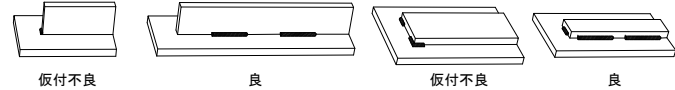
鉄骨構造標準図

1. 一般事項

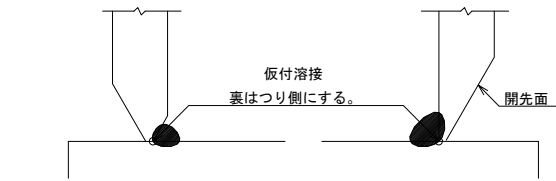
- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施行に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事管理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエアークウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥機
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
- セルフ(ノンカ゛ス)シールドアーク半自動溶接(NGC)アークエアークウジング(AAG)
- (d) 溶接姿勢



- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 組立て溶接は溶接の初、終端、遇角部など用途上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



- (f) 溶接施工

- (イ) エンドタブ

- I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
- NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブ母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
- IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る

- (ロ) 裏あて金

- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

- (ハ) スカラップ 半径は30～35mmと、10mmのダブルアールとする

- ※本工事は原則としてノンスカラップ工法とする。

- (ニ) 裏はつり

- 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の承認を励行し、部材に確認マークを付ける

- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

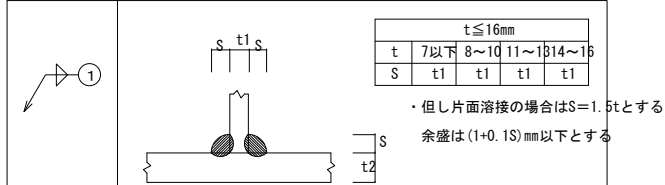
- (5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの摩擦面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

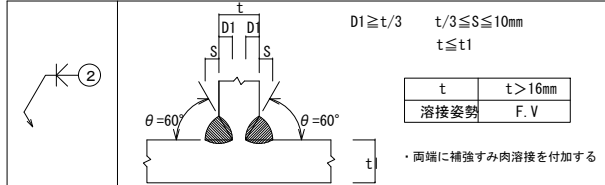
2. 溶接基準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位 mm)

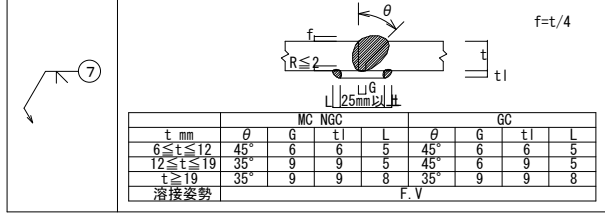
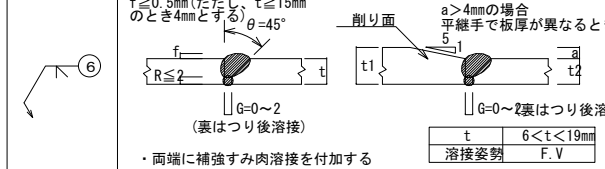
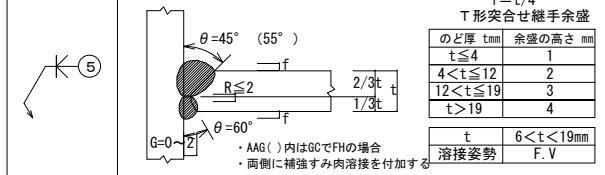
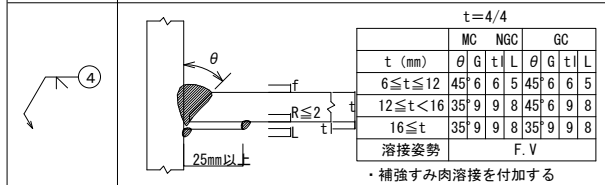
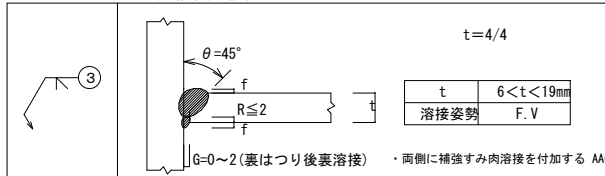
- (1) スミ肉溶接



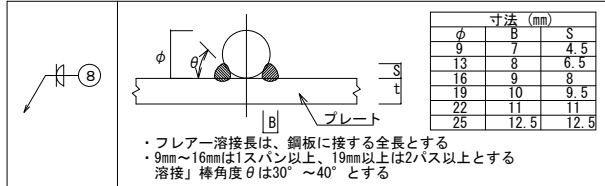
- (2) 部分溶込み溶接 (使用箇所に注意)



- (3) 完全溶込み溶接 (平継手、T継手)

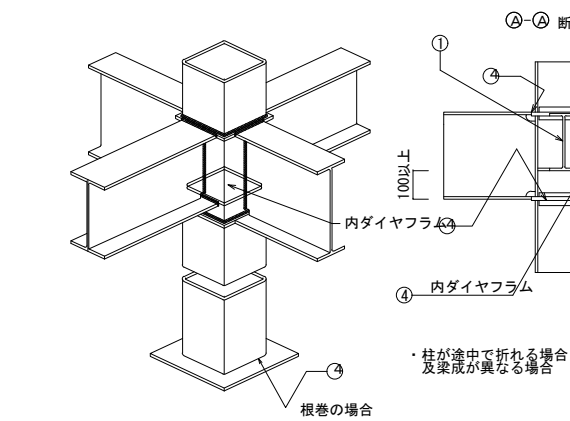


- (4) フレーア溶接



- ・溶接記号番号を○中に記入のこと

- ・B×O×型 (通しダイヤフラムの場合)



スリーブ補強要領

梁貫通孔の配置は設備図による。

共通事項

1. D < h/2 とする。
2. e > D とする。
3. Pは大きな方のスリーブ径の3倍以上とする。
4. L > 2.5D かつ L > 200 とする。
5. スリーブ位置は鉄骨の中央材を原則とする。
6. 補強要領は右表に示す。

(凡例) 無印 - 補強不要

- 印 - 母材がφと同厚プレートで補強する。
- △印 - 母材がφと同厚プレートに両面に補強する。
- X印 - スリーブ不可

尚、補強プレートは全周隅肉溶接とし、スリーブ内側も同様とする。また、補強材の材料強度は母材と同等とする。

7. スリーブが鉄骨の端部材に配置されるときは、上記補強に加えて鋼管を溶接する。鋼管は両面全周隅肉溶接とする。

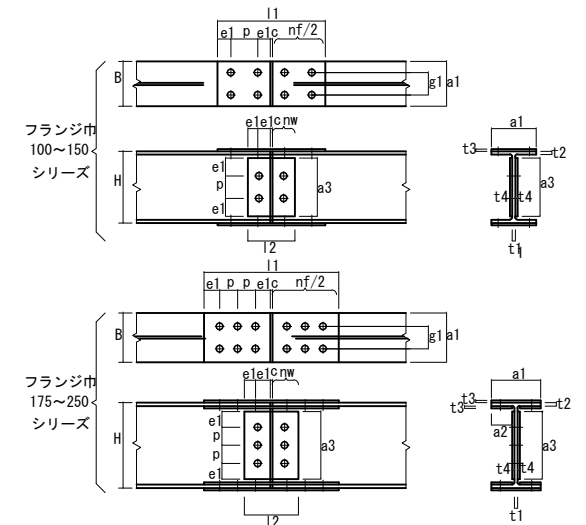
8. 既製品(認定品)を使用する場合は認定要領による。

ボルト接合要領

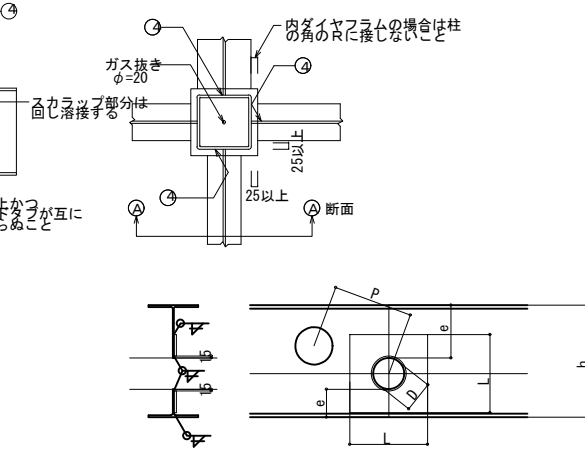
- 1 表示記号

H形鋼添板	ウェブ高さ	H	ボルト	フランジボルト	n f
	フランジ巾	B		ウェブボルト	n w
添板	ウェブ厚	t	ト	縁端距離	e 1
	フランジ外側添板	SPL-1		ピッチ	p
板	フランジ内側添板	SPL-2	板	千鳥打ち間隔	g
	ウェブ添板	SPL-3		クリアランス	C

A 大梁

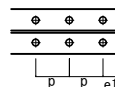


平面詳細図



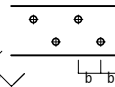
	スリーブ 径D)									
	50	100	125	150	175	200	225	250	275	300
鉄骨せい(h)	250	○	○	○	X	X	X	X	X	X
	300	○	○	△	△	X	X	X	X	X
	350		○	△	△	X	X	X	X	X
	400		○	○	△	△	X	X	X	X
	450		○	○	○	△	△	X	X	X
	500		○	○	○	○	△	△	X	X
600	550		○	○	○	○	○	△	△	X
	600		○	○	○	○	○	△	△	X

- 2 縁端距離及びピッチ

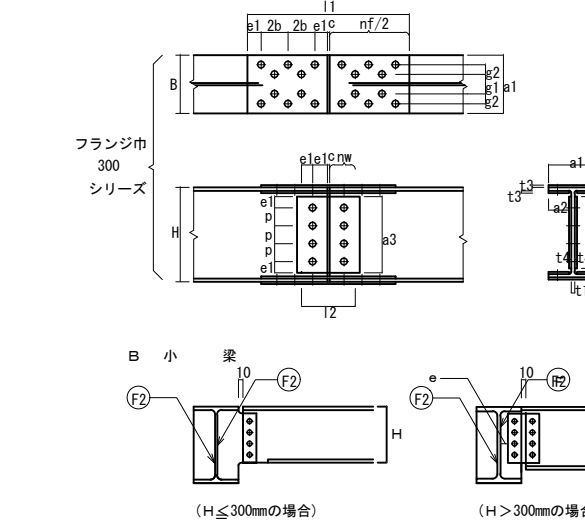


H	T	B	e1	p
M-16			3.5	6.0
M-20			4.0	6.0
M-22				
M-24			4.5	7.5

- 3 千鳥打ちのゲージ間隔



g	b		
	ボルト径		
	M16	20	22
3.5	5.0	6.5	
4.0	4.5	6.0	
4.5	4.0	5.5	
5.0	3.5	5.0	
5.5	2.5	4.5	
6.0		4.0	



(H ≤ 300mm の場合) (H > 300mm の場合)

- (注) 1 高力ボルトの施工性を考慮して、e > 20 とする。
- 2 大梁の仕口部においてピン接合の場合は、この図を準用する。

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事

株式会社 アスカ 総合設計

図面名称 鉄骨構造標準図

設計者 構造設計者 谷川 精一

縮尺 A1: non A3: non

図面番号 S - 04

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

ボーリング柱状図

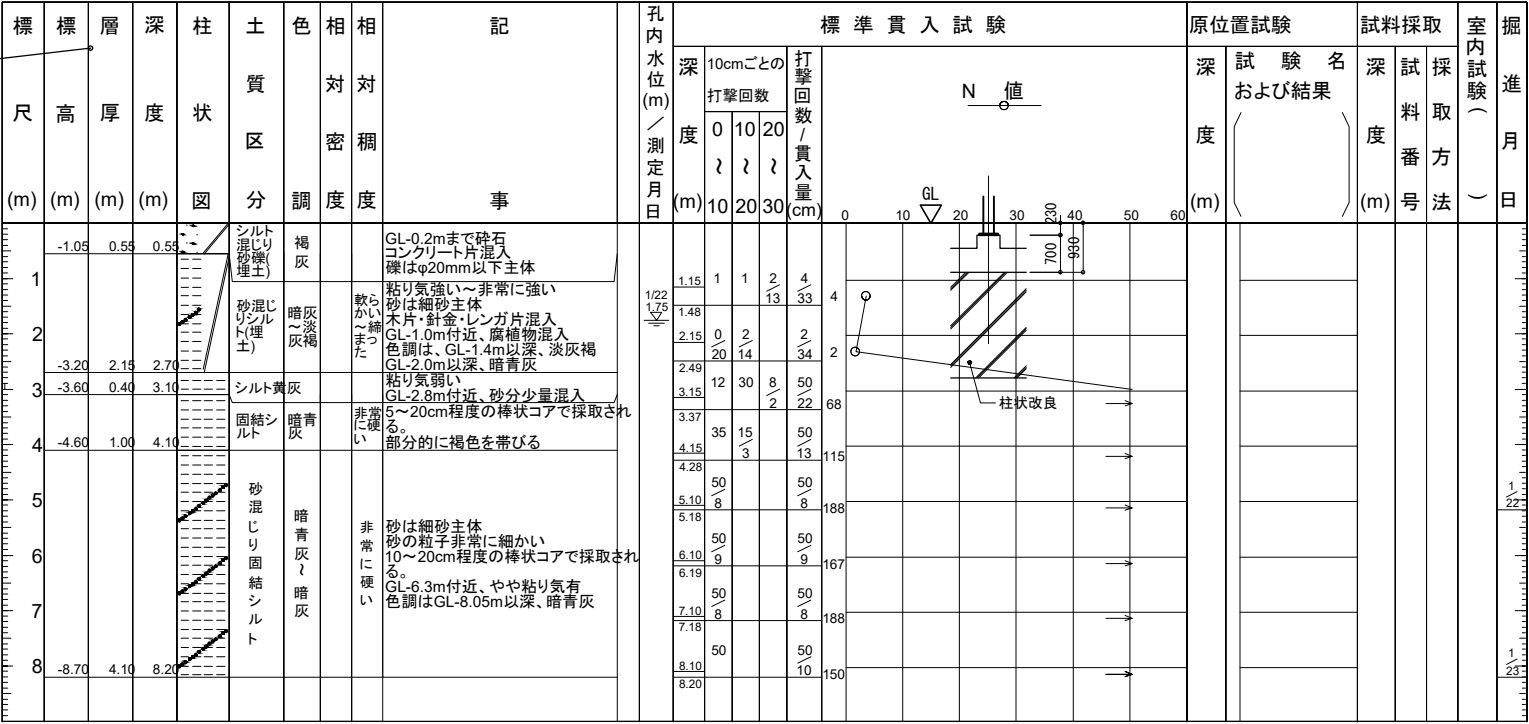
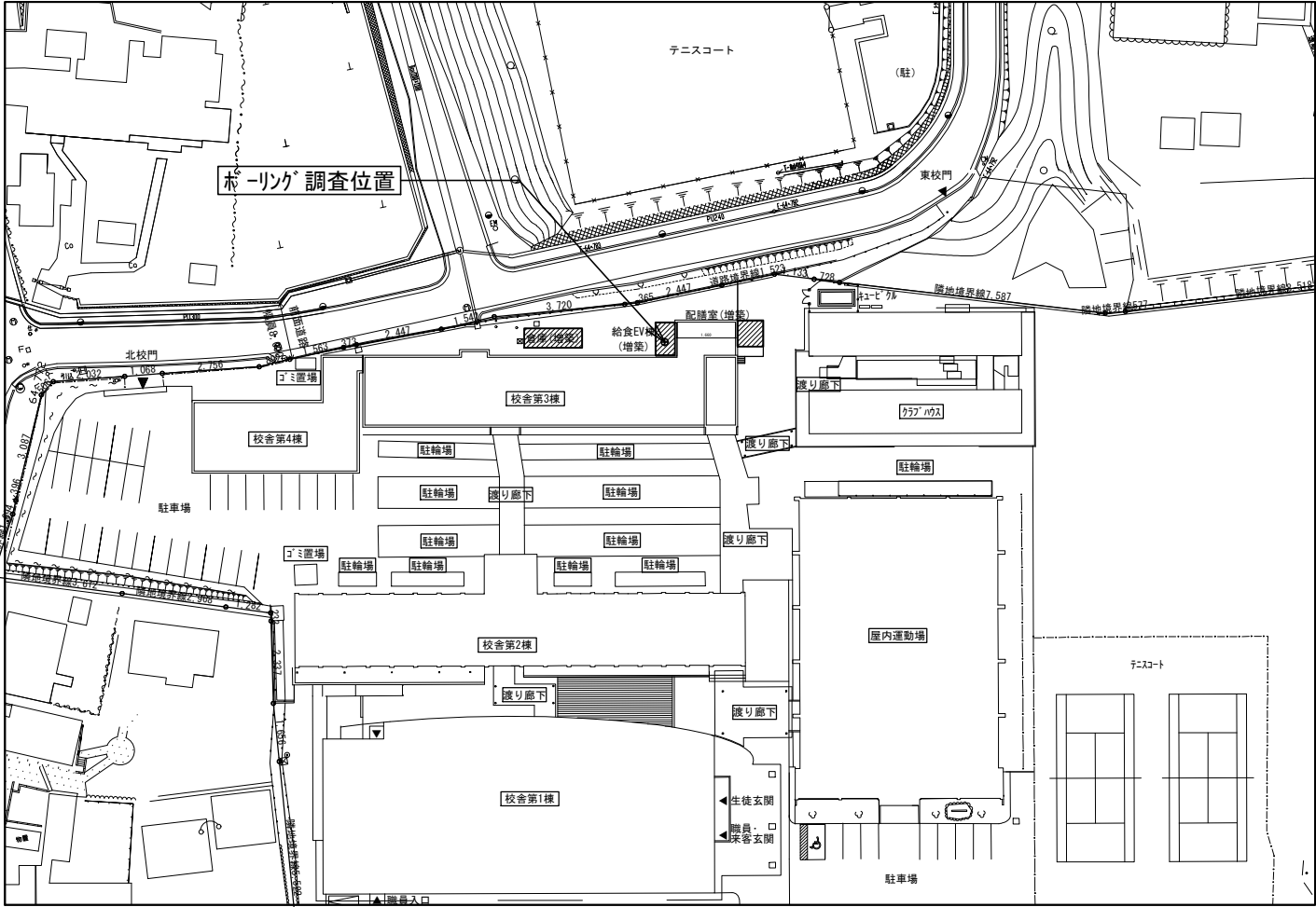
調査名 亀山中学校地質調査業務委託

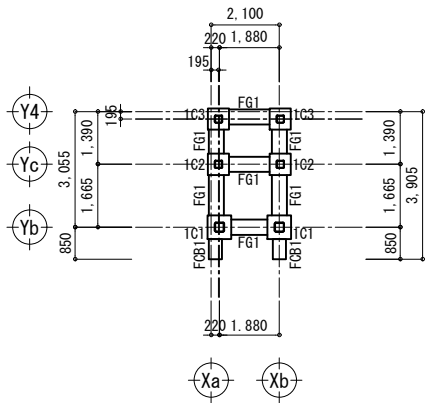
ボーリングNo

事業・工事名 学校管理費 中学校全員喫食制給食実施事業

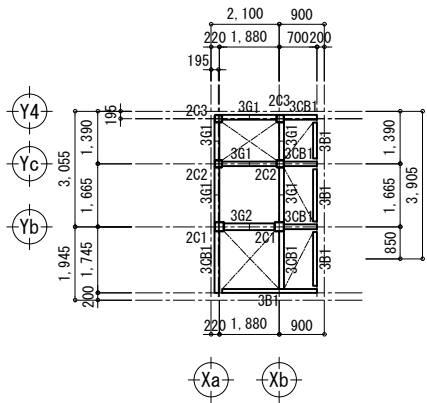
シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	三重県亀山市西丸町 地内				北緯	34° 51' 22.7"
発注機関	亀山市教育委員会 教育総務課				調査期間令和 7年 1月 22日 ~ 7年 1月 23日東		経緯	136° 26' 55.2"
調査業者名	有限会社林エンジニアリング 電話(0595-82-5415)		主任技術者 林彦文		現場代理人 林彦文	コ 鑑定者 ア 林彦文	ボーリング責任者	中林誠治
孔口標高	KBM -0.50m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0°	使用機種	試験機扶桑工業製 KR-100PA-3型 ハンマー落下用具 半自動落下装置	
総掘進長	8.20m			エンジン	YANMER製 TF90V型		ポンプ	扶桑工業製 V-4型

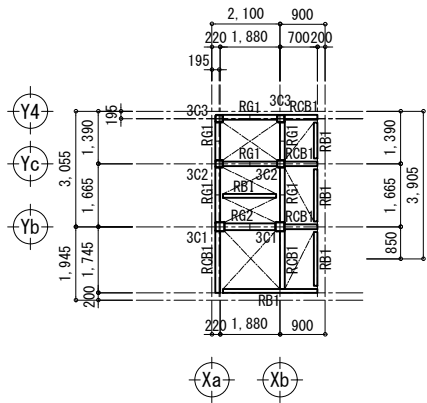




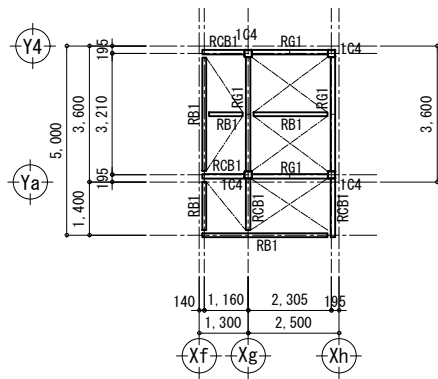
1F梁伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



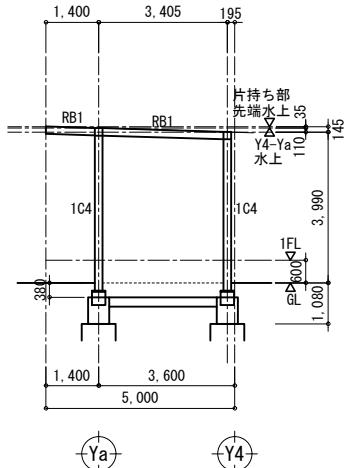
3F梁伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



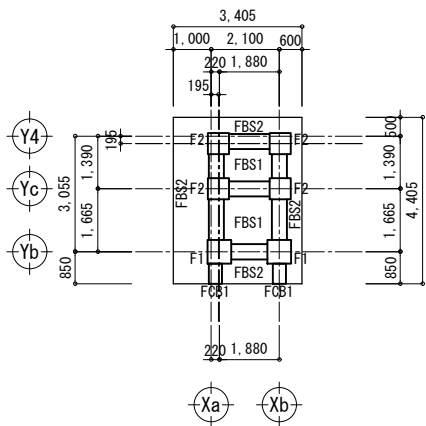
RF梁伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



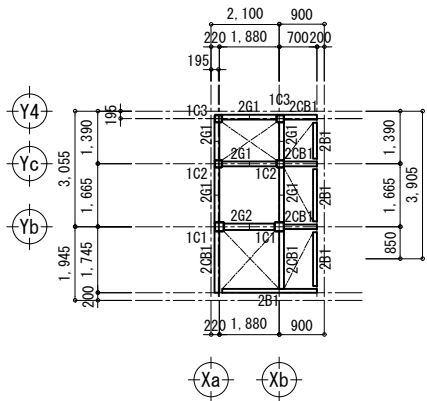
RF梁伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



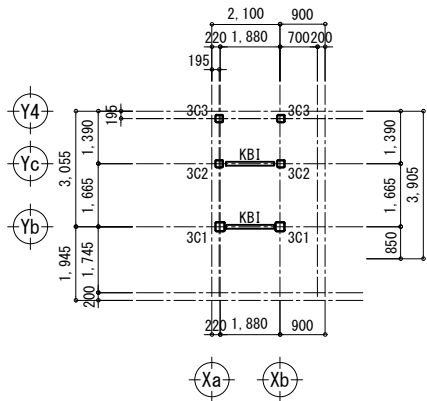
Xf軸組図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



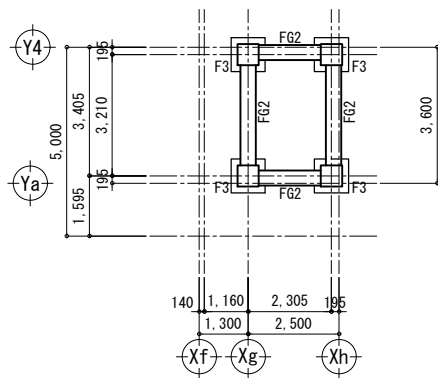
基礎伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



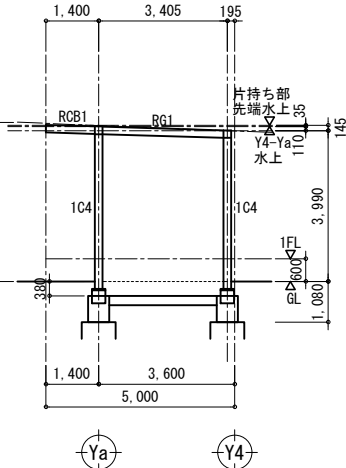
2F梁伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



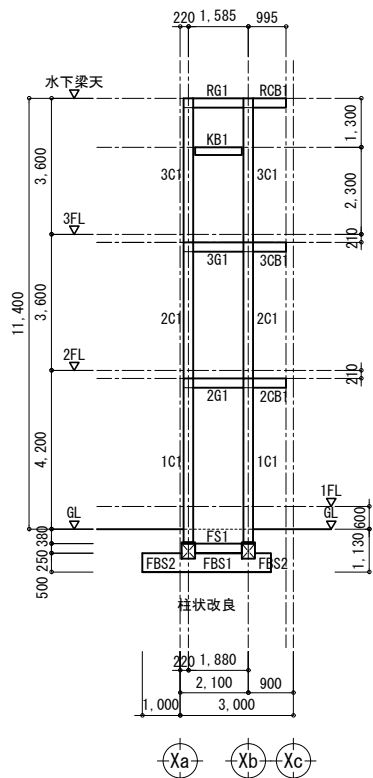
3F-RF間梁伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



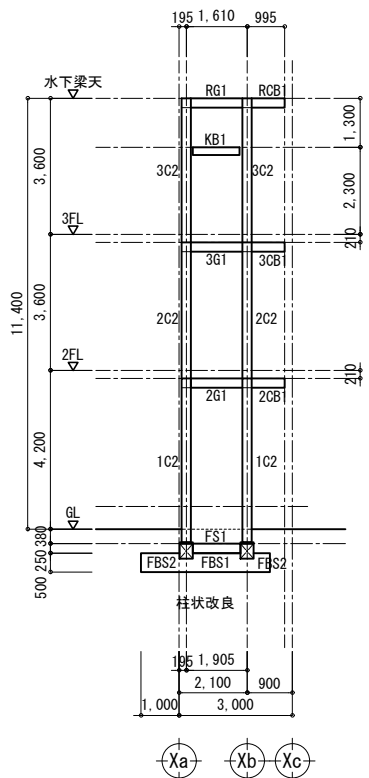
基礎伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



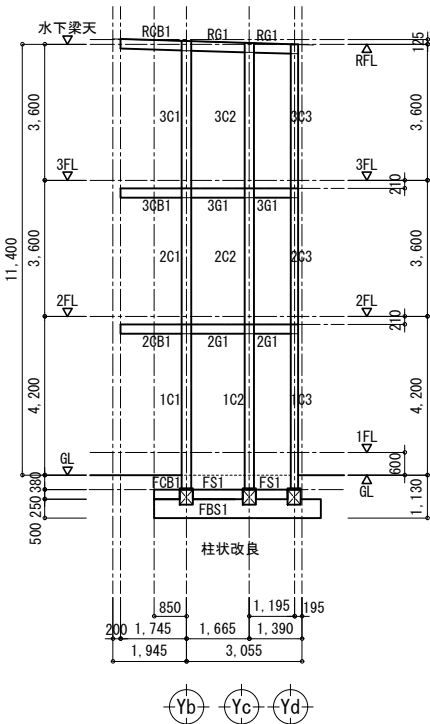
Xh軸組図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



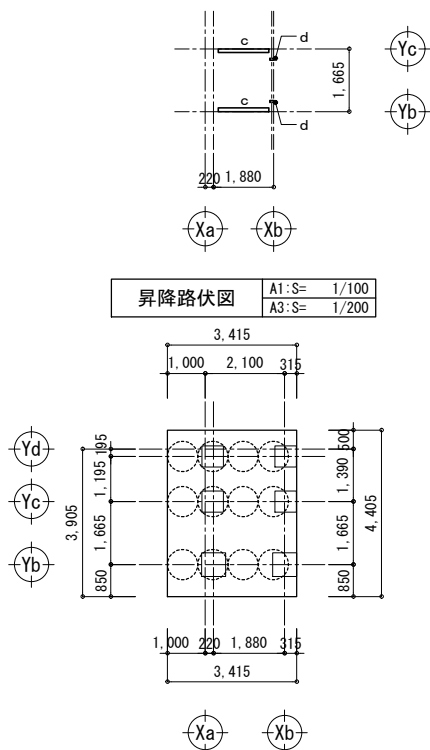
Yb軸組図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



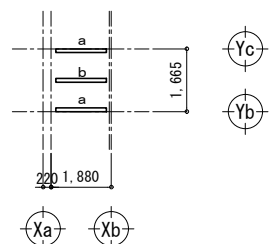
Yc軸組図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



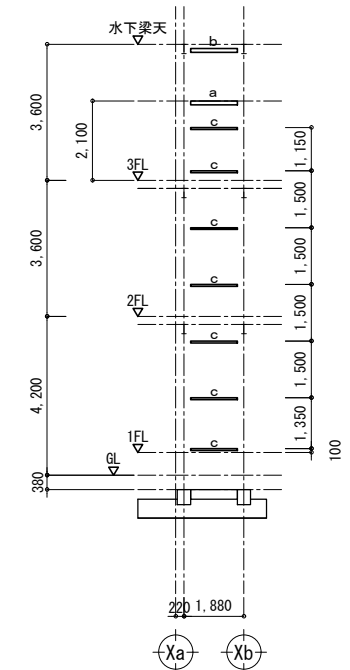
Xa軸組図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



昇降路伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



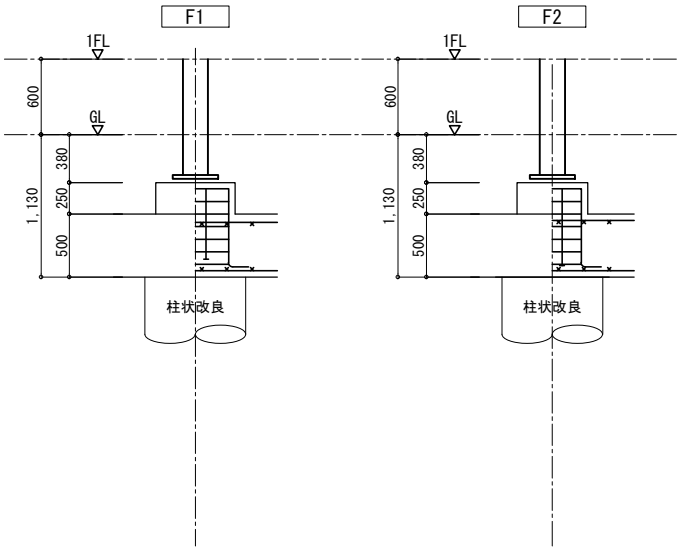
3FL+2100機械室伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200



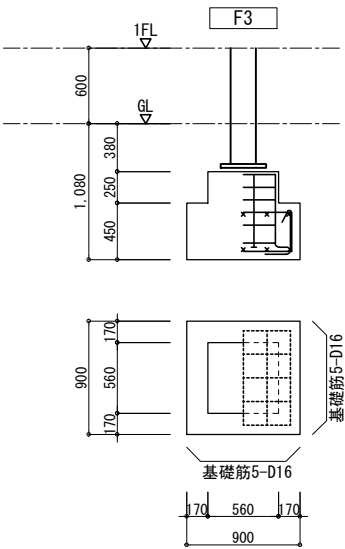
昇降路縦断面図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200

杭伏図 A1:S= 1/100
A3:S= 1/200

基礎リスト （西側）



基礎リスト （東側）



柱脚リスト

1C1		1C2		1C3		1C4	
ベースバック 25-12V		ベースバック 20-12V		ベースバック 20-12V			
柱部材	□-250×250×12	柱部材	□-200×200×12	柱部材	□-200×200×12	柱部材	□-200×200×9
ベースプレート	420×420×36	ベースプレート	360×360×32	ベースプレート	360×360×32	ベースプレート	
アンカーボルト	4-M30 L=490	アンカーボルト	4-M33 L=490	アンカーボルト	4-M33 L=490	アンカーボルト	
コンクリート柱断面	630×630	コンクリート柱断面	560×560	コンクリート柱断面	560×560	コンクリート柱断面	560×560
立上り筋	12-D19 (SD345)	立上り筋	12-D19 (SD345)	立上り筋	12-D16 (SD295)	立上り筋	12-D16 (SD295)
フープ筋	D13@100 (SD295)	フープ筋	D13@100 (SD295)	フープ筋	D13@100 (SD295)	フープ筋	D13@100 (SD295)
コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上	コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上	コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上	コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上

床リスト

土に接するスラブの地業は捨コンt50砕石t100とする。

符 号	版 厚	位 置	短辺方向	長辺方向	備 考
FBS1	500	上端筋	D16-@200	D16-@200	へり基礎
		下端筋	D16-@200	D16-@200	
FBS2	500	上端筋	D16-@200	D16-@200	片持ちへり基礎
		下端筋	D16-@200	D16-@200	
FS1	250	上端筋	D13-@200	D13-@200	1Fスラブ
		下端筋	D13-@200	D13-@200	

地中梁リスト

地中梁天端はGL-380とする。

符 号	F61	F62	FCB1
位 置	全断面	全断面	全断面
断 面			
上端筋	3-D22	3-D19	3-D22
下端筋	3-D22	3-D19	3-D22
あばら筋	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200
腹筋	2-D13	2-D13	2-D13
備 考			

部材リスト

特記外部材はSS400とする。
特記外ねじはHTB、F10Tとする。

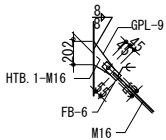
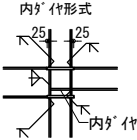
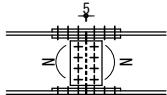
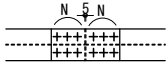
○印は端部材SM490B、中央材はSM490Aを示す。
外部に露出する部材は溶融亜鉛メッキ処理としねじはF8Tとする。

符号	部材	継手 仕口				備考
		フランジ		ウェブ		
		プレート	ボルト	プレート	ボルト	
1C1	□-250×250×12 (BCR295) , BP 25-12V					
2C1	□-250×250×12 (BCR295)					
3C1	□-250×250×9 (BCR295)					
1C2	□-200×200×12 (BCR295) , BP 20-12V					
2C2	□-200×200×12 (BCR295)					
3C2	□-200×200×12 (BCR295)					
1C3	□-200×200×12 (BCR295) , BP 20-12V					
2C3	□-200×200×9 (BCR295)					
3C3	□-200×200×9 (BCR295)					
1C4	□-200×200×9 (BCR295)					
RG1	H-250×125×6×9	PL-12×125	6-M16	PL-6×170	2×2-M16 @90	
3G1	H-250×125×6×9	PL-12×125	6-M16	PL-6×170	2×2-M16 @90	
2G1	H-250×125×6×9	PL-12×125	6-M16	PL-6×170	2×2-M16 @90	
RG2	H-244×175×7×11	PL-9×175	4-M20	PL-9×140	2×2-M20 @60	
3G2	H-244×175×7×11					
2G2	H-244×175×7×11					
RB1	H-200×100×5.5×8					
3B1	H-200×100×5.5×8					
2B1	H-200×100×5.5×8					
RCB1	H-250×125×6×9					
3CB1	H-250×125×6×9					
2CB1	H-250×125×6×9					
KB1	H-200×100×5.5×8					

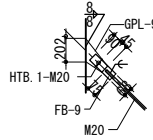
小荷物専用昇降機部材

a	H-100×100×6×8	機械台受梁				
b	H-100×100×6×8	揚重用ビーム				
c	C-100×50×20×3.2	中間ビーム				
d	C-100×50×20×3.2	三方枠取付鋼材				
屋根ブレース	M16 タンバックル付き (JIS規格品)			GPL-6	1-M16	
2.3F床ブレース	M20 タンバックル付き (JIS規格品)			GPL-9	1-M20	

梁継手ねじ本数(N)は下図による。
ねじピッチ・はしあきは規準図参照。



M16



M20

ブレース接合部要領

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事

株式会社 **アスカ** 総合設計 
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号

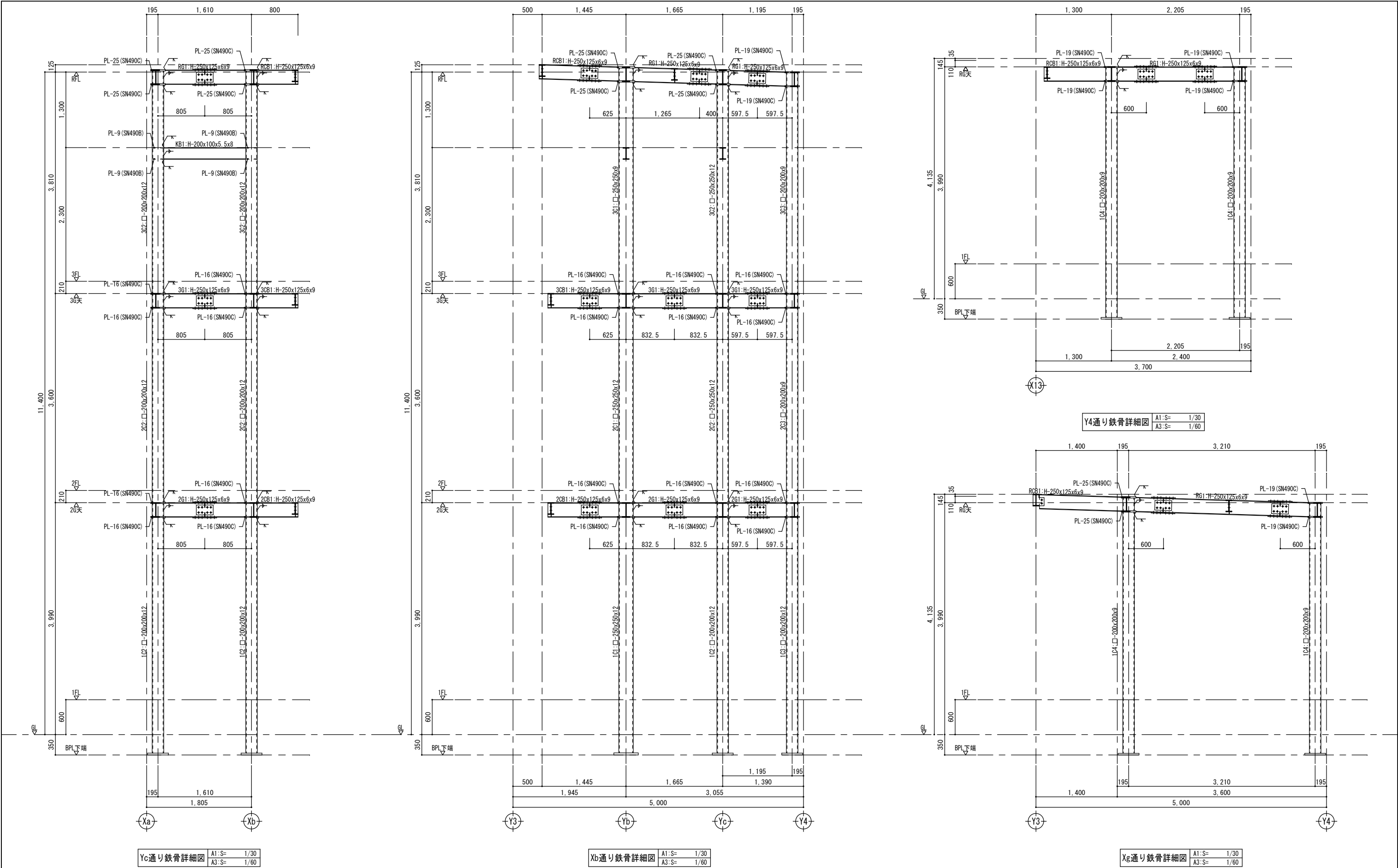
図面名称 基礎・地中梁・部材リスト

設計者 一級建築士 第242755号 矢野 孝義
設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一

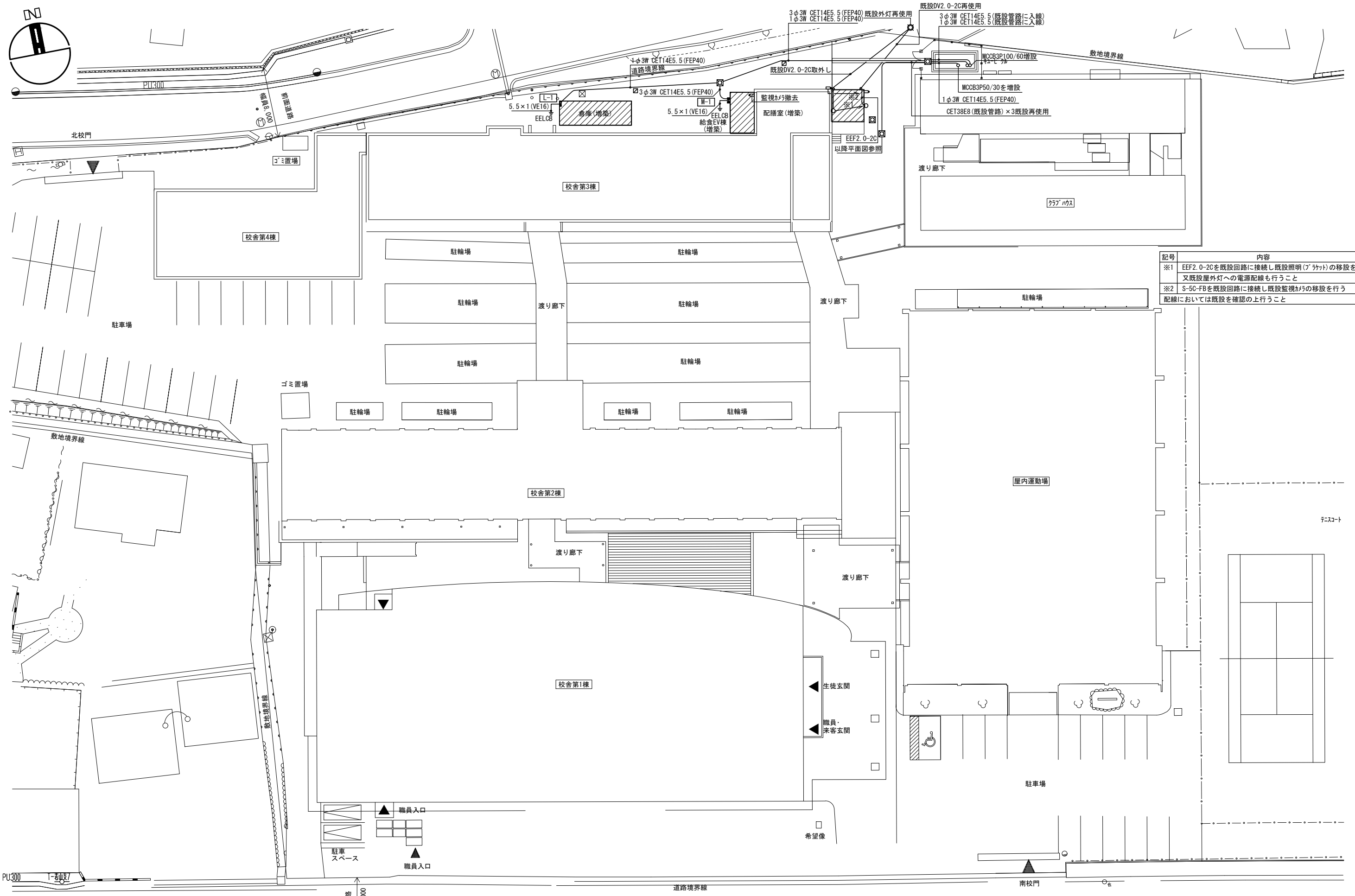
構造設計者
業務年月 (2025)R7年03月
7716番号
2024a011-0325sm

縮尺 A1: 1/30
A3: 1/60

図面番号
S - 08



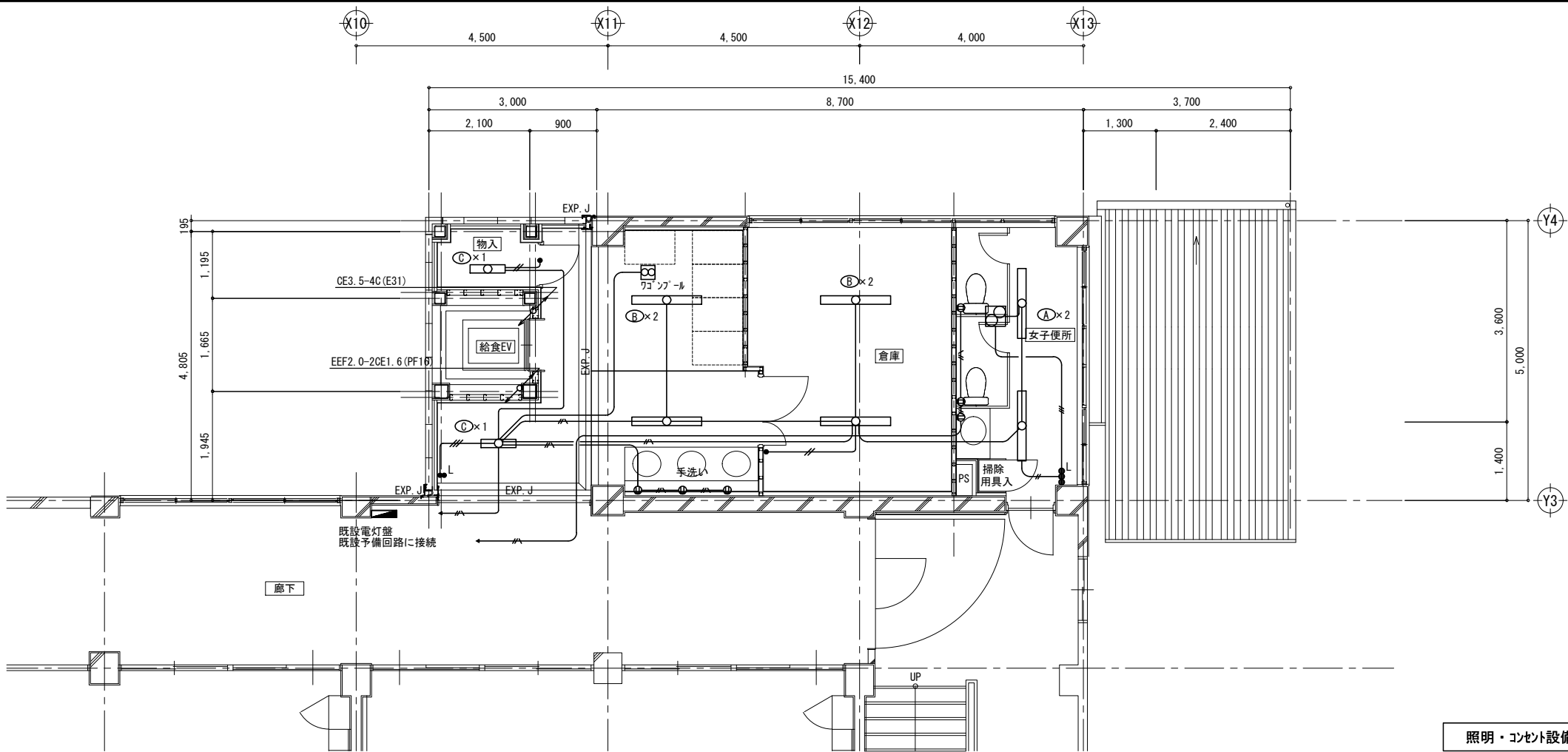
01



記号	内容
※1	EEF2. 0-2Cを既設回路に接続し既設照明(ブラケット)の移設を行う 又既設屋外灯への電源配線も行うこと
※2	S-5C-FBを既設回路に接続し既設監視カメラの移設を行う 配線においては既設を確認の上行うこと

配 置 図	A1:S=	1/100
	A3:S=	1/200

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事		図面名称 配置図		縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
株式会社 アスカ 総合設計	管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義	設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一	設計者	構造設計者	業務年月 (2025)R7年03月
					7714番号 2025a011-0325cs
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号					図面番号 E - 02



照明・コンセント設備 2階平面図

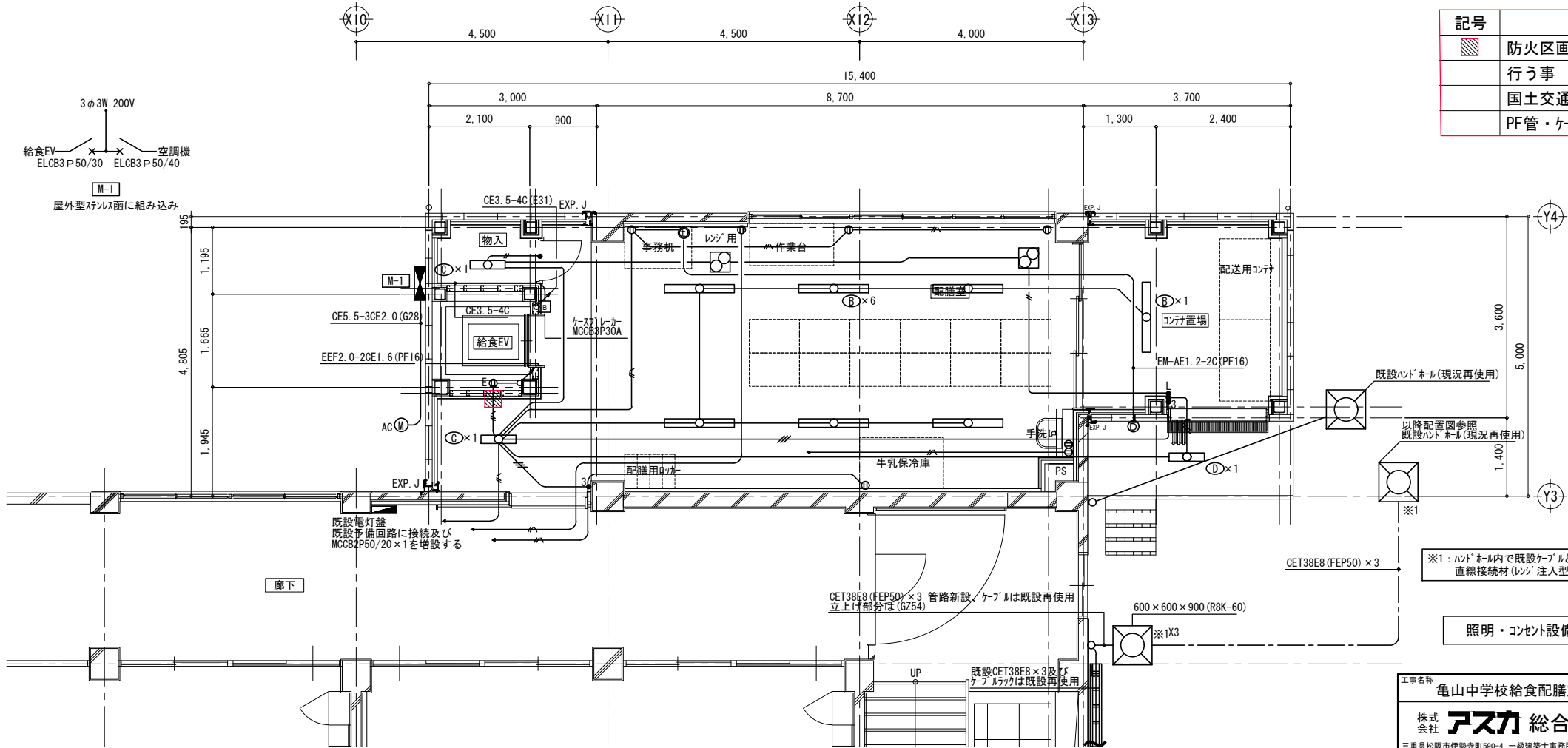
A1:S= 1/50
A3:S= 1/100

特記事項	
図中に特記なき記号は下記による	
	電灯分電盤
	動力分電盤
	手元開閉器
	LED灯ヘッドスライ
●	埋込みスイッチ 1P15A×1
●L	埋込みスイッチ (PL付き) 1P15A×1
●3	埋込みスイッチ 3W15A×1
⊖	埋込コンセント 2P15A×2 接地極・接地端子付
Ⓢ	インターホン モーター付親機 JS-12E相当品
Ⓣ	インターホン カメラ付玄関子機
Ⓜ	埋設標 (地中線) 鉄製

図中記入なき配線は下記とする	
	EEF1.6-2CE1.6
	EEF2.0-2CE1.6
	EEF1.6-3CE1.6
	EEF1.6-2C
	EEF1.6-3C
	EEF1.6-2C×2

2階 照明器具品番

A	女子便所×2
B	ワゴン・ール×2 倉庫×2
C	ワゴン・ール×1 物入×1



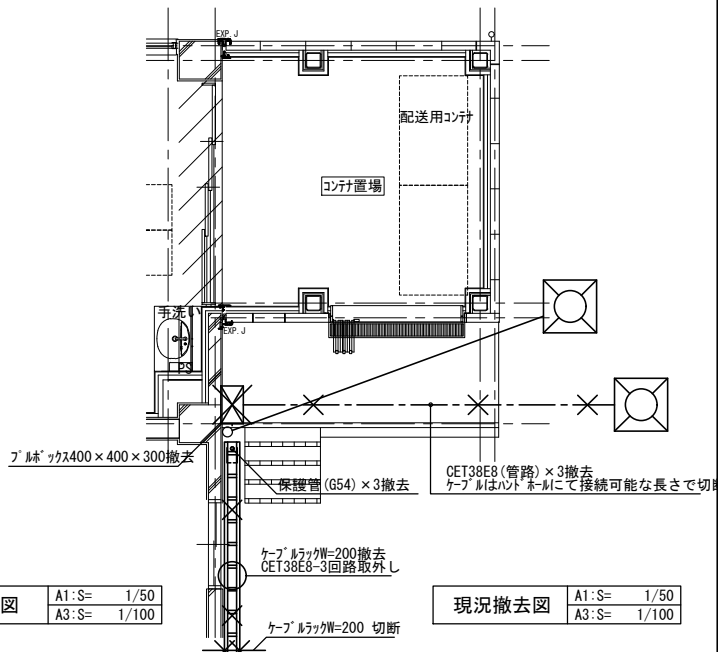
記号	名称
	防火区画貫通箇所を示し防火区画貫通措置工法. を 行う事
	国土交通大臣認定品による
	PF管・ケーブル用 PS060WL-0213 PS060WL-0297 相当品

1階 照明器具品番

B	配膳室×7
C	配膳室×1 物入×1
D	外部×1

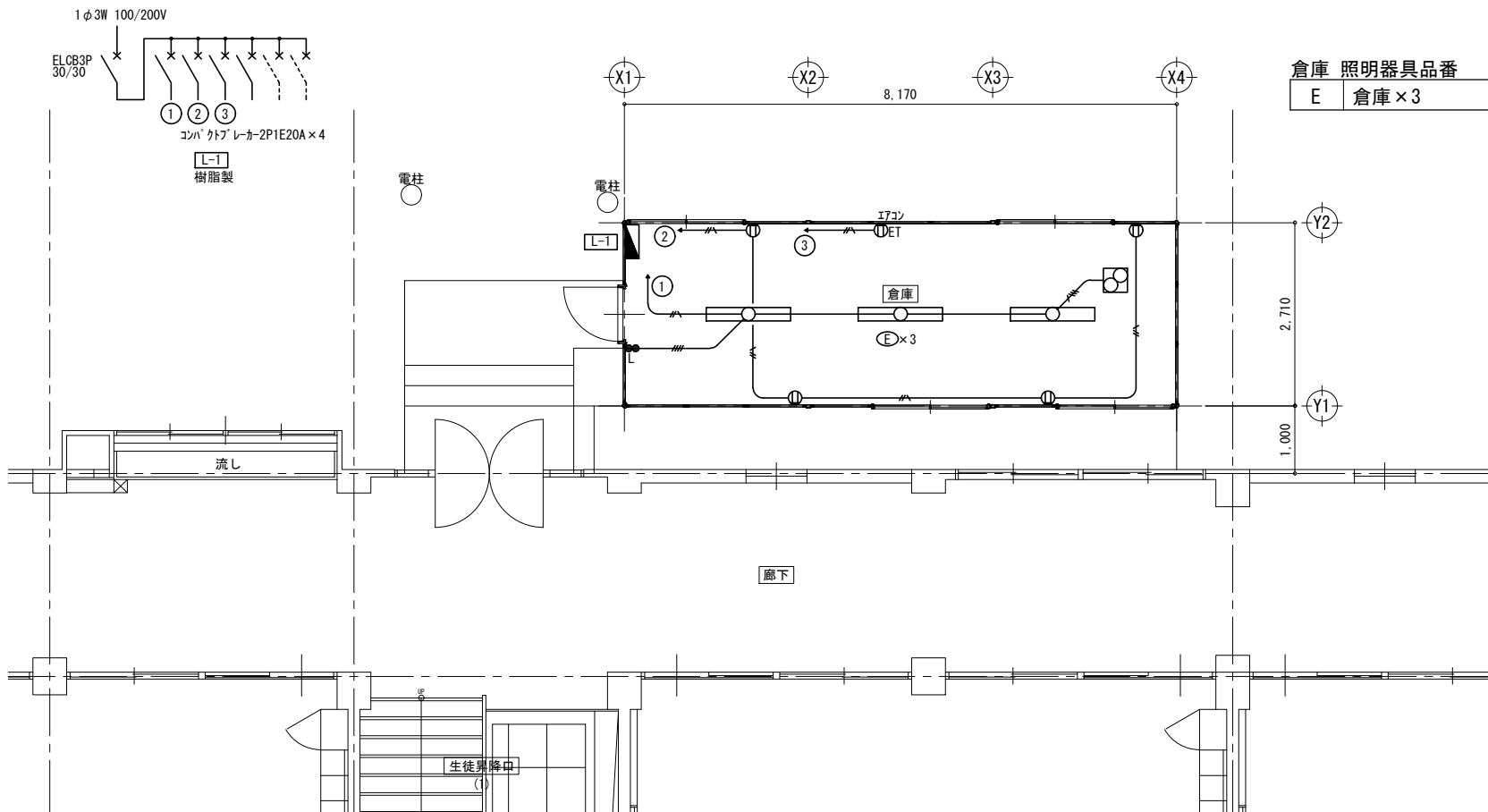
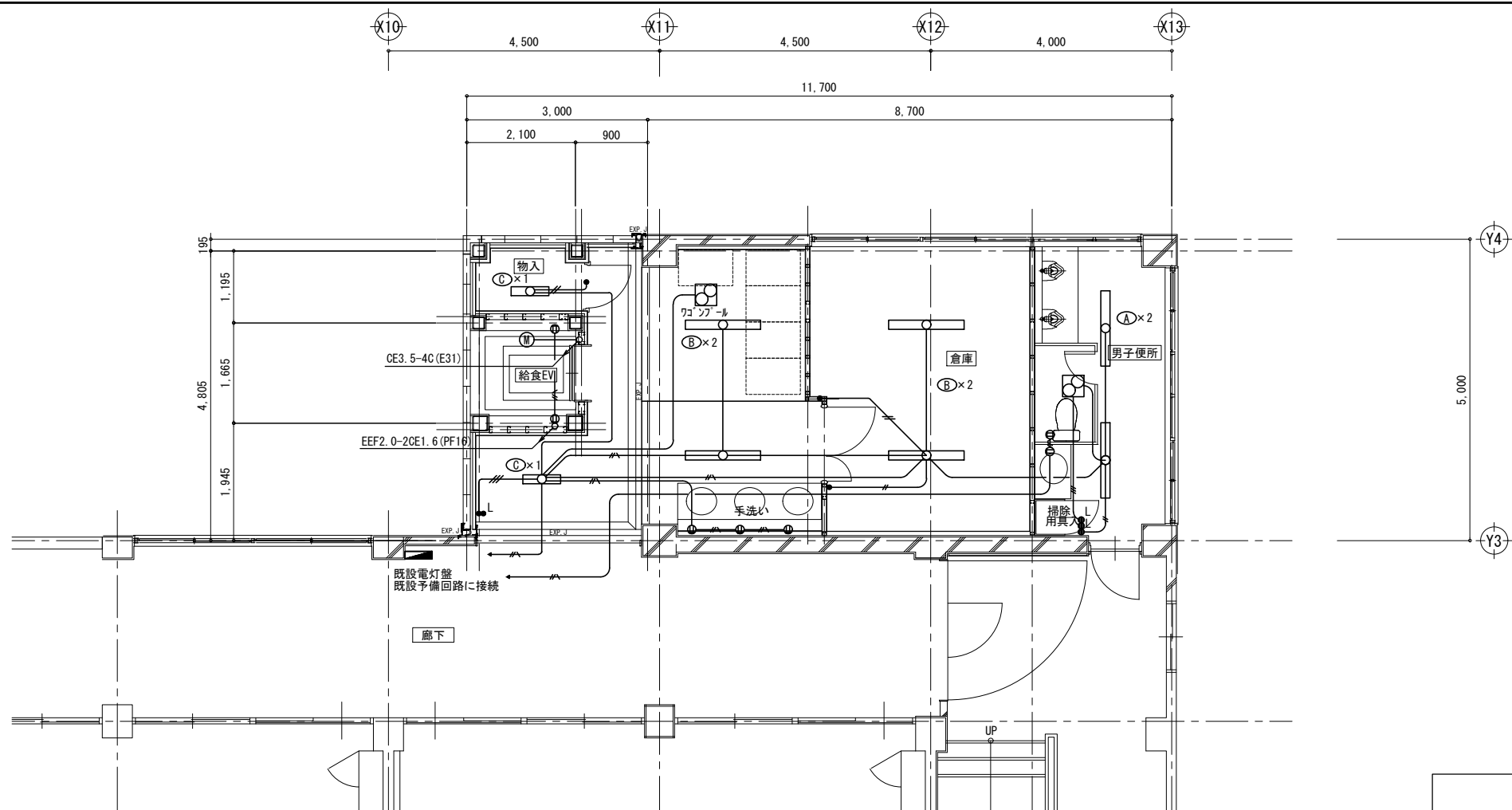
照明・コンセント設備 1階平面図

A1:S= 1/50
A3:S= 1/100



現況撤去図

A1:S= 1/50
A3:S= 1/100



特記事項	
図中に特記なき記号は下記による	
	電灯分電盤
	LED灯ヘッドスライ
●	埋込みスイッチ 1P15A×1
●L	埋込みスイッチ(PL付き) 1P15A×1
⊖	埋込コンセント 2P15A×2 接地極・接地端子付
⊖ET	埋込コンセント 15A・20A兼用 接地端子付

図中記入なき配線は下記とする	
	EEF1.6-2CE1.6
	EEF2.0-2CE1.6
	EEF1.6-2C
	EEF1.6-3C

3階 照明器具品番	
A	男子便所×2
B	コングレール×2 倉庫×2
C	コングレール×1 物入×1

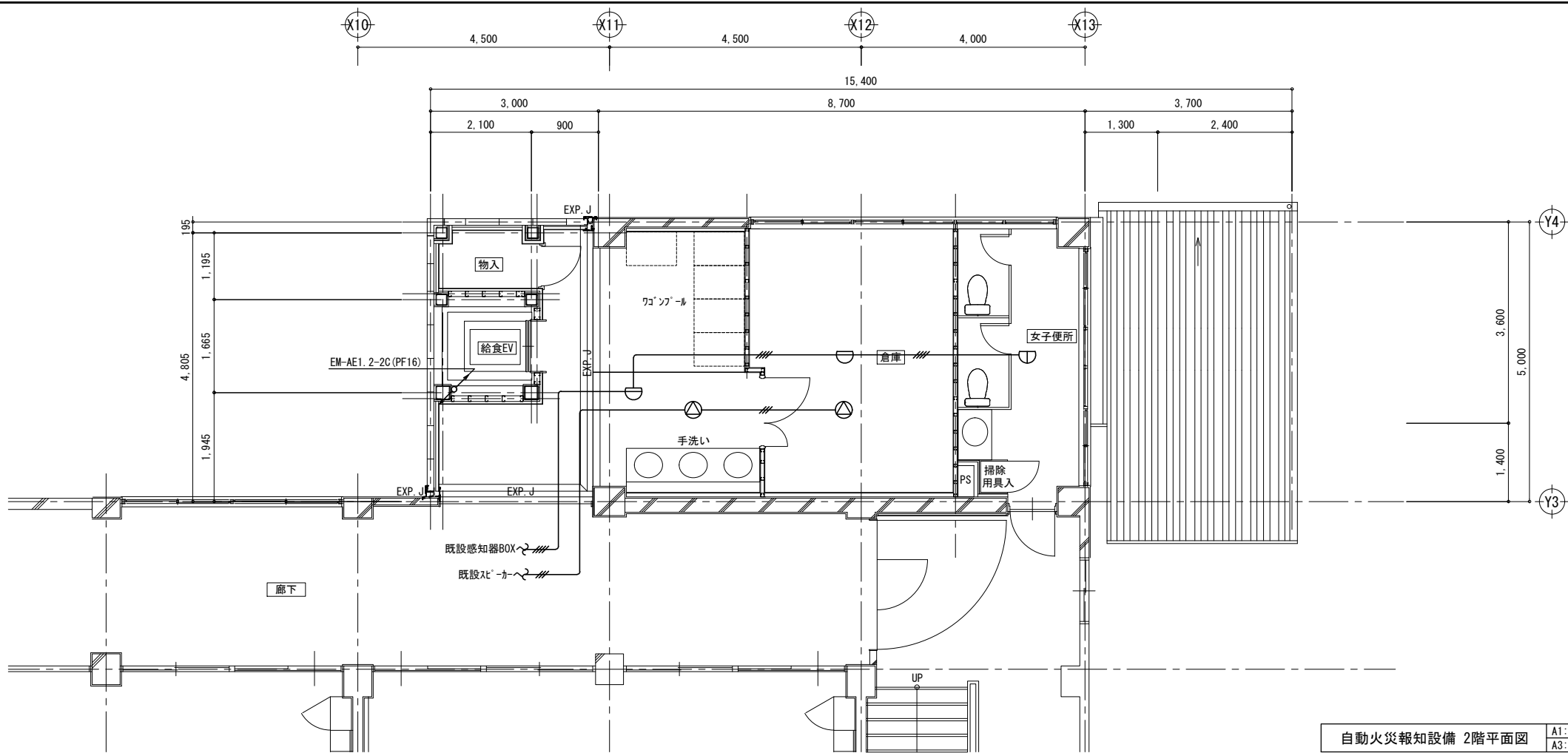
照明・コンセント設備 3階平面図	A1:S= 1/50 A3:S= 1/100
------------------	---------------------------

倉庫 照明器具品番	
E	倉庫×3

	ひとセンサ付、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵
A	LDS1-LSS9-4-29	B	LSS9-4-30
	一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装） 防湿型・防雨型ライトバー：ポリカーボネート（乳白） ナアクリルコーティング 光源寿命40000時間（光束維持率85%） IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵
C	LSS9-2-15	D	LSS9MP/RP-2-14
	一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵		
E	LSS9-4-65		

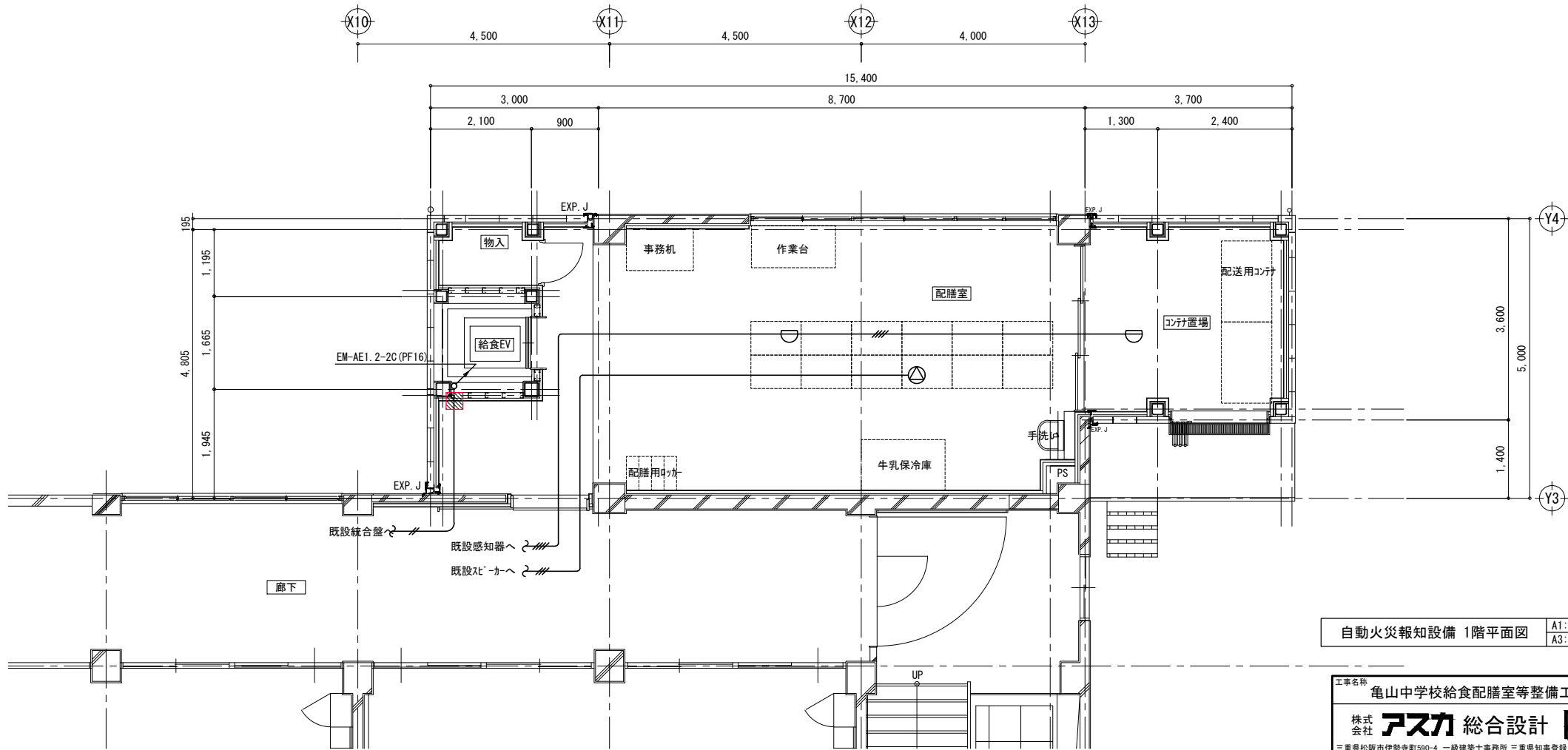
照明・コンセント設備 倉庫平面図	A1:S= 1/50 A3:S= 1/100
------------------	---------------------------

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事		図面名称 照明・コンセント設備 3階平面図・照明器具姿図		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	
株式会社 アスカ 総合設計		管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義	設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一	設計者 構造設計者	業務年月 (2025)R7年03月 7ヶ月未満 2024a001-0101ty
三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号		E - 04			



自動火災報知設備 2階平面図

A1:S= 1/50
A3:S= 1/100



自動火災報知設備 1階平面図

A1:S= 1/50
A3:S= 1/100

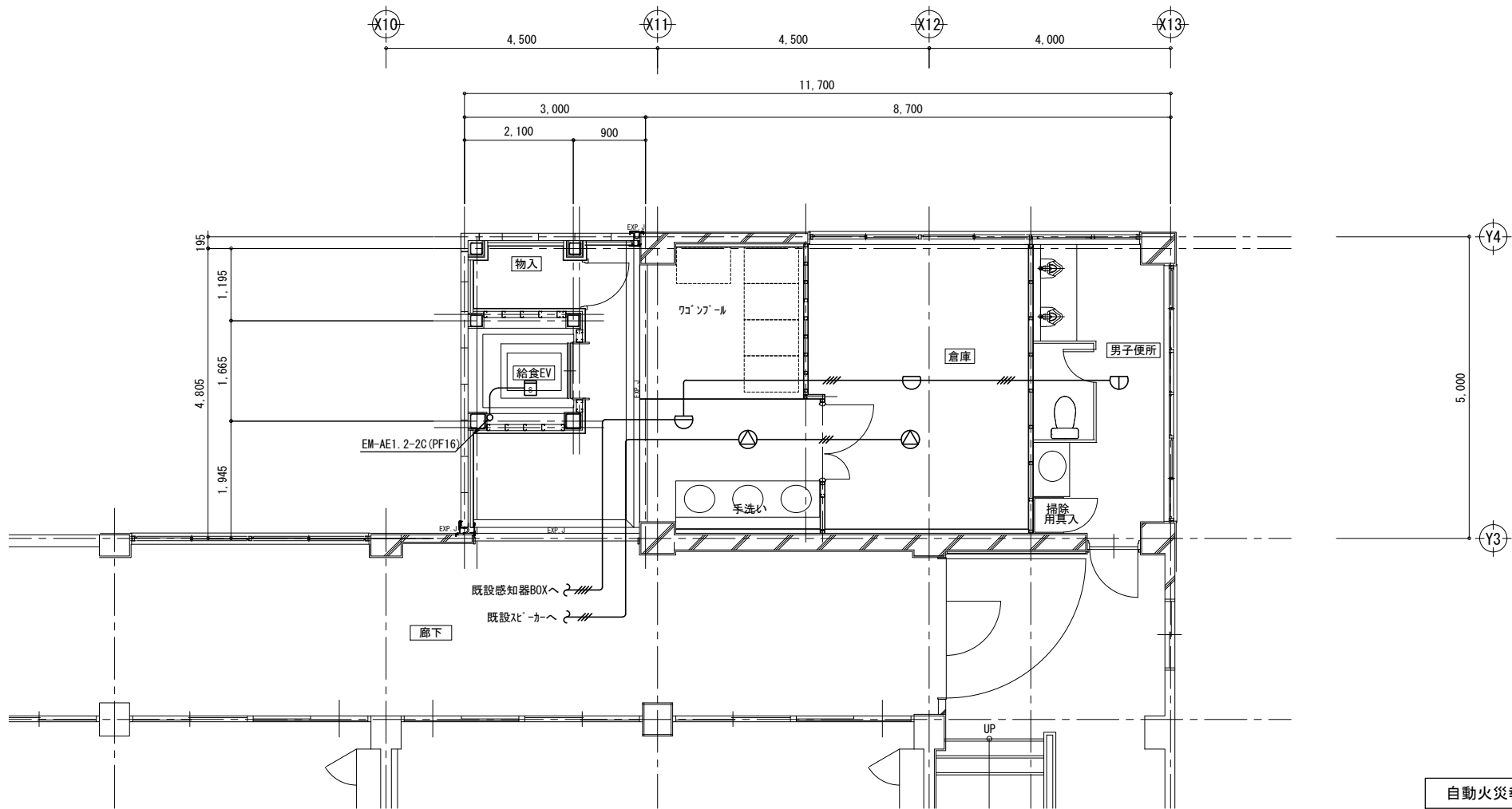
記号	名称
☐	感知器 差動式スホット型2種
☐	感知器 定温式スホット型1種 防水型
☐	感知器 煙2種
☐	天井埋込スピーカー

図中記入なき配線は下記とする	
—//—	EM-HP1. 2-3C 拡声設備
—//—	EM-AE1. 2-2C 自動火災報知設備
—//—	EM-AE1. 2-4C 自動火災報知設備

記号	名称
☐	防火区画貫通箇所を示し防火区画貫通措置工法. を行う事
	国土交通大臣認定品による
	PF管・ケーブル用 PS060WL-0213 PS060WL-0297 相当品

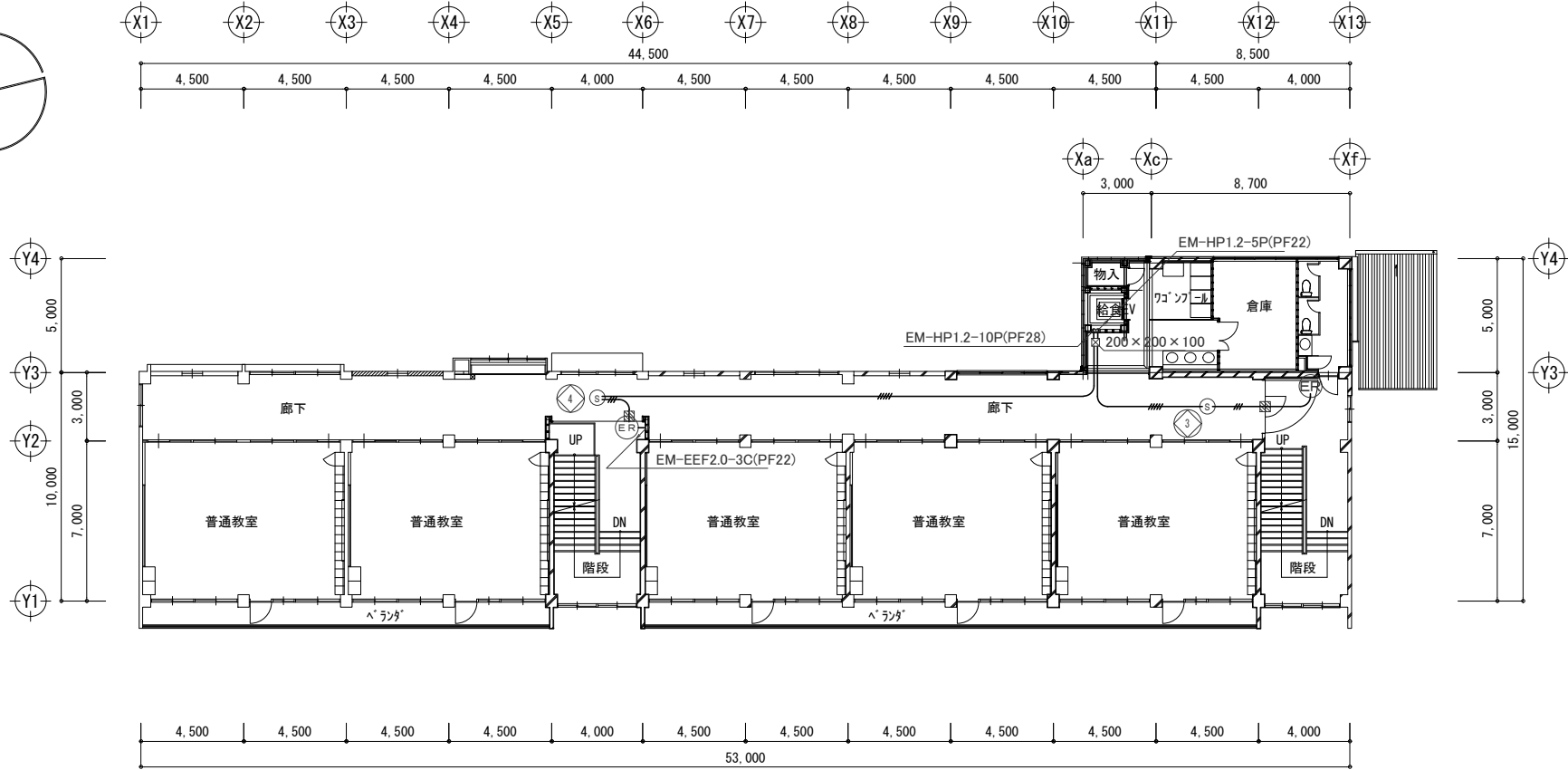
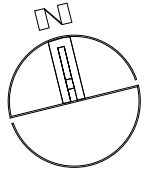
記号	名称
☐	感知器 差動式スホット型2種
☐	感知器 定温式スホット型1種 防水型
☐	感知器 煙2種
⊙	天井埋込スピーカー

図中記入なき配線は下記とする		
———	EM-HP1. 2-3C	拡声設備
———	EM-AE1. 2-2C	自動火災報知設備
———	EM-AE1. 2-4C	自動火災報知設備



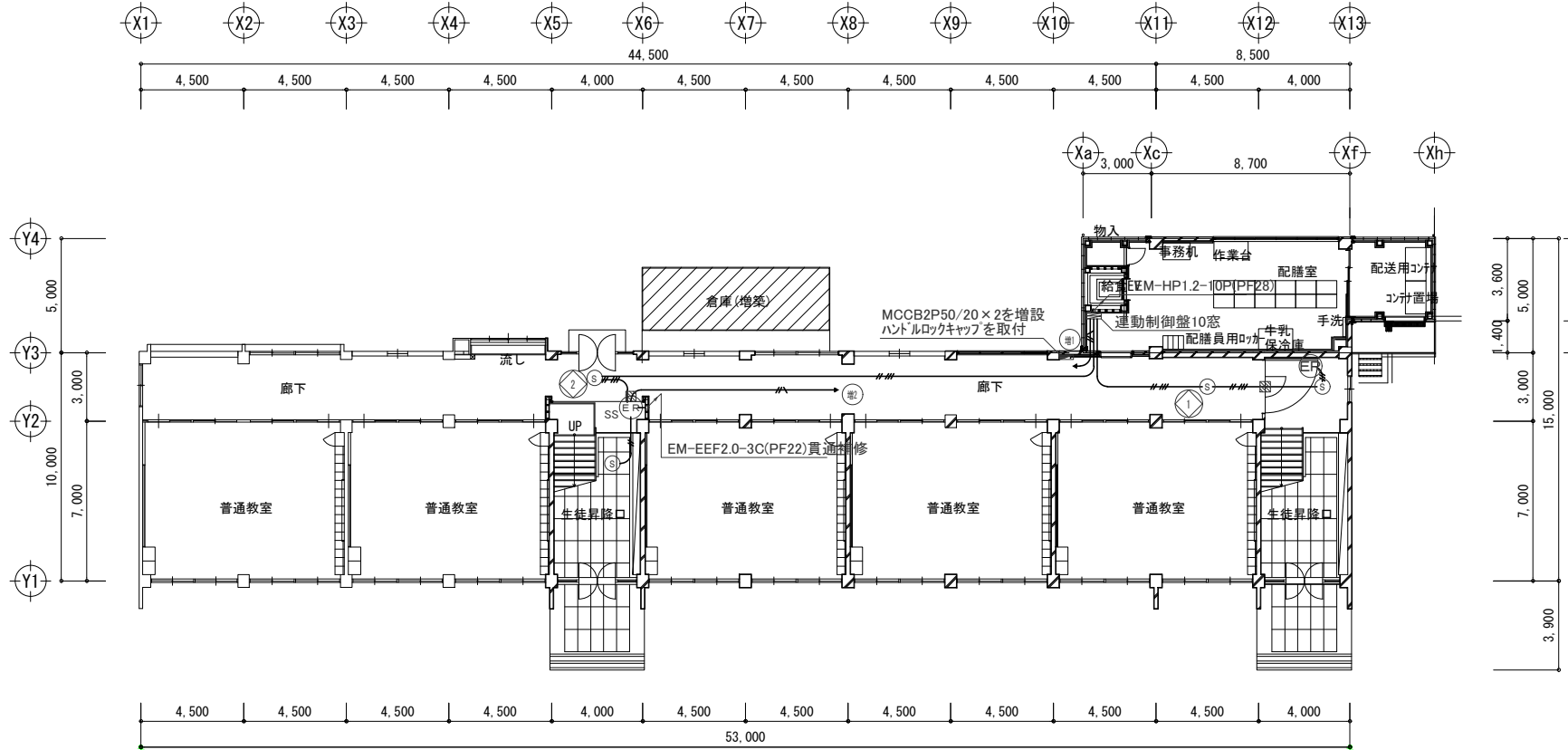
自動火災報知設備 3階平面図	A1:S=	1/50
	A3:S=	1/100

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事			図面名称 拡声設備・自動火災報知設備 3階平面図			縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	
株式会社 アスカ 総合設計 	管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義		設計者 一級建築士 第00981号 谷川 精一	構造設計者	登録年月 (2025)R7年03月 7ヶ月未満 2024a001-0101ty	図面番号 E - 06	
	三重県松阪市伊勢寺町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号						



2階平面図(改修後)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300

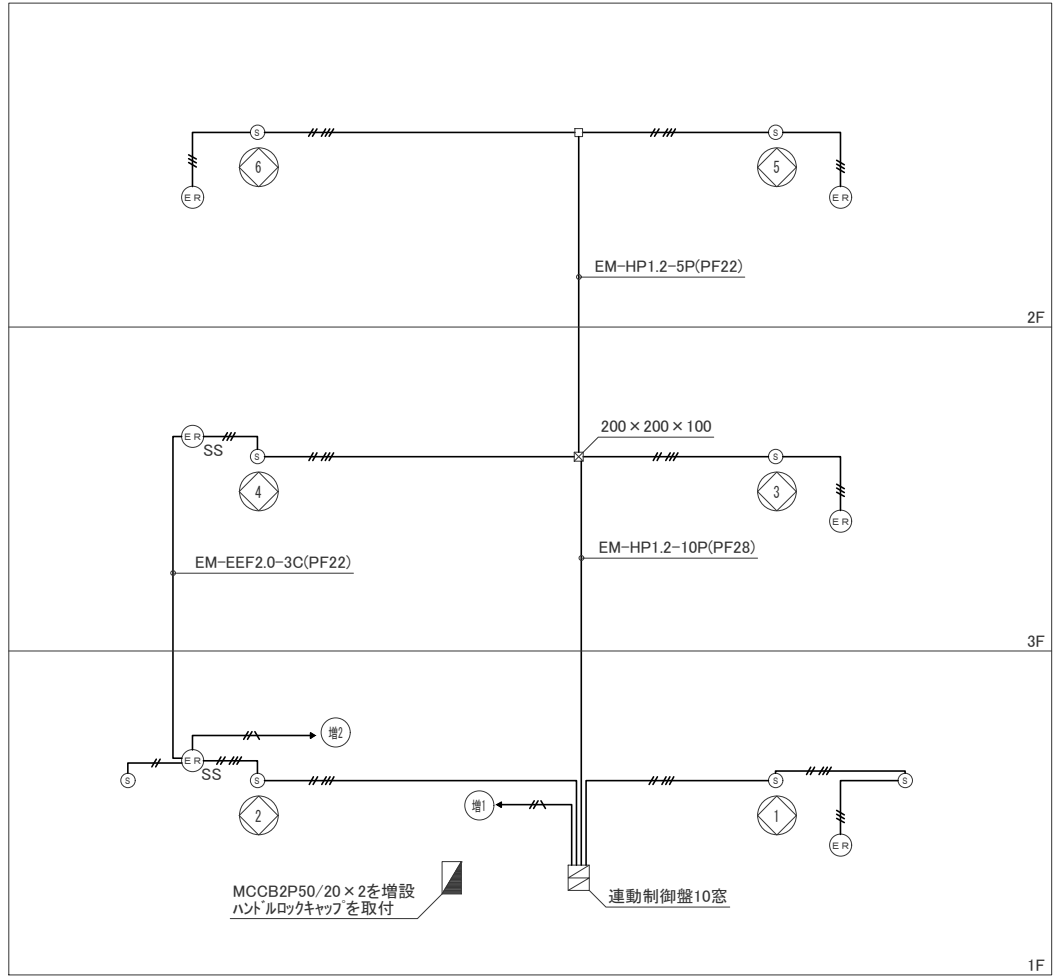


1階平面図(改修後)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300

記号	名称
	防火戸連動制御盤 10窓
	煙感知器 3種
	ドアアクチュエーター ラッチ式
	防火スクリーン 建築工事
	ボルトボックス
	ジョイントボックス
	動作区域番号

記号	名称
	防火区画貫通箇所を示し防火区画貫通措置工法. を行う事
	国土交通大臣認定品による
	PF管・ケーブル用 PS060WL-0213 PS060WL-0297 相当品



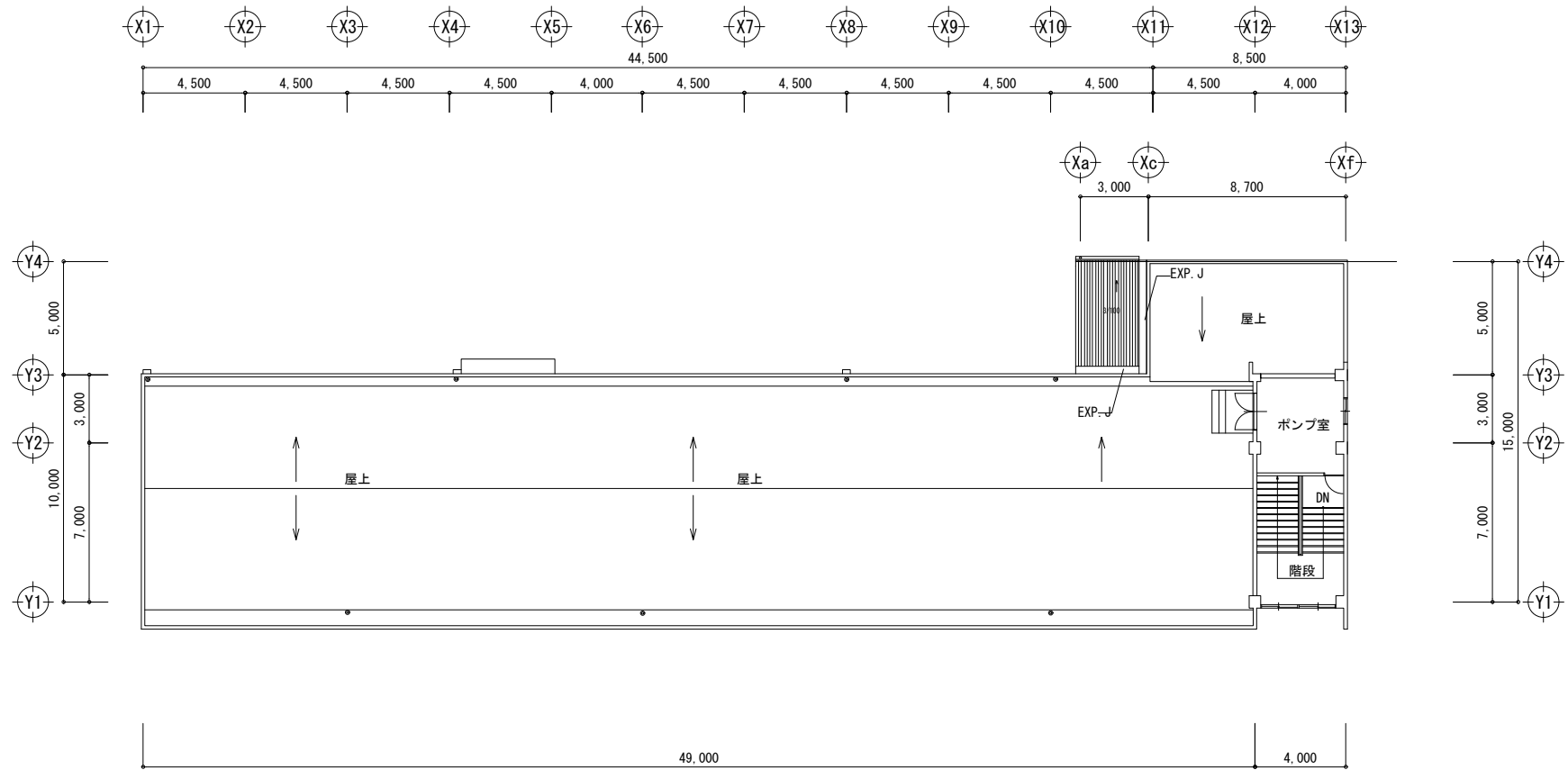
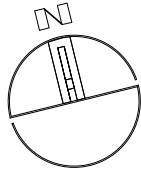
自動閉鎖設備 系統図

A1:S= 1/100
A3:S= 1/200

図中記入なき配線は下記とする

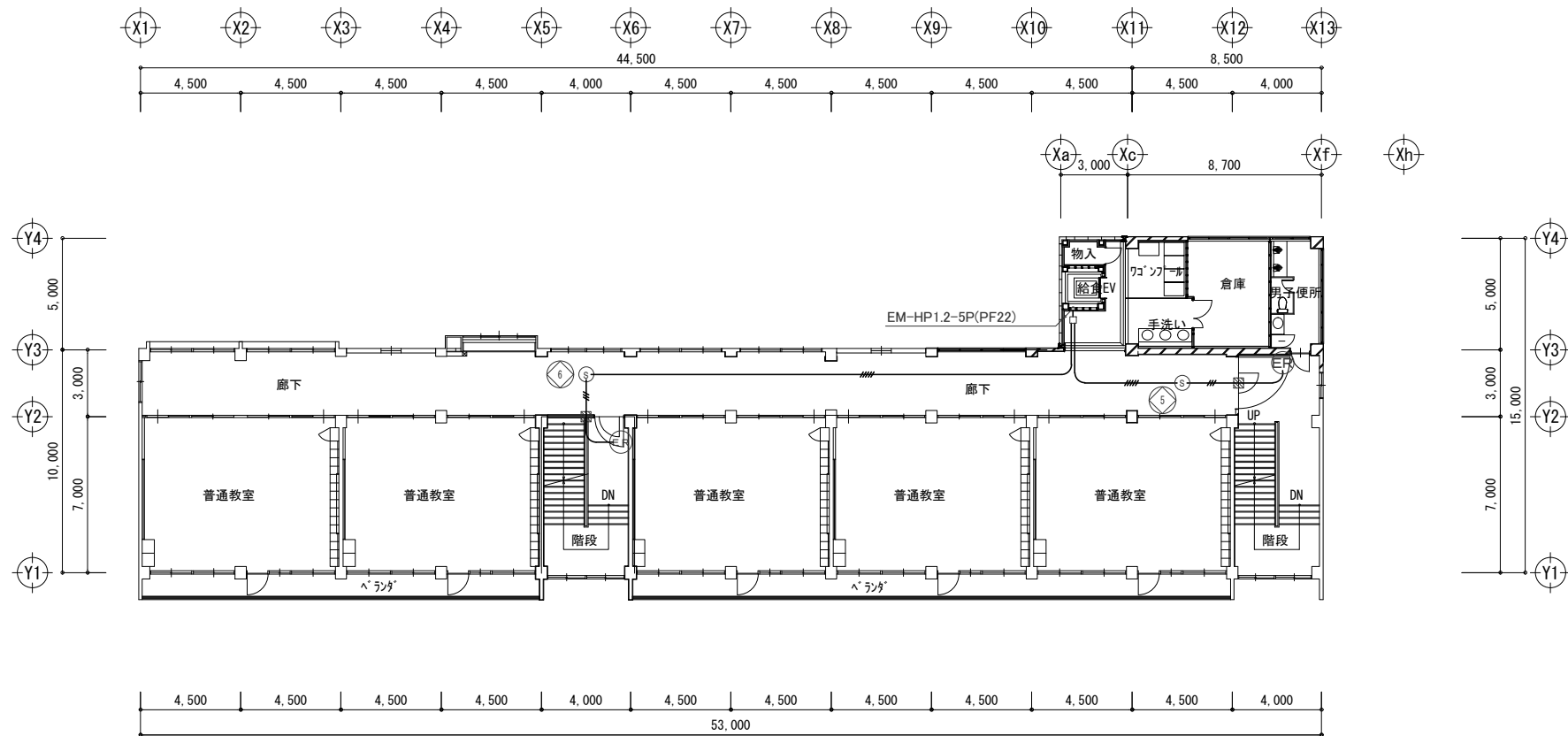
- // — EM-AE1.2-2C
- /// — EM-HP1.2-3C
- /// — EM-HP1.2-5C
- \ — EM-EEF2.0-3C 内1Cは接地線

壁内部及びコンクリート部分はPF管にて保護



屋根伏図(改修後)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300



3階平面図(改修後)

A1:S= 1/150
A3:S= 1/300

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事			図面名称 自動閉鎖設備 3階平面図(改修後)			縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	
株式会社 アスカ 総合設計		管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義	設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一	設計者	構造設計者	業務年月 (2025)R7年03月 7/16番号 2024a001-0101ty	図面番号 E - 08
三重県松阪市伊勢町590-4 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-1287号							

機械設備工事特記仕様書 1 工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事 2 工事場所 三重県亀山市西丸町564番地 3 建築概要 配膳室 S造3F 延べ床面積 45.00㎡ 増築、配膳室 S造平屋 延べ床面積 13.32㎡ 増築 配膳室 RC造3F 延べ床面積 130.50㎡ 改修、倉庫 S造平屋 延べ面積 22.14㎡ 増築 消防令の適用 ＊ 項 ＊ 庇 S造平屋 延べ面積 5.00㎡ 増築 4 適用基準 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月制定版） 国土交通大臣官庁庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針 令和4年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」 なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。 5 一般事項 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に 念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤 記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで得る不具合が発生すると と判断する場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用 上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお調整不足による悪影響の仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行う こと。 (1) 提出図書 ① 工事書類： ・ 施工計画書 ・ 打合記録 ・ 工事材料搬入報告書 ・ 工程表 ・ 試験結果・施工結果報告書（出来形・品質確認書類） ・ 機器明細図 ・ 使用機材届出書 ・ 段階確認書 ・ 工事写真（データ） 等 2) 工事完成図書： （各2部） ・ 完成図（竣工図） ・ 施工図 ・ 機器完成図（ファイル等） ・ 保守に関する説明書（取扱説明書・保証書） ・ 機器性能試験成績書 ・ 総合試運転調整報告書 ・ 官公署届出書類控、検査済証 ・ 出来形確認書類 等 ※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。 ※ 工事書類は営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編、工事完成図書編） に基づき電子納品（3部）すること。 ※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（国土交通大臣官庁庁営繕部監修（令和5年版）） に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板 情報電子化について（令和5年3月1日付付国営建技第14号）」による。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。 ※ 完成図作図範囲は設計図面同程度とする。
--

(2) 機器及び材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現
 品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。
 なお、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定に
 あたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に
 関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。また、重
 量機器については、機器搬付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

(3) 官公署等への届出手続

工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成

○ 本工事

○ 建築工事・電気設備工事・機械設備工事

・ 別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。

(4) 品質管理

工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。
 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

(5) 出来形管理

以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。

1) 各種機器据付

耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
 基礎状況 水平、垂直等

2) 配管・ダクト工事

支持間隔 振れ止め支持間隔

3) 屋外排水工事

排水勾配 樹の深さ

4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ

(6) 製品確認

発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等
 を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。
 □ 適用する ■ 適用しない

(7) 耐震安全性の分類

構造体（Ⅱ）類 建築非構造部材（A）類 建築設備（乙）類

(8) 機器の地震力（主要機器）

機器名 ガスヒートポンプエアコン屋外機
 設置階（上層階） 設計標準震度Ks（2.0） 地域係数（1.0）
 水槽類
 設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（1.0）
 その他監督員が指示するもの

(9) 冷媒（フロン類）の回収

□ 適用する

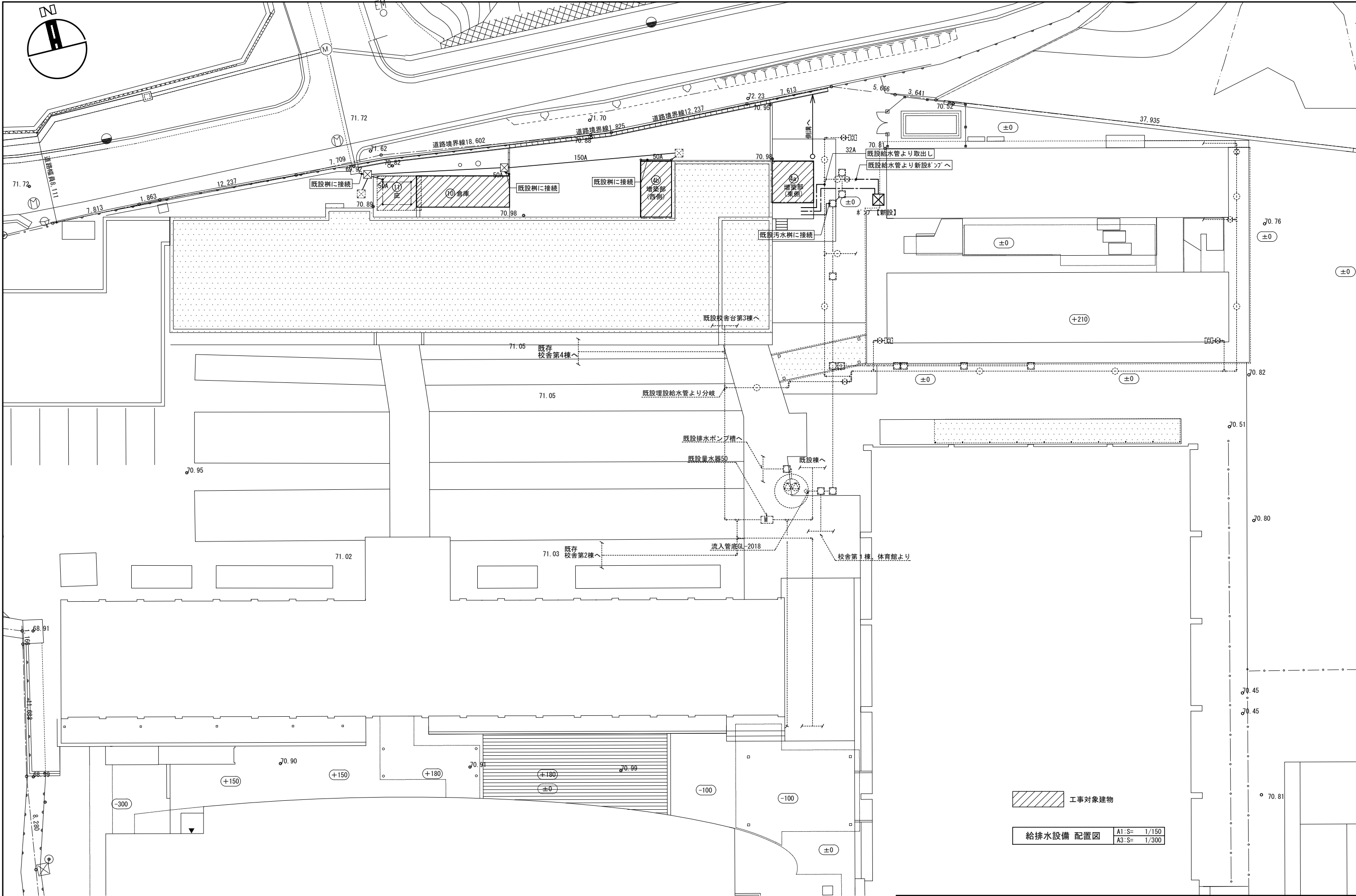
■ 適用しない

冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを
 監督員に提出すること。
 ・ フロン回収行程管理票
 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
 撤去する前にフロンを屋外ユニットに集約する作業（ポンプダウン）を行うこと。
 バッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大
 気中への飛散を防止する措置を講じること。

(10) 中間技術検査

実施回数（ ）回
 実施する段階（ ）

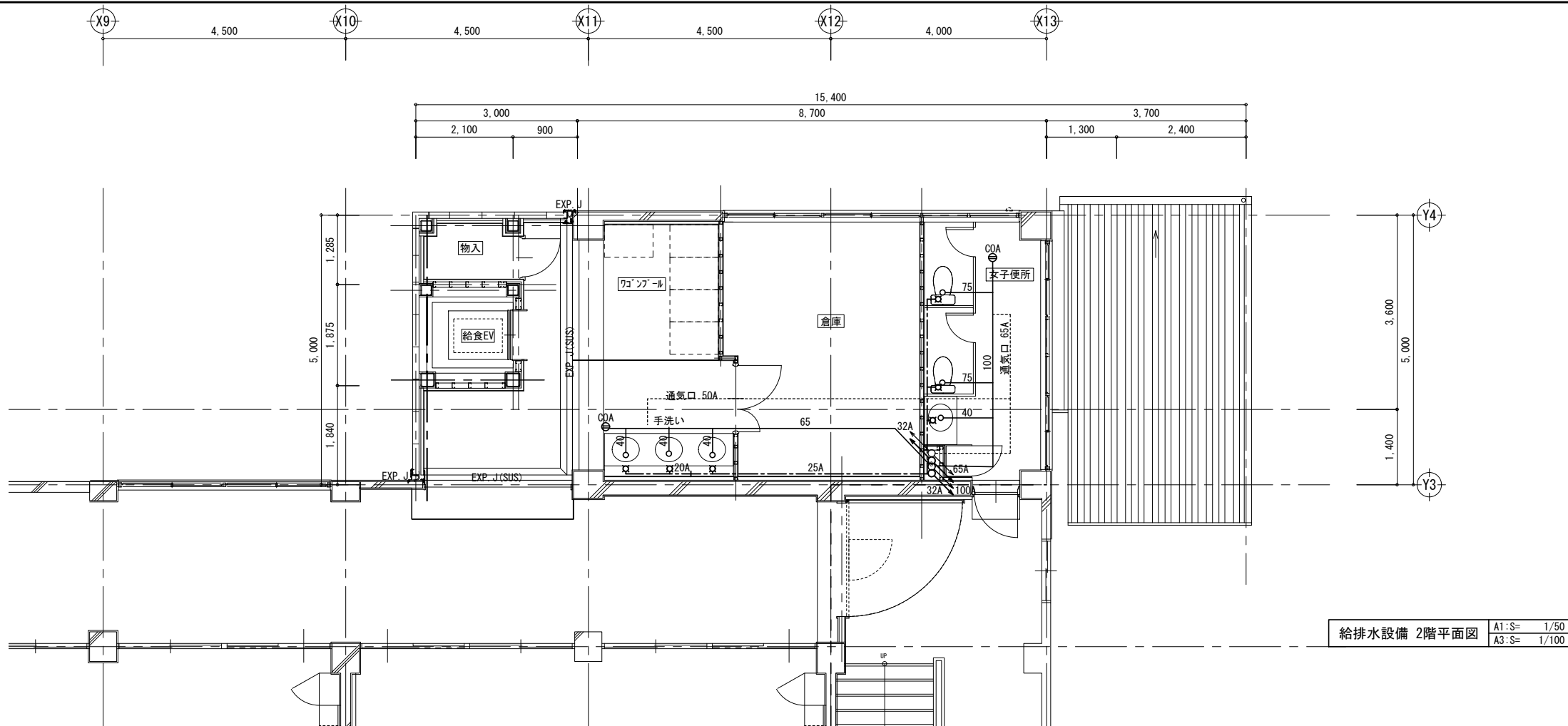
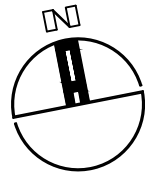
 (11) 足場等 ■ 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で使用する。 □ 本工事で設置する。 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、 解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基 準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）第1編 2. 2. 1より足場の種別は以下による。 □ 内部足場 （ □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種 □ G種 ） □ 外部足場 （ □ A種 □ B種 □ C種 □ D種 □ E種 □ F種 ） □ 防護シート 設置範囲 □ 工事に必要な範囲 □（ ） 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能基準制用 器具はフルハーネス型とし、「基準制用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号） によるものとする。 (12) 特定建設資材の再資源化等 ■ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る 資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。） 施行令で定める建設工事の規模に関する基準により工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別 解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と 協議するものとする。 1) 分別解体等の方法 | 工 程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 | |--------|--------|--------------| | □ 新 築 | 建築設備工事 | | | ■ 増 築 | ■ 有 | □ 手作業 | | □ 修 繕 | □ 無 | ■ 手作業、機械作業併用 | | □ 模様替え | | | 2) 再資源化を図る特定建設資材（ □ コンクリート塊 ■ アスファルトコンクリート塊 □ 建設発生木材 ） (13) 発生材の処理等 1) 引渡しを要するもの（ ） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物（ ） 処理方法（ ） なお施工に際しては、廃石綿等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等が発見した場合は、監督員に報告 して対応を協議するものとする。 3) 建設発生土（ □ 構内敷きならし □ 処分地指定 処分地（ ） ■ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離（4.0）km。） 4) 現場内において再利用を図るもの（ ） 5) 再資源化を図るもの（ □ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊 □ 建設発生木材 ） 6) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものにつ いては調査を作成し、監督員へ提出すること。 7) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資 源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令による ほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。 (14) 電気保安技術者 ■ 配置する □ 配置しない (15) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 ■ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし 2) 施工可能時間帯 ■ 指定なし □ 指定あり（ 時 ～ 時 ） (16) 概成工期 |



工事対象建物

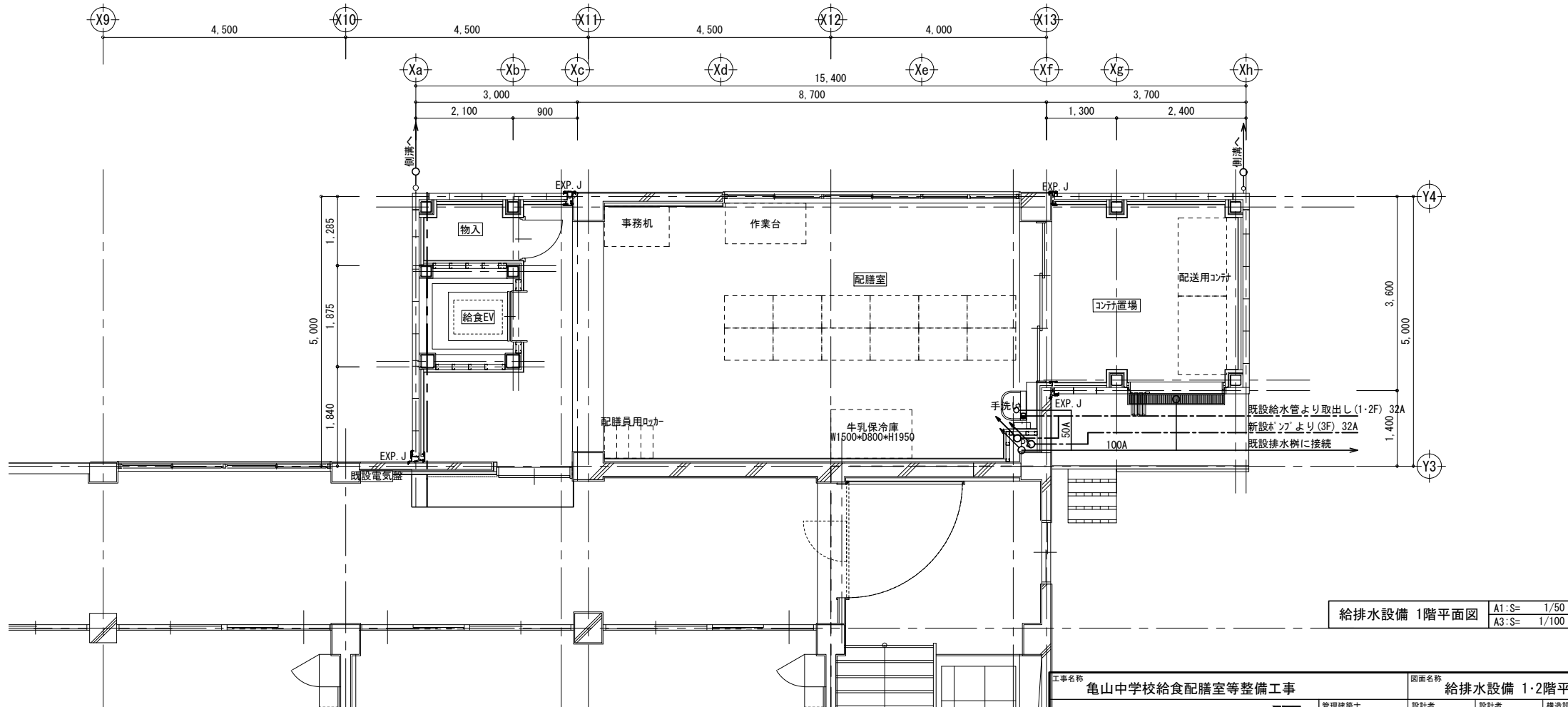
給排水設備 配置図
A1:S= 1/150
A3:S= 1/300

工事名称 亀山中学校給食配膳室等整備工事		図面名称 給排水設備 配置図		縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	
株式会社 アスカ 総合設計	管理建築士 一級建築士 第242755号 矢野 孝義	設計者 一級建築士 第90981号 谷川 精一	設計者	構造設計者	業務年月 (2025)R7年03月 7ヶ月 2024a011-0407ty
		図面番号 M - 02			



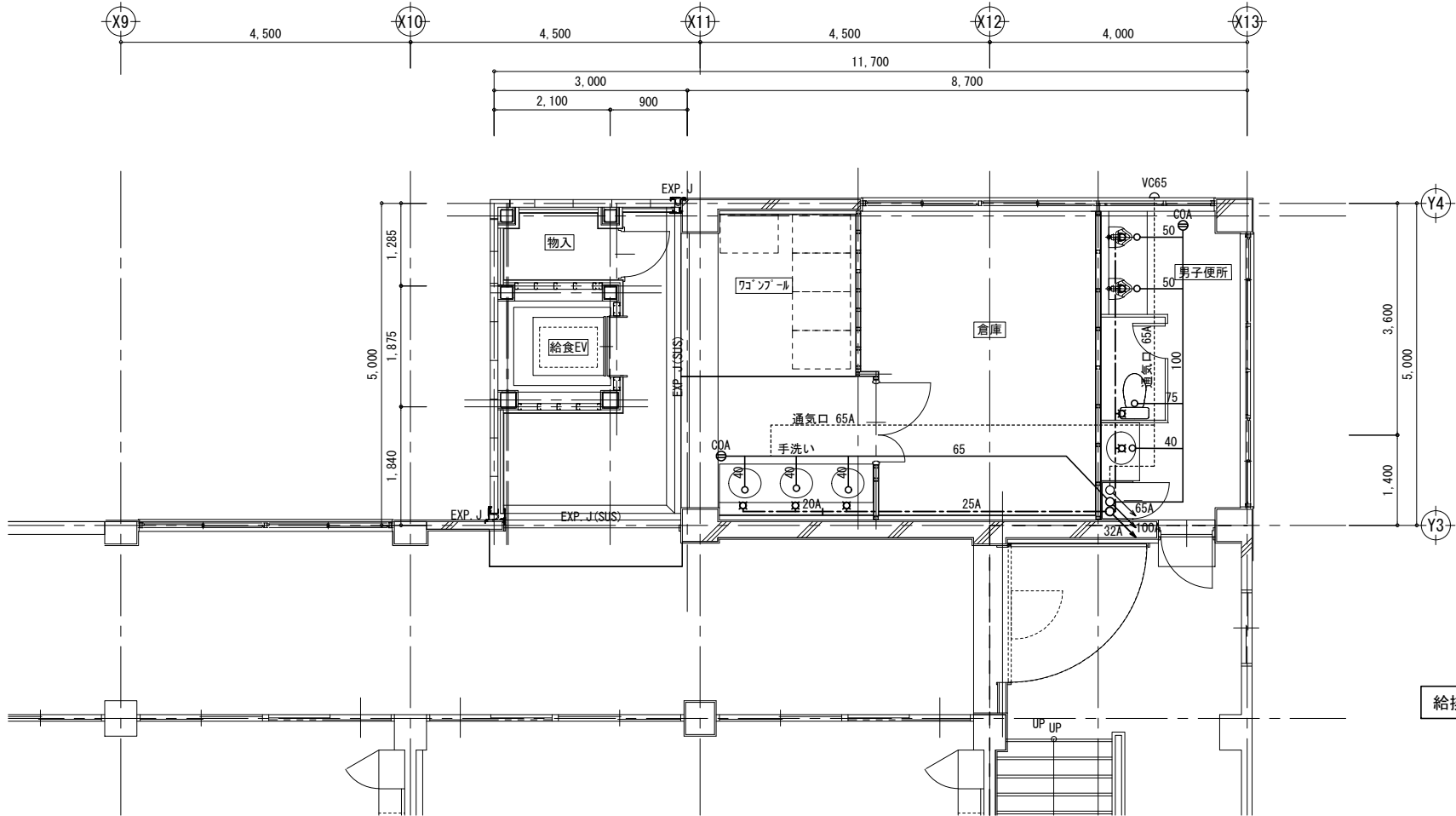
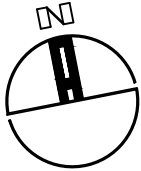
給排水設備 2階平面図

A1:S=	1/50
A3:S=	1/100



給排水設備 1階平面図

A1:S=	1/50
A3:S=	1/100



給排水設備 3階平面図

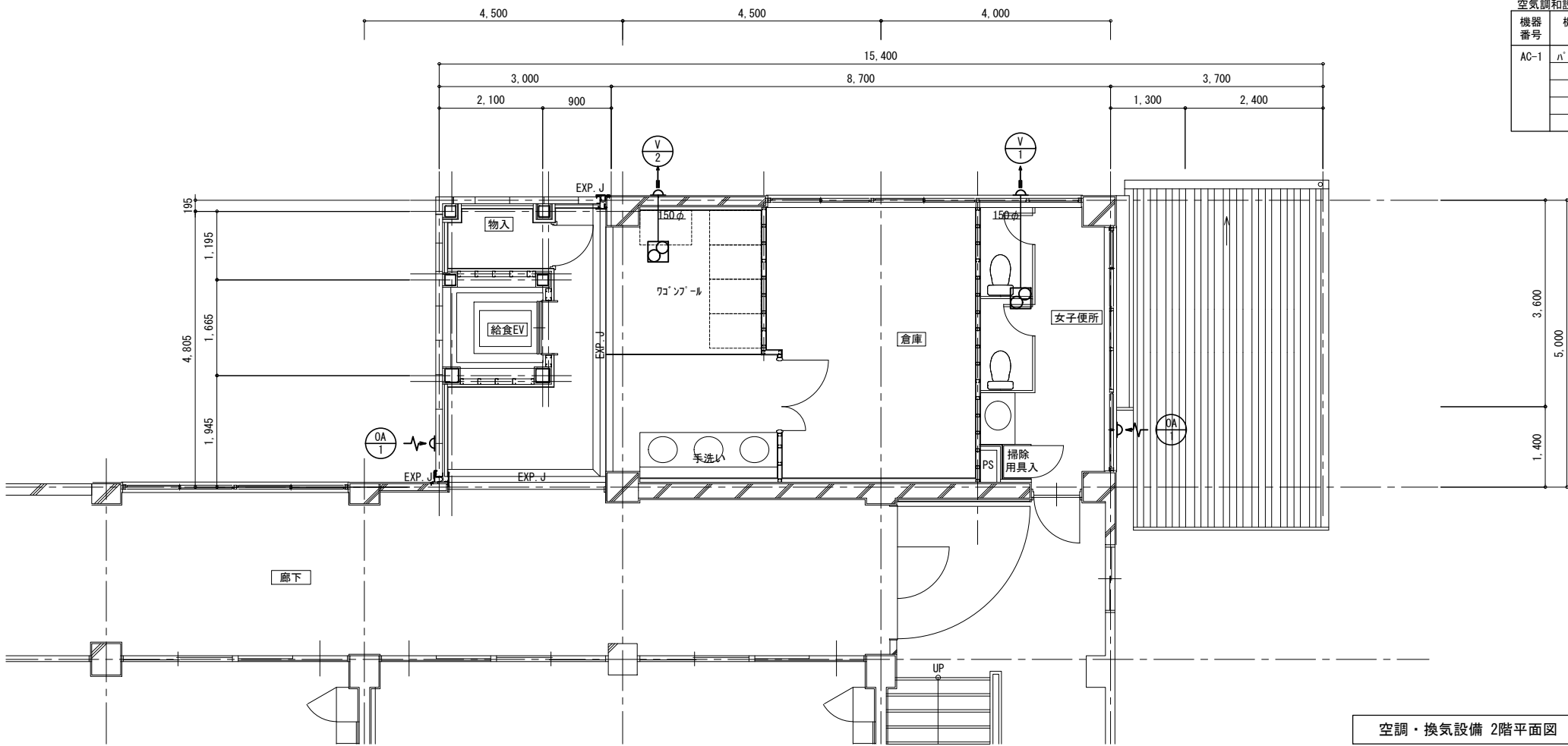
A1:S=	1/50
A3:S=	1/100

凡 例

記 号	名 称
-----	給 水 管
_____	排 水 管
□	給 水 栓
-----	通 気 管

衛生器具表

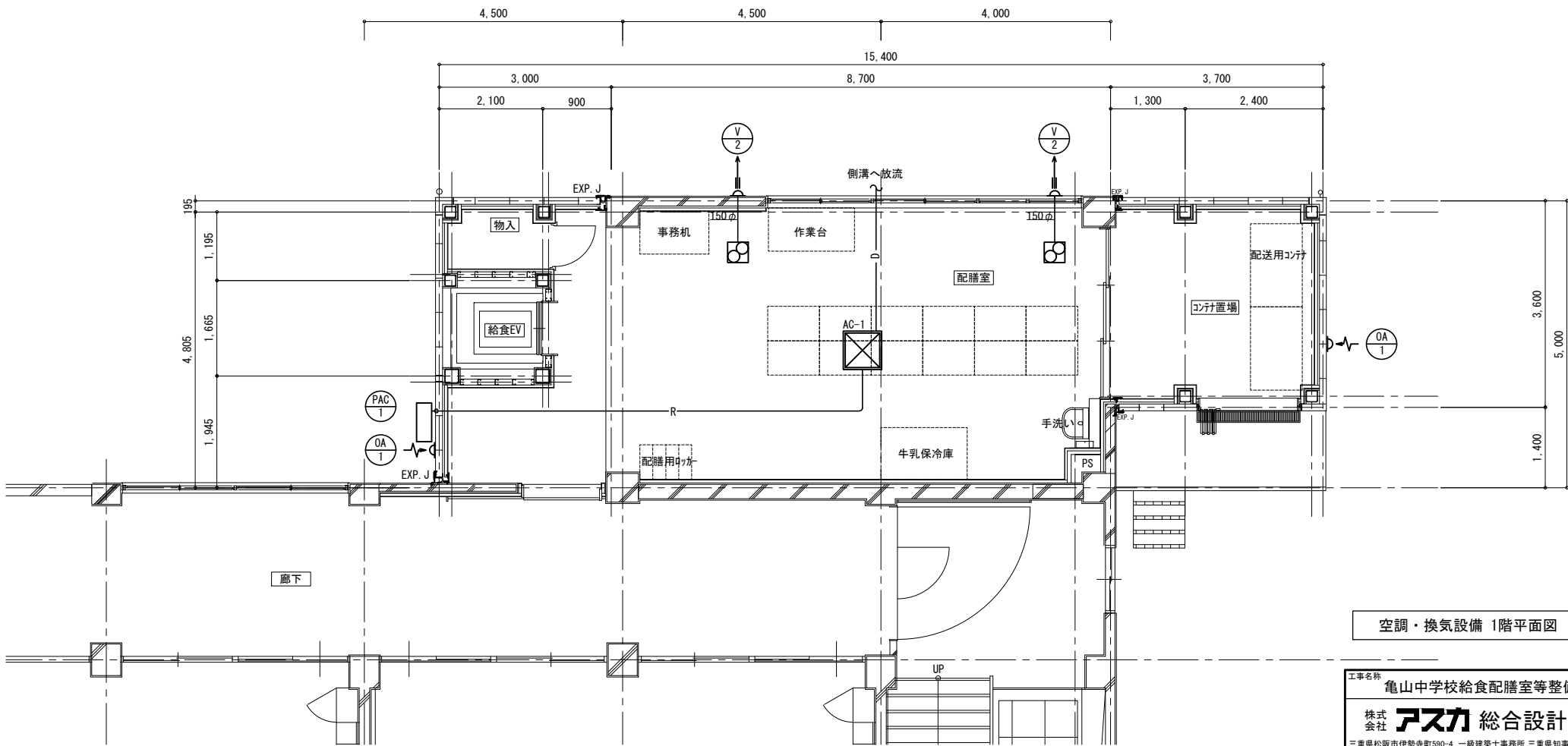
名 称	品 番	数量	設置場所	備 考
洋風便器	CS232B・TC301	3	2F 女子便所、3F 男子便所	
紙巻き器	YH650	3	2F 女子便所、3F 男子便所	
自動壁掛け小便器	UFS900JCS	2	3F 男子便所	
スタッフ用手洗器（以下セット）	MRS104CPN	1	1F 配膳室	
自動水栓電温一体型				
排水金具				
電気温水器3L壁掛				
止水栓				
連結管				
嵌め込み洗面器	L532	8	2F 女子便所、ワゴンルーム、3F 男子便所、ワゴンルーム	
自動水栓	TLE26SS1A	8	2F 女子便所、ワゴンルーム、3F 男子便所、ワゴンルーム	
マブライトカウンター 2390L	建築工事	2	2F ワゴンルーム、3F ワゴンルーム	
マブライトカウンター 900L	建築工事	2	2F 女子便所、3F 男子便所	
化粧鏡	YM4560F	9	1F 配膳室、2F 女子便所、ワゴンルーム、3F 男子便所、ワゴンルーム	
ペーパーホルダー	YKT300MN	1	1F 配膳室	
* 機器器具は参考とし、現場にて対応すること 個数等(図面)確認し、監督確認の上最終決定とすること。				
* 洗面、カウンター等取付用の補強は本工事とすること。				



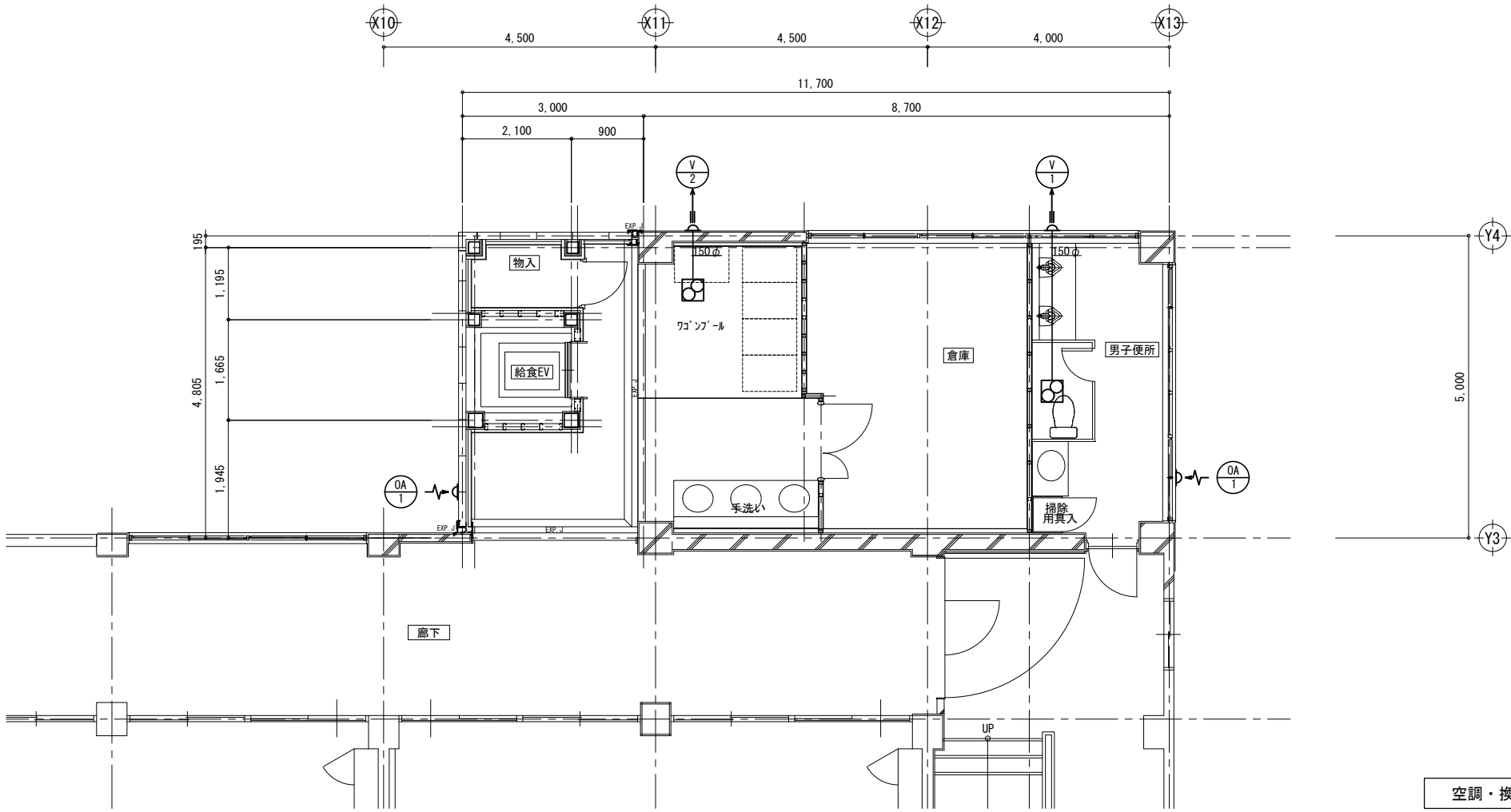
空調・換気設備 2階平面図

機器番号	機器名称	形式・仕様	電気容量		
			電源 (V)	圧縮機 (kw)	消費電力 (kw)
AC-1	パナソニック エアコン	形式 天カセ4方向	3-200	1.95	冷 2.47
		冷房能力 定格 10.0(2.5~11.2) kW			暖 2.35
		暖房能力 定格 11.2(2.8~14.0) kW			低温 4.1
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共			
	基礎 タイタース(防振ゴム敷設)				

換気設備機器	
V-1	天井換気扇 低騒音形150φ 350m ³ /min SUS深形フード 共
V-2	天井換気扇 低騒音形150φ 400m ³ /min SUS深形フード 共
OA-1	給気口 壁付 レジスター 200φ フック式風量調整、ネットフィルター付



空調・換気設備 1階平面図

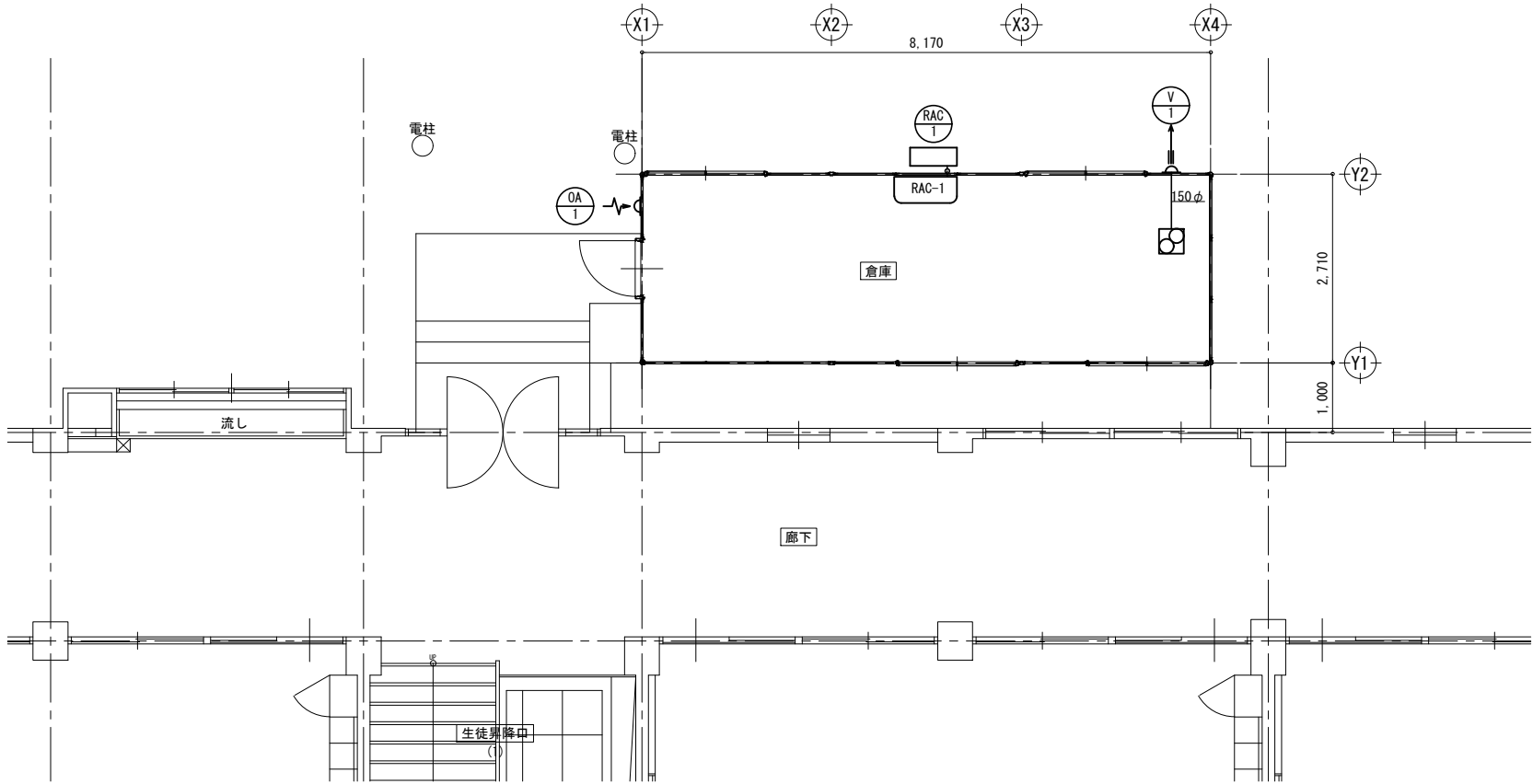


空調・換気設備 3階平面図

A1:S= 1/50
A3:S= 1/100

空調設備機器	
RAC-1	ル-エ7コン 壁掛形 単相200V
	冷房能力 2.8(0.6~4.2)kw
	暖房能力 3.6(0.6~6.9)kw
	付属品 リモコン、RAC7タブリ、他一式共

換気設備機器	
V-1	天井換気扇 低騒音形150φ 350m ³ /min SUS深形フット共
V-2	天井換気扇 低騒音形150φ 400m ³ /min SUS深形フット共
OA-1	給気口 壁付 レジスター 200φ ブラッシュ式風量調整、ネットフィルター付



空調・換気設備 倉庫平面図

A1:S= 1/50
A3:S= 1/100